

# 男女共同参画並びに人権に関する住民アンケート調査 調査結果報告書

令和4年3月

熊取町



# 目 次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の設計 .....	1
3. 回収状況 .....	1
4. 報告書を見る際の注意事項 .....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
1. 回答者の属性 .....	2
(1) 性別 .....	2
(2) 年齢 .....	2
(3) 配偶者・パートナーの有無 .....	3
(4-1) 回答者の職業 .....	4
(4-2) 配偶者・パートナーの職業 .....	6
(5) 子どもの有無 .....	7
(5-1) 一番下の子どもの年代 .....	8
(6) 世帯構成 .....	10
2. 男女共同参画・DV（配偶者等からの暴力）・女性活躍推進について .....	11
問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について .....	11
問1-1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思う理由 .....	13
問1-2 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思わない理由 .....	14
問2 各分野での男女の地位について .....	16
問3 家庭生活に関する役割の理想について .....	32
問4 仕事に関する性別による差について .....	52
問5 男女がともに働きやすい環境をつくるために必要だと思うこと .....	68
問6 日常生活での優先度の希望と現実（現状）について .....	71
問7 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加していくために必要だと思うこと について .....	75
問8 災害時、性別に配慮した対応を行うために必要だと思う施策 .....	78
問9 配偶者・パートナー、恋人から暴力を受けた経験について .....	80
問9-1 配偶者などから暴力を受けた時の相談について .....	85
問9-2 暴力被害についての相談相手、相談先について .....	86
問9-3 相談しなかった理由について .....	87
問10 過去3年間のうち職場・学校・その他活動の場で受けたことのある行為 .....	89

問 11	男女共同参画に関する用語の認知度.....	91
問 12	男女がより平等な社会になるために行政が力を入れるべきだと思うこと.....	93
3.	人権に関することについて.....	96
問 13	人権を身近な問題と感じているか.....	96
問 14	今の日本は、人権が尊重されていると思うか.....	97
問 15	過去5年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがあるか.....	98
問 15-1	人権侵害を受けた内容.....	99
問 16	人権問題への関心.....	100
問 17	町の人権啓発への参加、見聞きした経験について.....	110
問 18	人権が尊重される社会の実現のために、行政が力を入れていくべき取り組みについて.....	112
4.	自由意見.....	115
問 19	自由意見.....	115
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果から読み取れる現状と課題の整理.....</b>	<b>122</b>
1.	回答者の属性について【設問：(4-1・2), (5-1)】.....	122
2.	男女共同参画に関する意識について【設問：問1, 2】.....	123
3.	ワーク・ライフ・バランスについて【設問：問3, 4, 5, 6, 7】.....	124
4.	DVについて【設問：問9, 9-1・2・3】.....	125
5.	人権について【設問：問13, 14, 15, 16, 17, 18】.....	126
<b>Ⅳ</b>	<b>資料編（調査票）.....</b>	<b>127</b>

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

「熊取町第3次男女共同参画プラン」の策定並びに人権施策を進めていく上で、住民の経験や意見を把握し、計画策定の基礎資料とするため実施した。

## 2. 調査の設計

調査対象	調査期間	調査方法
18歳以上の住民1,000人を 住民基本台帳登録者の中から 無作為抽出	令和3年11月12日～ 令和3年11月30日	郵送配布・郵送回収 ※11月22日に御礼状兼督促状を発送

## 3. 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000件	426件	42.6%

## 4. 報告書を見る際の注意事項

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 1つの質問に2つ以上回答できる複数回答可能な場合は、回答比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 表については、報告書内で注目している箇所に網かけをしている。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。
- 本文中の設問の選択肢は、簡略化している場合がある。
- 「前回調査」とは、本町が平成24年3月に実施した「熊取町 男女共同参画に関する住民アンケート調査」のことを指す。
- 「府調査」とは、大阪府が令和元年8月に実施した「男女共同参画に関する府民意識調査」のことを指す。
- 「国調査」とは、内閣府が令和元年9月に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」のことを指す。

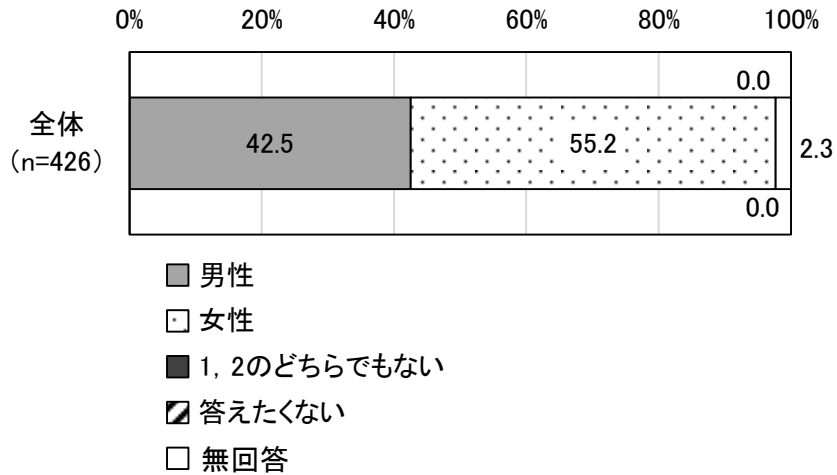
## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別

(1) あなたの性別は。(○は1つ)

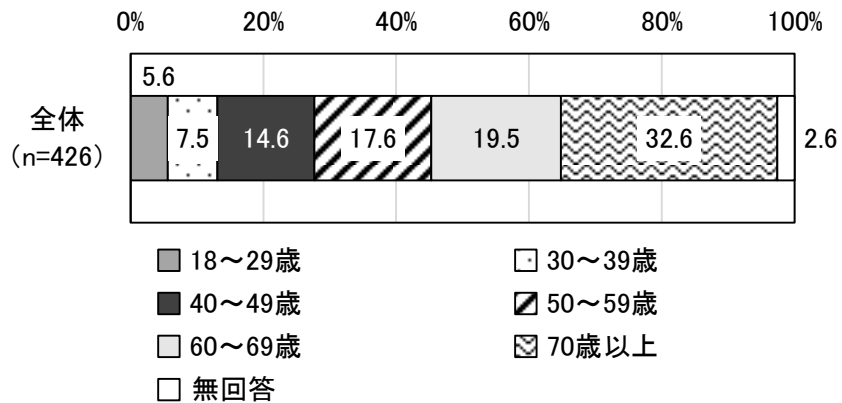
・性別については「男性」が42.5%、「女性」が55.2%となっている。



#### (2) 年齢

(2) あなたの年齢は。(記入日時点) (○は1つ)

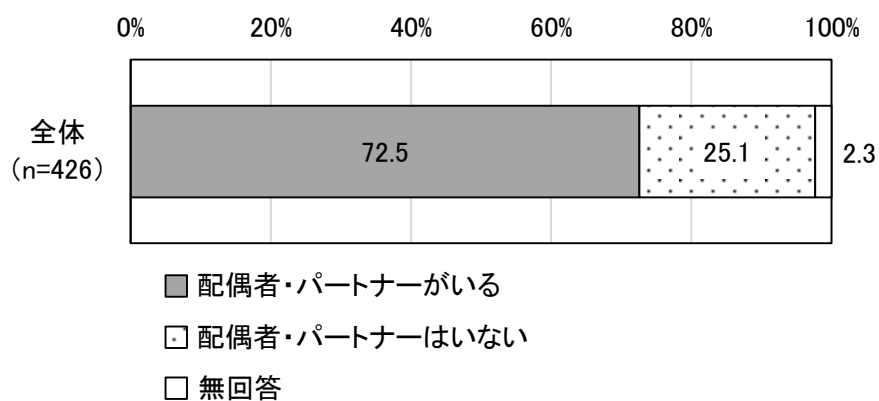
・年齢については「70歳以上」が32.6%と3割以上を占め最も高く、次いで「60～69歳」(19.5%)、「50～59歳」(17.6%)となっている。



### (3) 配偶者・パートナーの有無

(3) 現在のあなたは。(○は1つ) ※パートナー：事実婚、生活の本拠をともにする交際相手のこと

- ・ 配偶者・パートナーの有無については「配偶者・パートナーがいる」が72.5%、「配偶者・パートナーはいない」が25.1%となっている。

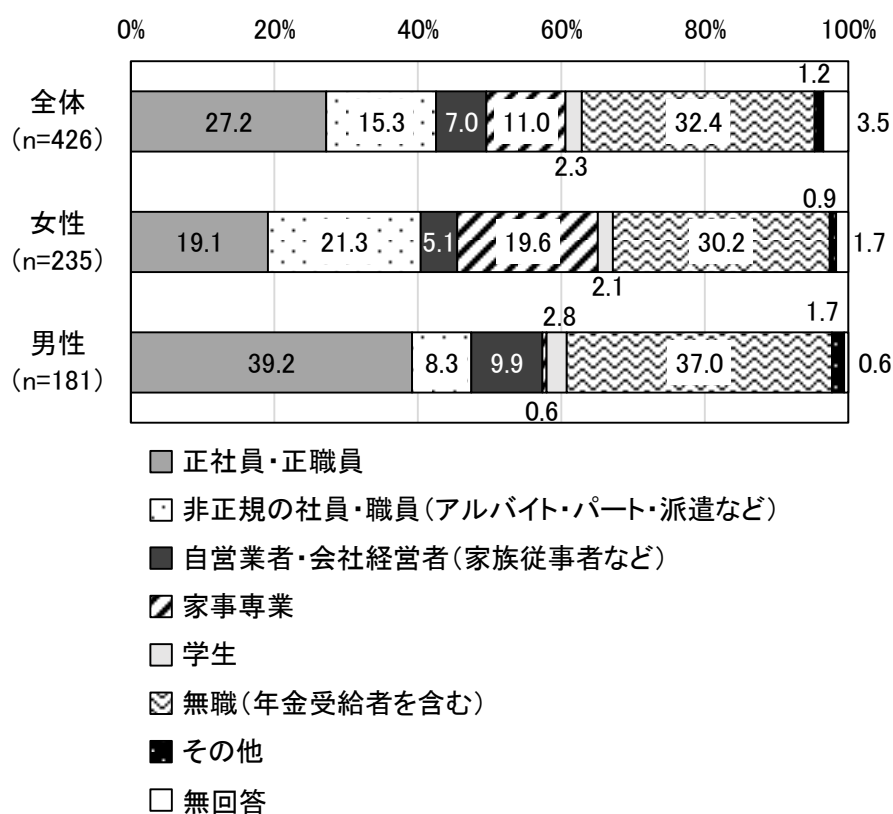


#### (4-1) 回答者の職業

(4) あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業をお答えください。

ご自身の職業 (○は1つ)

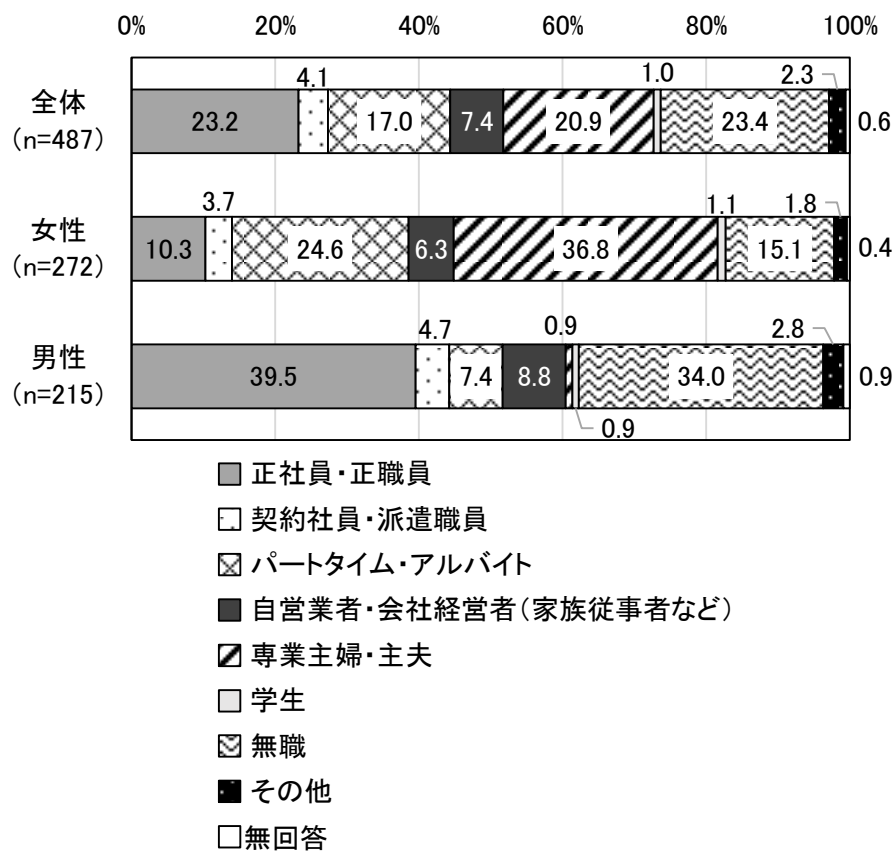
- ・回答者の職業については「無職 (年金受給者を含む)」が 32.4%と最も高く、次いで「正社員・正職員」(27.2%)、「非正規の社員・職員 (アルバイト・パート・派遣など)」(15.3%) となっている。
- ・性別にみると「女性」では「非正規の社員・職員 (アルバイト・パート・派遣など)」が 21.3%と「男性」より 13 ポイント高く、加えて「家事専業」が 19.6%と、「男性」より 19 ポイント高くなっている。「男性」では「正社員・正職員」の割合が 39.2%と、「女性」より 20.1 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、「女性」で「正社員・正職員」が前回調査より 8.8 ポイント高くなっている。



その他 : 「牧師」、「公務員」



<参考：前回調査>



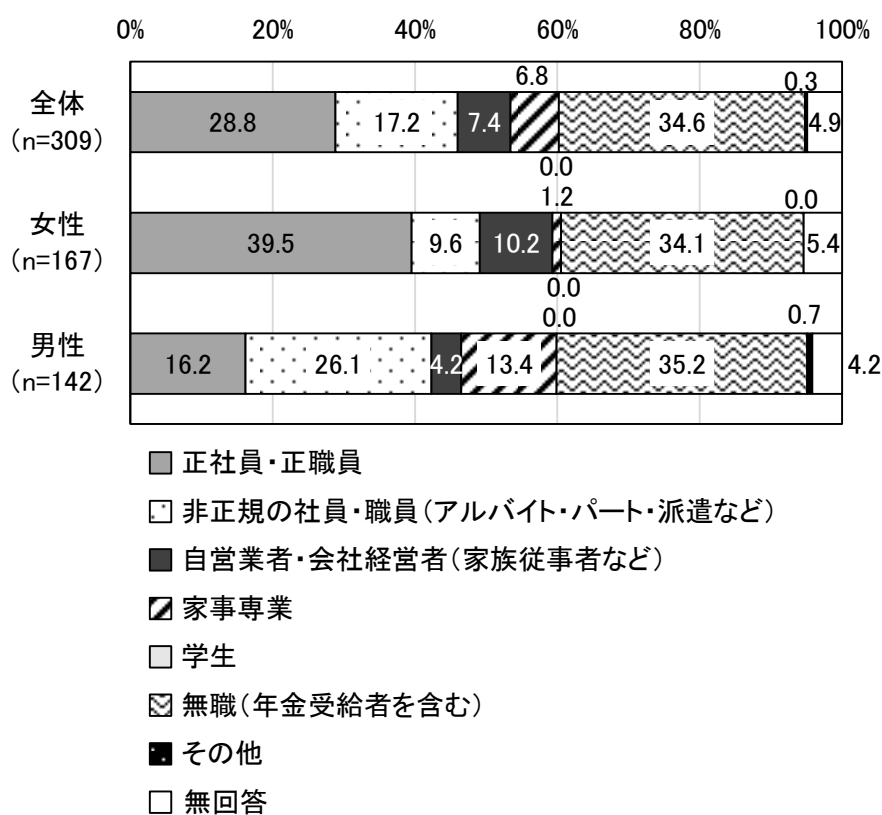
#### (4-2) 配偶者・パートナーの職業

※(3)で「配偶者・パートナーがいる」と答えた方のみ

(4) あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業をお答えください。

配偶者・パートナーの職業 (○は1つ)

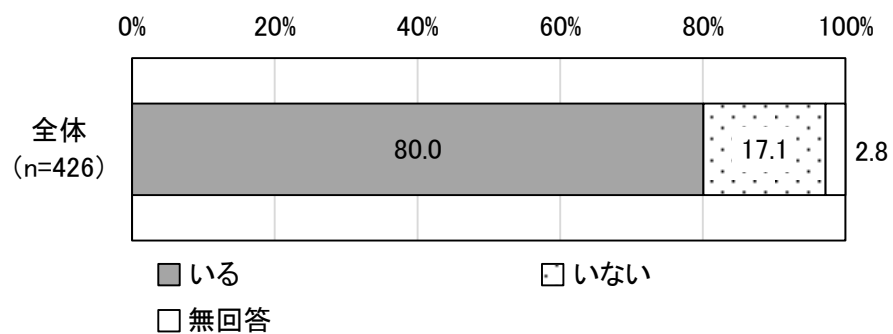
- ・配偶者・パートナーの職業については「無職(年金受給者を含む)」が34.6%と最も高く、次いで「正社員・正職員」(28.8%)、「非正規の社員・職員(アルバイト・パート・派遣など)」(17.2%)となっている。
- ・性別にみると「女性」の配偶者・パートナーの職業では「正社員・正職員」が39.5%と最も高く、「男性」の配偶者・パートナーの職業では「無職」が35.2%と最も高くなっている。



### (5) 子どもの有無

(5) あなたにはお子さんはいますか。(別居を含む) (○は1つ)

・子どもの有無については「いる」が80.0%、「いない」が17.1%となっている。

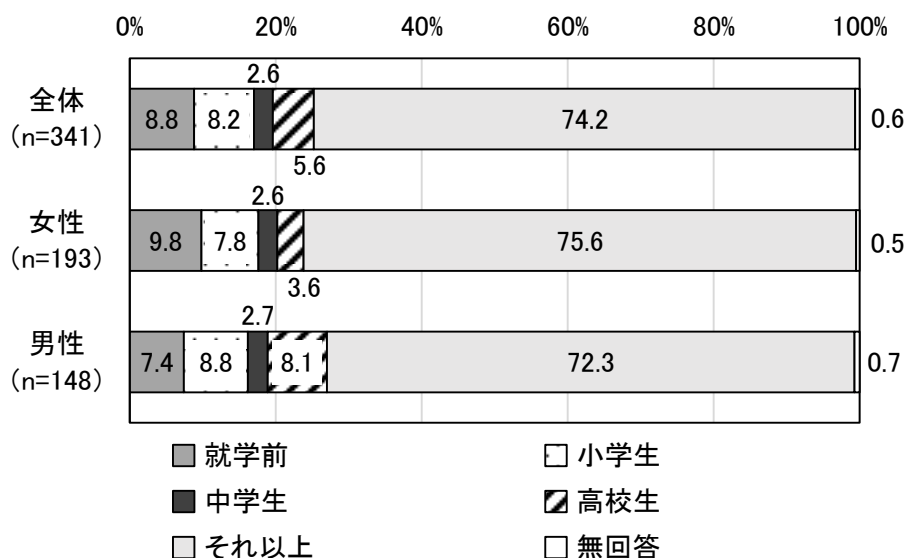


(5-1) 一番下の子どもの年代

※(5)で「いる」と答えた方のみ

(5-1) 一番下のお子さんの年代はどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

- ・一番下の子どもの年代については、「それ以上」が74.2%と最も高く、次いで「就学前」(8.8%)、「小学生」(8.2%)となっている。
- ・年代別にみると「30~39歳」で「就学前」の割合が9割を超え高く、「40~49歳」で「小学生」の割合が42.9%と高くなっている。
- ・職業とのクロス集計をみると、「就学前・小学生の子どもを持つ女性」では「正社員・正職員」の割合が35.3%と、「就学前・小学生の子どもをもつ男性」より52.2ポイント低くなっている。また「就学前・小学生の子どもを持つ女性」で「非正規の社員・職員(アルバイト・パート・派遣など)」と「家事専業」がともに29.4%と3割近くを占めている。



<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	就学前	小学生	中学生	高校生	それ以上	無回答
	全体	341	8.8	8.2	2.6	5.6	74.2	0.6
性別	女性	193	9.8	7.8	2.6	3.6	75.6	0.5
	男性	148	7.4	8.8	2.7	8.1	72.3	0.7
年代別	18～29歳	4	100.0	-	-	-	-	-
	30～39歳	21	90.5	9.5	-	-	-	-
	40～49歳	49	14.3	42.9	14.3	16.3	8.2	4.1
	50～59歳	64	-	7.8	3.1	17.2	71.9	-
	60～69歳	75	-	-	-	-	100.0	-
	70歳以上	127	-	-	-	-	100.0	-

<職業とのクロス集計>

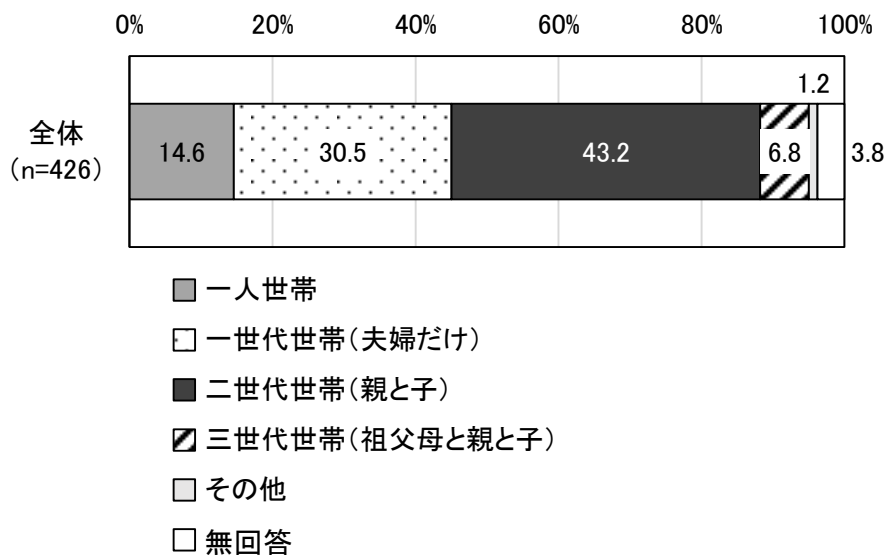
(%)

		回答者数 (人)	正社員・正職員	派遣など 非正規の社員・職員 (アルバイト・パート・ )	自営業者・会社経営者 (家族従事者など)	家事専業	学生	無職 (年金受給者を含む)	その他	無回答
女性	就学前・小学生	34	35.3	29.4	5.9	29.4	-	-	-	-
	中学生・高校生	12	33.3	50.0	8.3	8.3	-	-	-	-
	それ以上	146	6.2	18.5	5.5	24.0	-	42.5	1.4	2.1
男性	就学前・小学生	24	87.5	-	8.3	-	-	-	4.2	-
	中学生・高校生	16	68.8	6.3	25.0	-	-	-	-	-
	それ以上	107	23.4	9.3	8.4	0.9	-	55.1	1.9	0.9

## (6) 世帯構成

(6) あなたの世帯構成は。(※同居しているご家族についてお答えください。)(○は1つ)

- ・世帯構成については「二世世代世帯(親と子)」が43.2%と最も高く、次いで「一世代世帯(夫婦だけ)」(30.5%)、「一人世帯」(14.6%)となっている。



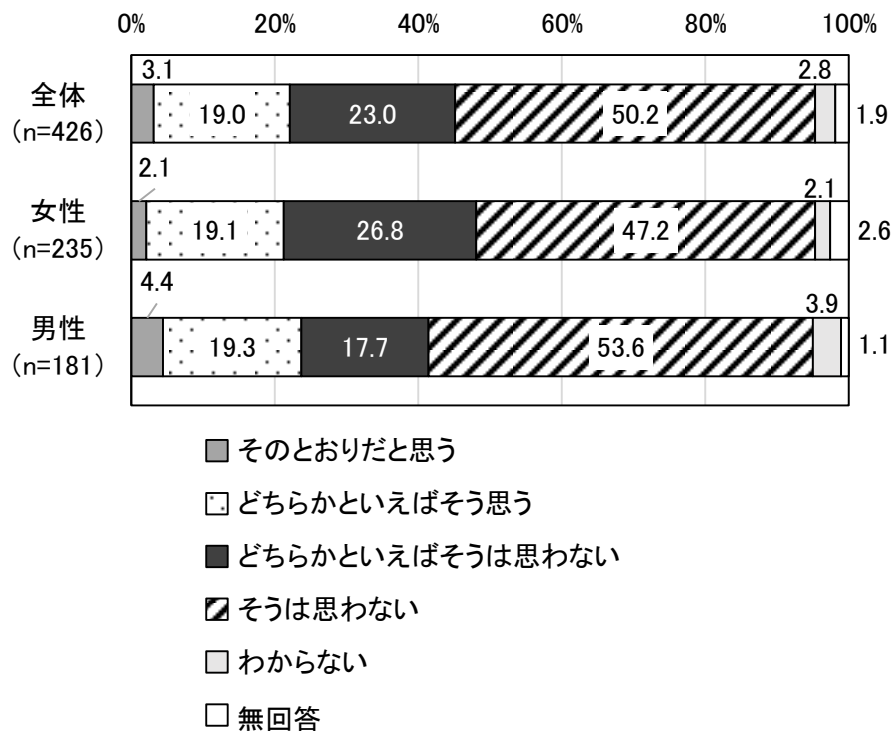
その他：「四世代世帯」、「祖父母と孫」

## 2. 男女共同参画・DV（配偶者等からの暴力）・女性活躍推進について

### 問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（○は1つ）

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方については「そうは思わない」が50.2%と最も高く、「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『そうは思わない』割合は73.2%となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ「そのとおりだと思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が高くなる傾向がみられ、「70歳以上」では37.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そうは思わない』割合が28ポイント高くなっている。

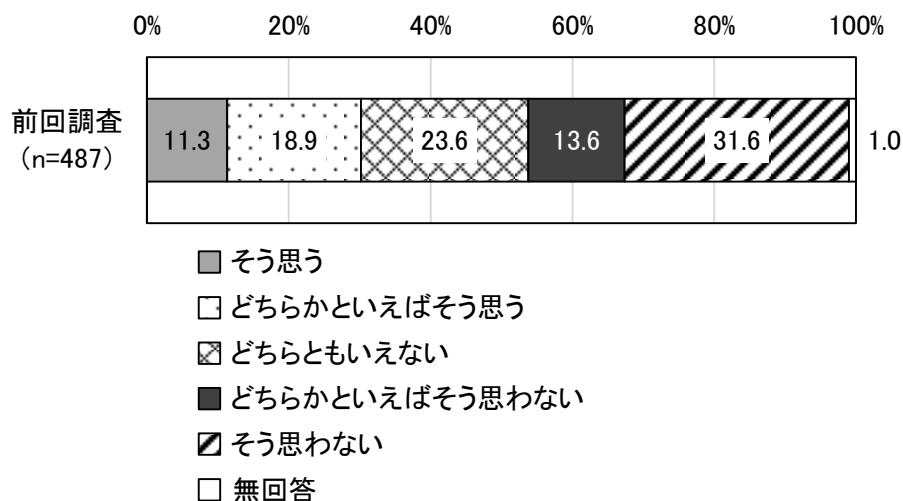


<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	そのとおりだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは 思わない	そうは思わない	わからない	無回答	『そう思う』計	『そうは思わない』計
	全体	426	3.1	19.0	23.0	50.2	2.8	1.9	22.1	73.2
性別	女性	235	2.1	19.1	26.8	47.2	2.1	2.6	21.2	74.0
	男性	181	4.4	19.3	17.7	53.6	3.9	1.1	23.7	71.3
年代別	18～29歳	24	-	4.2	33.3	58.3	-	4.2	4.2	91.6
	30～39歳	32	-	6.3	21.9	62.5	6.3	3.1	6.3	84.4
	40～49歳	62	-	16.1	29.0	46.8	4.8	3.2	16.1	75.8
	50～59歳	75	1.3	14.7	13.3	66.7	4.0	-	16.0	80.0
	60～69歳	83	3.6	15.7	19.3	60.2	1.2	-	19.3	79.5
	70歳以上	139	6.5	30.9	25.2	32.4	2.2	2.9	37.4	57.6

<参考：前回調査>



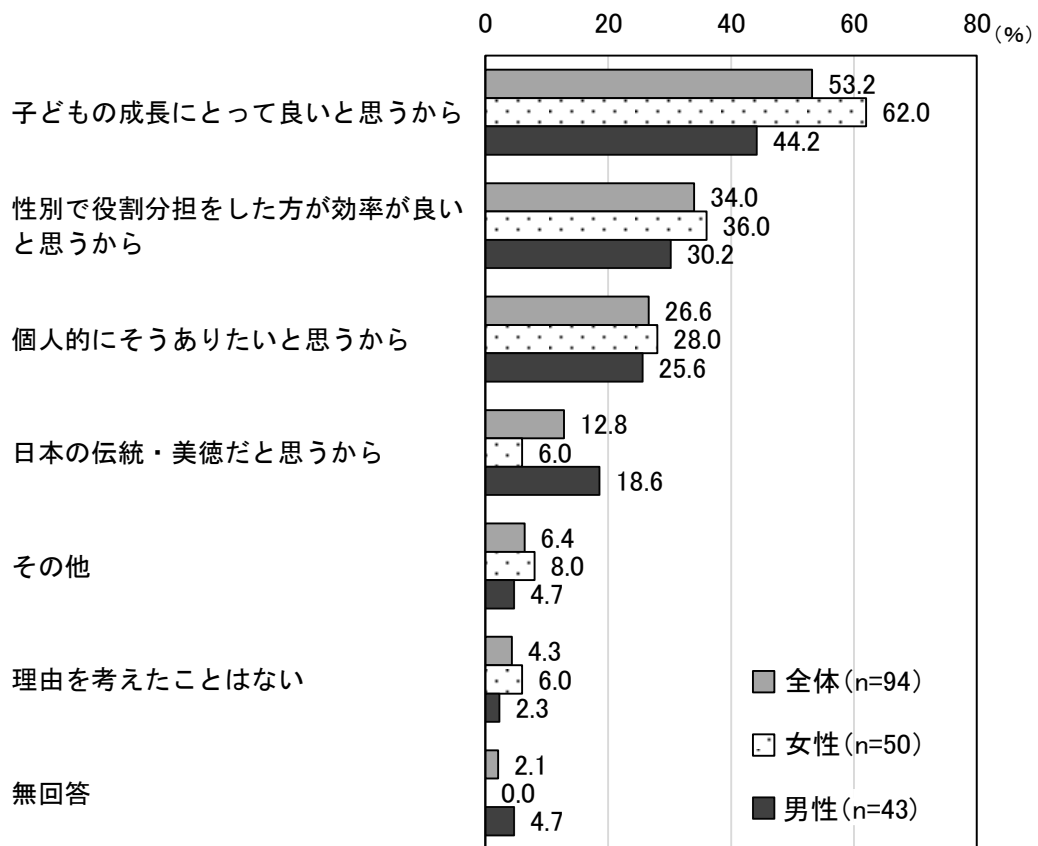


### 問1-1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思う理由

※問1で「そのとおりだと思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した方のみ

問1-1 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思う理由については「子どもの成長にとって良いと思うから」が53.2%と最も高く、次いで「性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから」(34.0%)、「個人的にそうありたいと思うから」(26.6%)となっている。
- ・性別にみると、男女ともに「子どもの成長にとって良いと思うから」が最も高くなっているものの、「女性」で62.0%と、「男性」より17.8ポイント高くなっている。



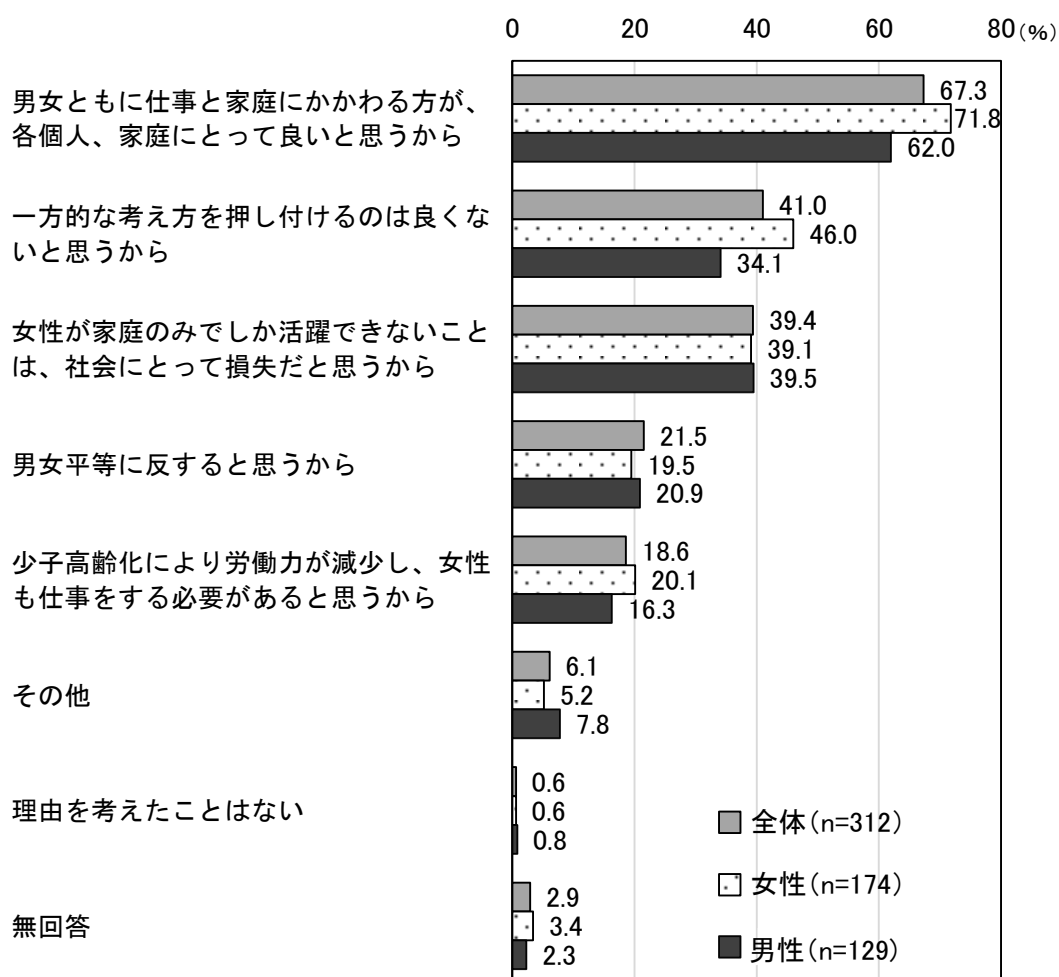
その他：「男性の方が収入が多いから」、「育児休暇を取った人の代わりに雇えないから」

## 問1-2 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思わない理由

※問1で「どちらかといえばそうは思わない」・「そうは思わない」と回答した方のみ

問1-2 その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方についてそう思わない理由については、「男女ともに仕事と家庭にかかわる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が67.3%と最も高く、次いで「一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから」(41.0%)、「女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから」(39.4%)となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから」が46.0%と、「男性」より11.9ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～49歳」で「一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから」がともに50%を超え、全体より10ポイント程度高くなっている。



その他：「家計を助けるため」、「できるほうができることを分担する」、「個人の自由」

<性別・年代別クロス集計>

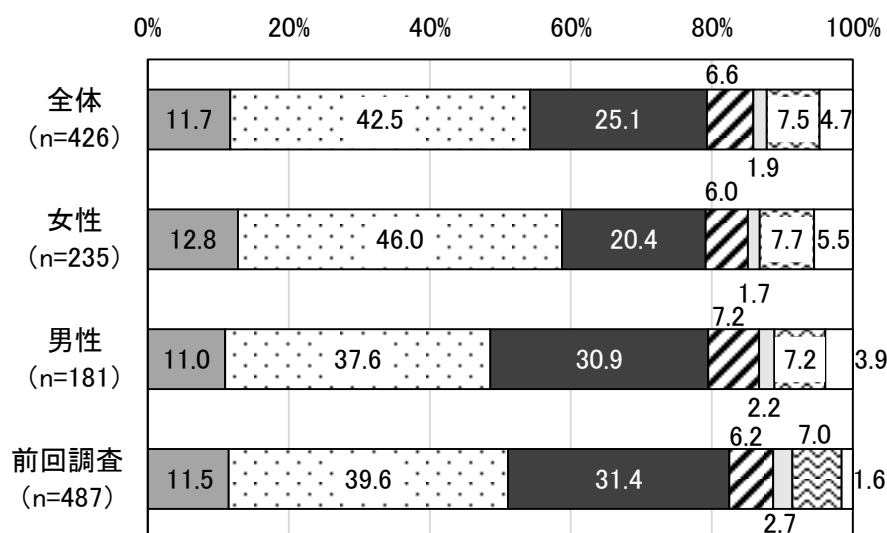
			(%)									
		回答者数(人)	男女平等に反すると思うから	女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから	各個人、家庭にとって良いと思うから	男女ともに仕事と家庭にかかわる方が、	仕事を必要があると思うから	少子高齢化により労働力が減少し、女性も	一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから	その他	理由を考えたことはない	無回答
	全体	312	21.5	39.4	67.3	18.6	41.0	6.1	0.6	2.9		
性別	女性	174	19.5	39.1	71.8	20.1	46.0	5.2	0.6	3.4		
	男性	129	20.9	39.5	62.0	16.3	34.1	7.8	0.8	2.3		
年代別	18～29歳	22	18.2	22.7	59.1	13.6	40.9	4.5	-	4.5		
	30～39歳	27	18.5	40.7	63.0	14.8	51.9	11.1	3.7	3.7		
	40～49歳	47	29.8	38.3	59.6	17.0	51.1	6.4	-	2.1		
	50～59歳	60	25.0	40.0	61.7	16.7	36.7	10.0	1.7	8.3		
	60～69歳	66	19.7	36.4	72.7	16.7	42.4	7.6	-	1.5		
	70歳以上	80	12.5	45.0	76.3	25.0	32.5	1.3	-	-		

## 問2 各分野での男女の地位について

問2 あなたは、次の各分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。  
あなたの考えに1番近いものを選んでください。(各項目で○は1つ)

### (1) 家庭生活で

- ・ 家庭生活での男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が42.5%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は54.2%となっている。
- ・ 性別にみると、「女性」で『男性優遇』の割合が58.8%と、「男性」より10.2ポイント高くなっている。
- ・ 年代別にみると、「60～69歳」で『男性優遇』の割合が63.9%と6割を超える結果となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「平等である」が6.3ポイント低くなっている。



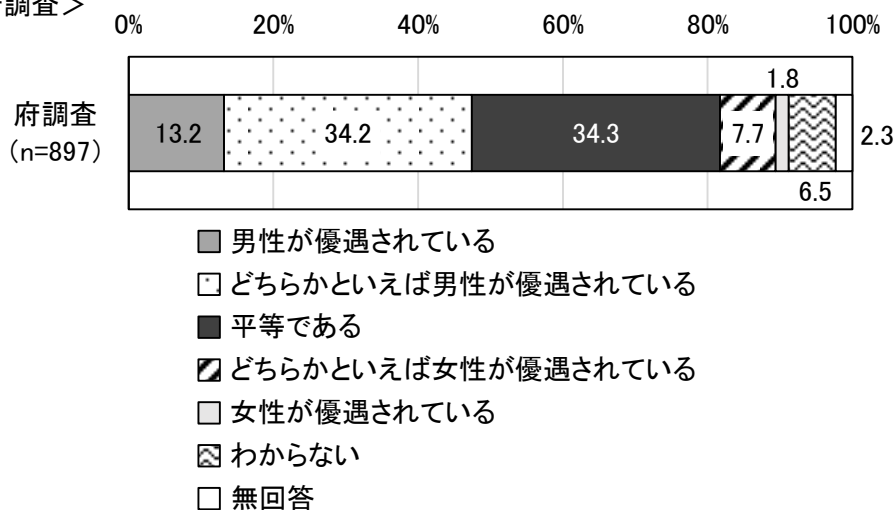
- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

<性別・年代別クロス集計>

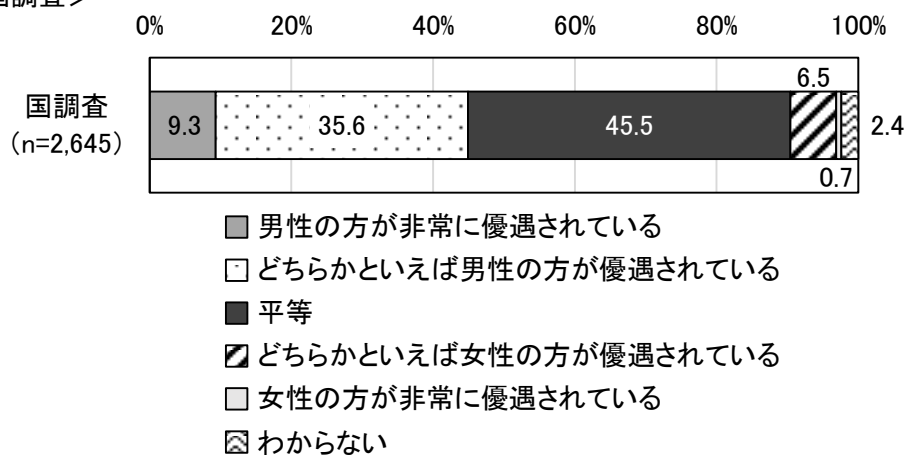
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	11.7	42.5	25.1	6.6	1.9	7.5	4.7	54.2	8.5
性別	女性	235	12.8	46.0	20.4	6.0	1.7	7.7	5.5	58.8	7.7
	男性	181	11.0	37.6	30.9	7.2	2.2	7.2	3.9	48.6	9.4
年代別	18～29歳	24	12.5	20.8	33.3	12.5	-	12.5	8.3	33.3	12.5
	30～39歳	32	3.1	43.8	21.9	6.3	6.3	12.5	6.3	46.9	12.6
	40～49歳	62	12.9	45.2	16.1	9.7	1.6	12.9	1.6	58.1	11.3
	50～59歳	75	10.7	46.7	18.7	9.3	4.0	9.3	1.3	57.4	13.3
	60～69歳	83	16.9	47.0	25.3	3.6	1.2	4.8	1.2	63.9	4.8
	70歳以上	139	11.5	38.8	31.7	4.3	0.7	3.6	9.4	50.3	5.0

<参考：府調査>

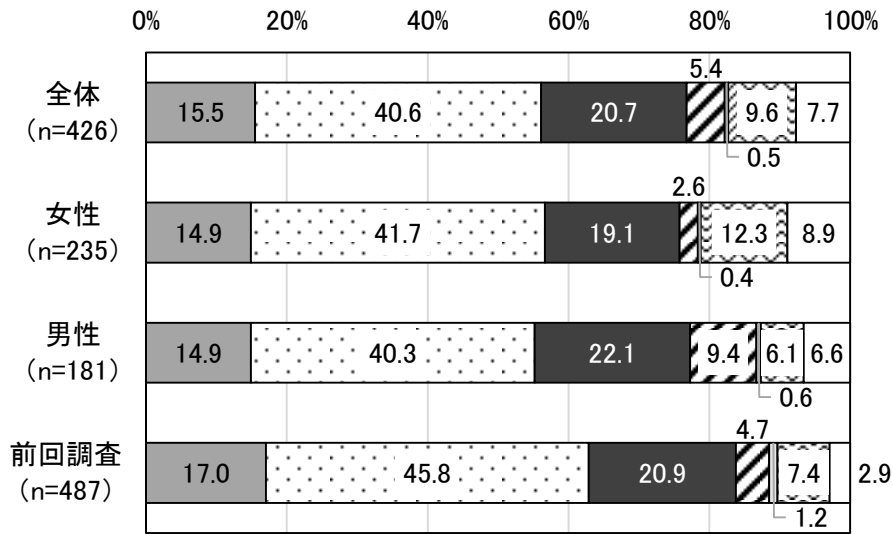


<参考：国調査>



(2) 職場で

- ・職場での男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 40.6%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は 56.1%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」を合わせた『女性優遇』の割合が 10.0%と、「女性」より7ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」・「70歳以上」で「平等である」が全体より5ポイント程度低くなっている。
- ・前回調査と比較すると、『男性優遇』の割合が6.7ポイント低くなっている。

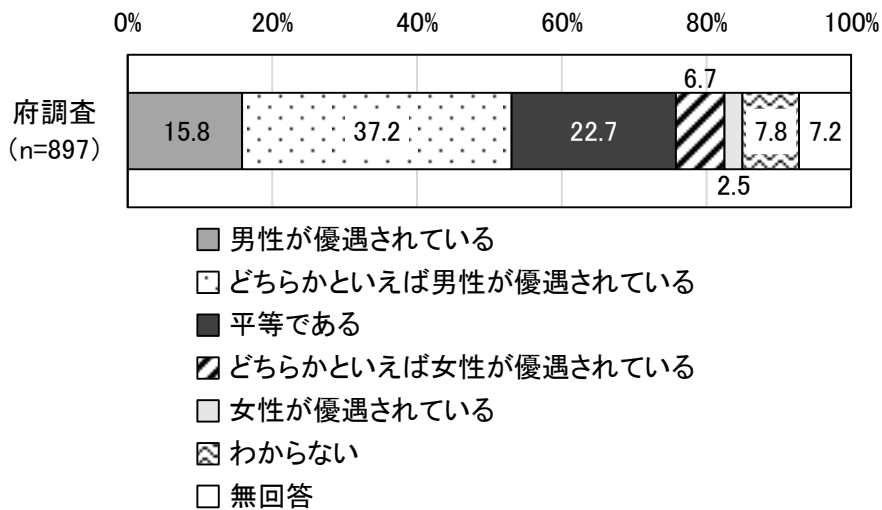


- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

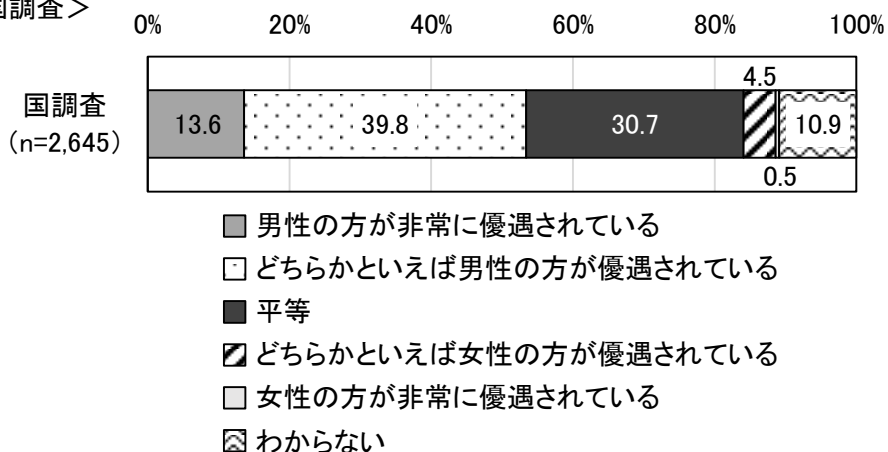
<性別・年代別クロス集計>

											(%)	
		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計	
	全体	426	15.5	40.6	20.7	5.4	0.5	9.6	7.7	56.1	5.9	
性別	女性	235	14.9	41.7	19.1	2.6	0.4	12.3	8.9	56.6	3.0	
	男性	181	14.9	40.3	22.1	9.4	0.6	6.1	6.6	55.2	10.0	
年代別	18～29歳	24	20.8	37.5	20.8	8.3	-	4.2	8.3	58.3	8.3	
	30～39歳	32	18.8	40.6	15.6	9.4	-	9.4	6.3	59.4	9.4	
	40～49歳	62	17.7	38.7	25.8	9.7	1.6	4.8	1.6	56.4	11.3	
	50～59歳	75	13.3	44.0	24.0	4.0	1.3	9.3	4.0	57.3	5.3	
	60～69歳	83	15.7	41.0	25.3	8.4	-	9.6	-	56.7	8.4	
	70歳以上	139	12.2	41.7	13.7	1.4	-	12.9	18.0	53.9	1.4	

<参考：府調査>

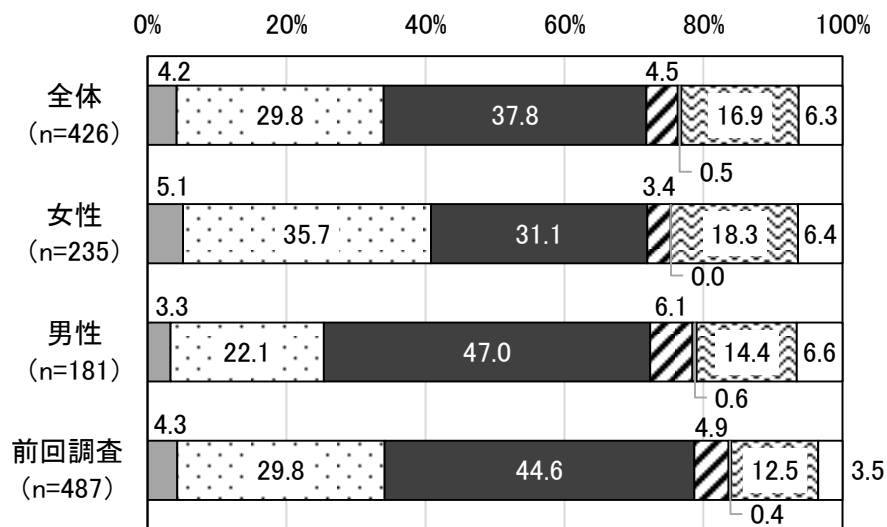


<参考：国調査>



### (3) 地域活動の場で

- ・地域活動の場での男女の地位については、「平等である」が37.8%と最も高くなっている。一方で「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は34.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『男性優遇』の割合が40.8%と、「男性」より15.4ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」で「平等である」が25.0%と、全体より12.8ポイント低くなっている。
- ・前回調査と比較すると、「平等である」が6.8ポイント低くなっている。



- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

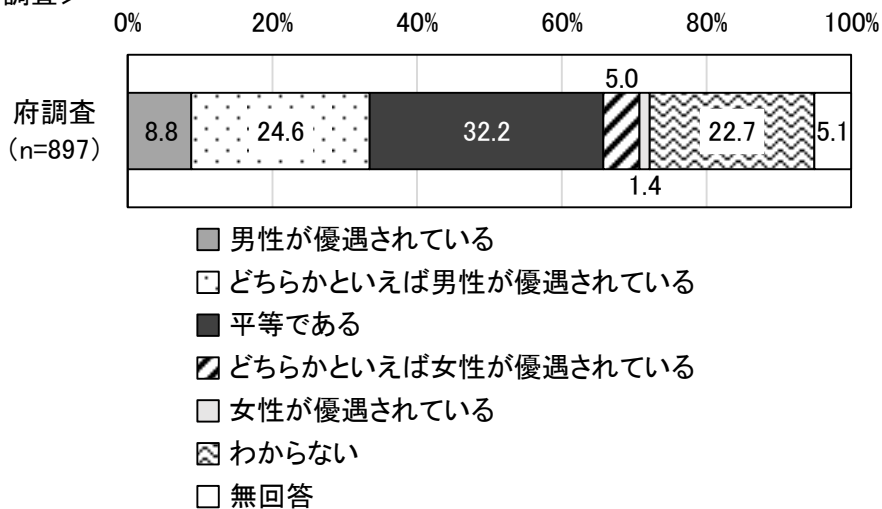


<性別・年代別クロス集計>

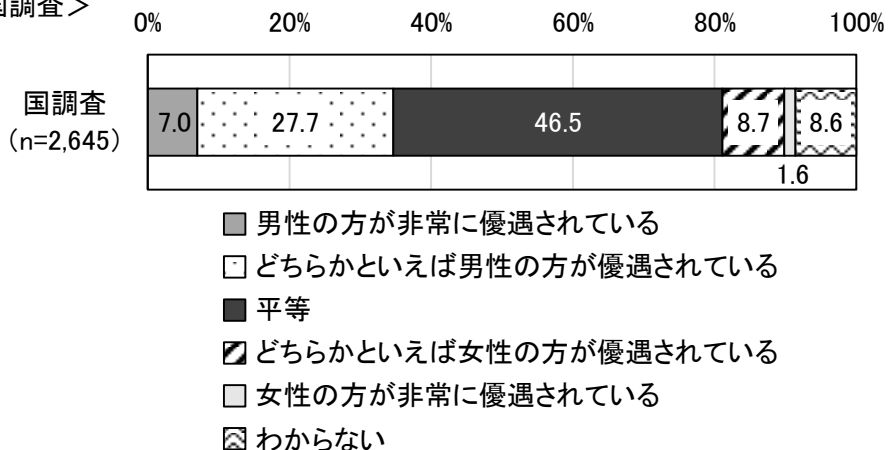
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	4.2	29.8	37.8	4.5	0.5	16.9	6.3	34.0	5.0
性別	女性	235	5.1	35.7	31.1	3.4	-	18.3	6.4	40.8	3.4
	男性	181	3.3	22.1	47.0	6.1	0.6	14.4	6.6	25.4	6.7
年代別	18～29歳	24	4.2	20.8	50.0	4.2	-	16.7	4.2	25.0	4.2
	30～39歳	32	-	37.5	25.0	6.3	-	25.0	6.3	37.5	6.3
	40～49歳	62	4.8	29.0	35.5	6.5	-	22.6	1.6	33.8	6.5
	50～59歳	75	4.0	33.3	32.0	8.0	-	17.3	5.3	37.3	8.0
	60～69歳	83	3.6	32.5	42.2	4.8	-	15.7	1.2	36.1	4.8
	70歳以上	139	5.8	26.6	41.0	1.4	0.7	11.5	12.9	32.4	2.1

<参考：府調査>

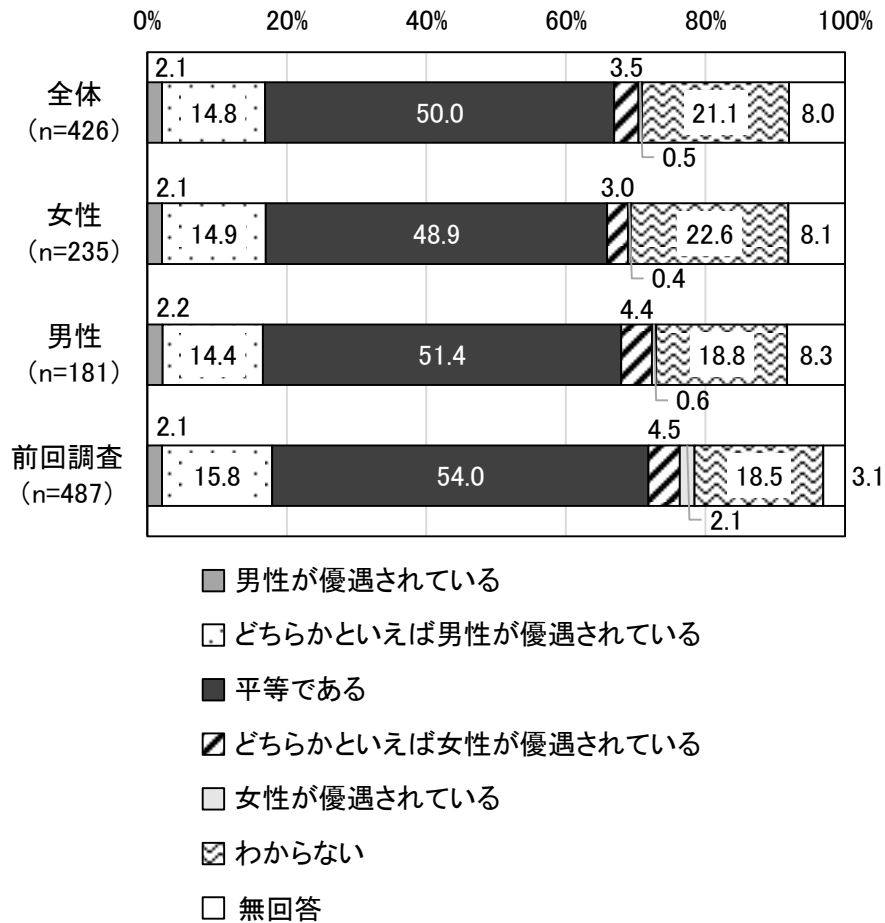


<参考：国調査>



#### (4) 学校教育の場で

- ・学校教育の場での男女の地位については、「平等である」が50.0%と最も高くなっている。一方で「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は16.9%となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「30～49歳」で『男性優遇』の割合が2割を超え、全体より5ポイント程度高くなっている。
- ・前回調査と大きな差はみられない。

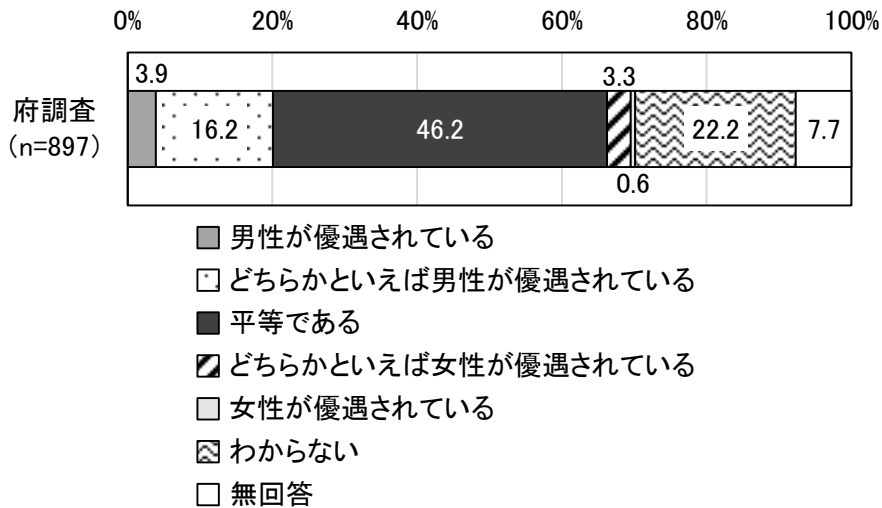


<性別・年代別クロス集計>

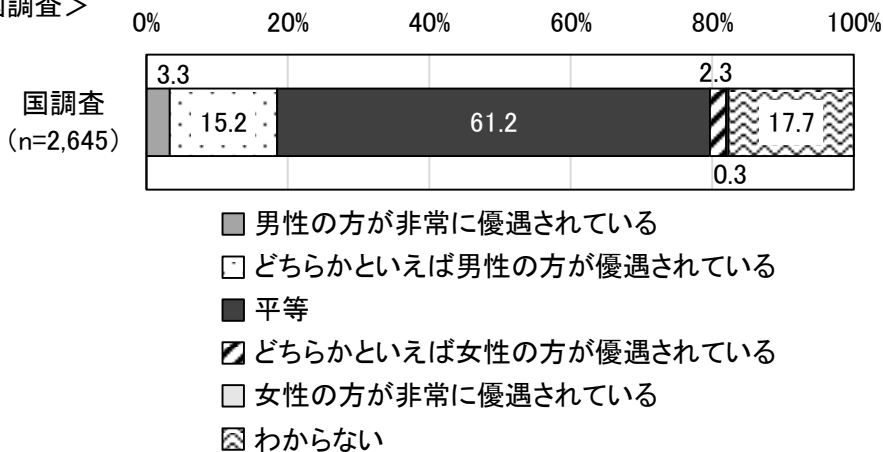
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	2.1	14.8	50.0	3.5	0.5	21.1	8.0	16.9	4.0
性別	女性	235	2.1	14.9	48.9	3.0	0.4	22.6	8.1	17.0	3.4
	男性	181	2.2	14.4	51.4	4.4	0.6	18.8	8.3	16.6	5.0
年代別	18～29歳	24	4.2	4.2	58.3	16.7	-	12.5	4.2	8.4	16.7
	30～39歳	32	3.1	18.8	37.5	3.1	6.3	25.0	6.3	21.9	9.4
	40～49歳	62	4.8	19.4	51.6	4.8	-	17.7	1.6	24.2	4.8
	50～59歳	75	1.3	16.0	49.3	2.7	-	24.0	6.7	17.3	2.7
	60～69歳	83	1.2	14.5	55.4	2.4	-	22.9	3.6	15.7	2.4
	70歳以上	139	1.4	12.9	48.2	2.2	-	19.4	15.8	14.3	2.2

<参考：府調査>

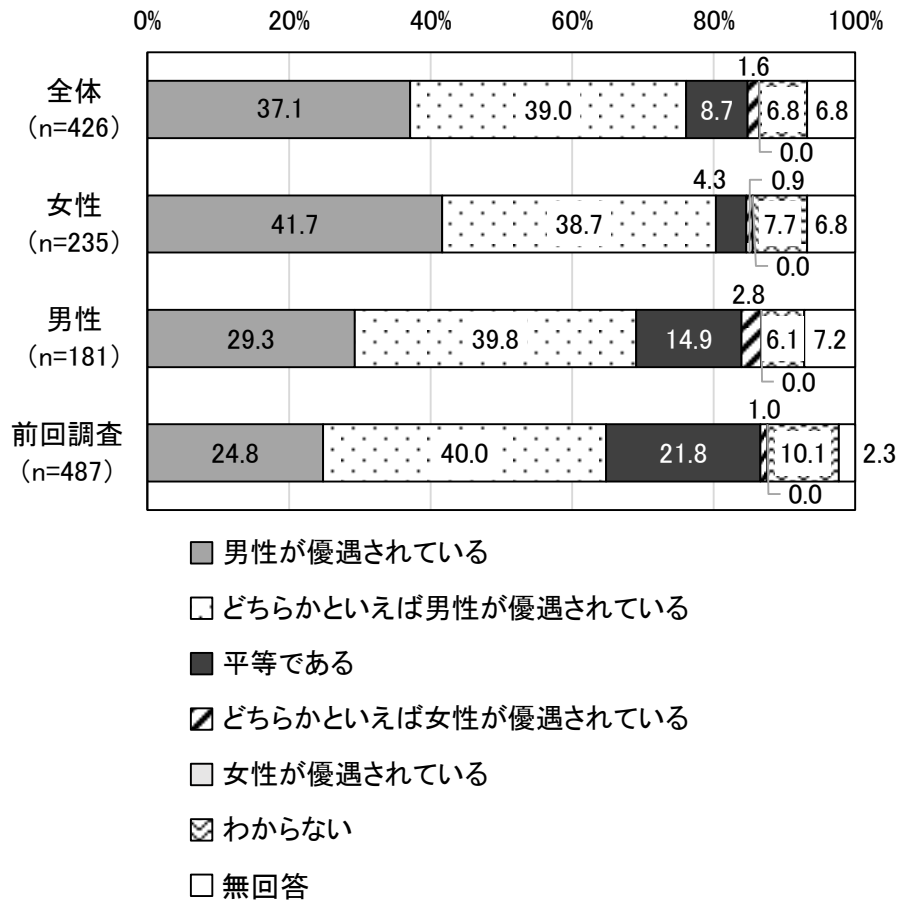


<参考：国調査>



(5) 政治の場で

- ・政治の場での男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 39.0%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は 76.1%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『男性優遇』の割合が 80.4%と、「男性」より 11.3 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「40～49 歳」で『男性優遇』の割合が 85.4%と 8 割を超える結果となっている。
- ・前回調査と比較すると、「平等である」が 13.1 ポイント低くなっている。

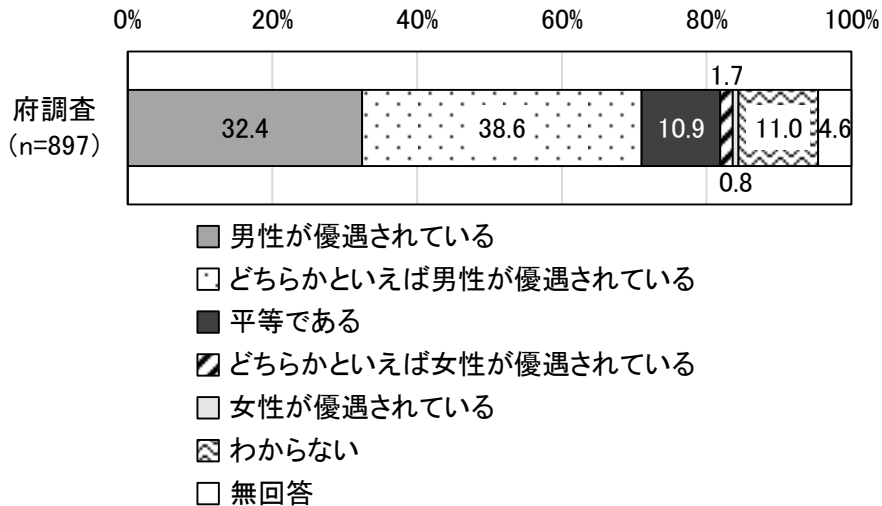


<性別・年代別クロス集計>

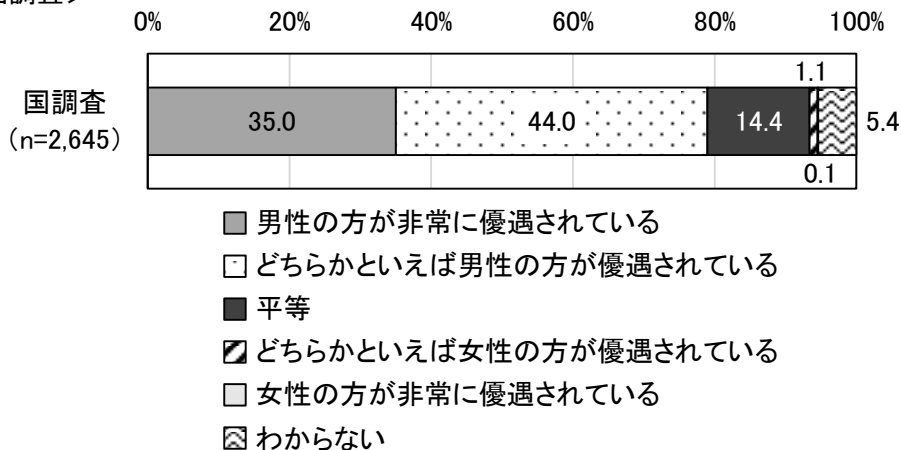
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	37.1	39.0	8.7	1.6	-	6.8	6.8	76.1	1.6
性別	女性	235	41.7	38.7	4.3	0.9	-	7.7	6.8	80.4	0.9
	男性	181	29.3	39.8	14.9	2.8	-	6.1	7.2	69.1	2.8
年代別	18～29歳	24	50.0	29.2	-	-	-	16.7	4.2	79.2	-
	30～39歳	32	34.4	43.8	-	3.1	-	12.5	6.3	78.2	3.1
	40～49歳	62	43.5	41.9	4.8	1.6	-	4.8	3.2	85.4	1.6
	50～59歳	75	38.7	34.7	9.3	4.0	-	9.3	4.0	73.4	4.0
	60～69歳	83	39.8	38.6	12.0	2.4	-	4.8	2.4	78.4	2.4
	70歳以上	139	27.3	41.7	12.2	-	-	5.0	13.7	69.0	-

<参考：府調査>

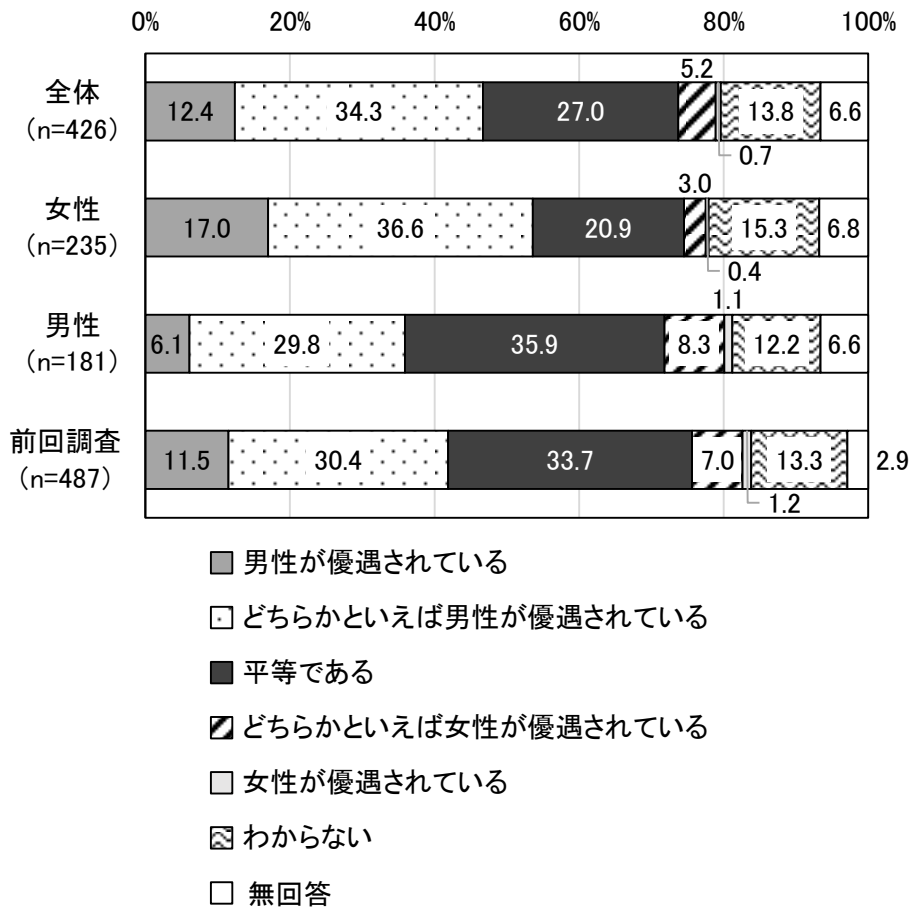


<参考：国調査>



(6) 法律や制度の上で

- ・法律や制度の上での男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.3%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は46.7%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『男性優遇』の割合が53.6%と、「男性」より17.7ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「50～59歳」で『男性優遇』の割合が54.7%と、全体より8ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、「平等である」が6.7ポイント低くなっている。

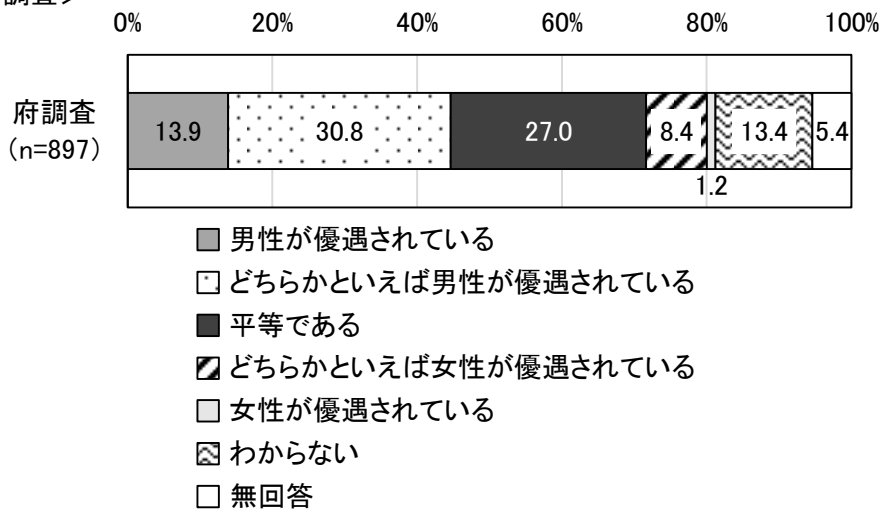


<性別・年代別クロス集計>

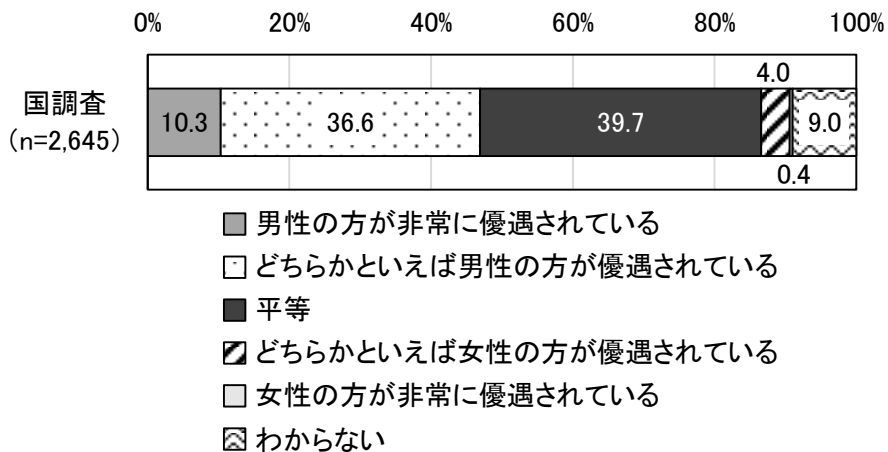
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	12.4	34.3	27.0	5.2	0.7	13.8	6.6	46.7	5.9
性別	女性	235	17.0	36.6	20.9	3.0	0.4	15.3	6.8	53.6	3.4
	男性	181	6.1	29.8	35.9	8.3	1.1	12.2	6.6	35.9	9.4
年代別	18～29歳	24	20.8	20.8	16.7	8.3	4.2	25.0	4.2	41.6	12.5
	30～39歳	32	15.6	25.0	18.8	3.1	6.3	25.0	6.3	40.6	9.4
	40～49歳	62	14.5	35.5	33.9	3.2	-	11.3	1.6	50.0	3.2
	50～59歳	75	14.7	40.0	20.0	12.0	-	9.3	4.0	54.7	12.0
	60～69歳	83	12.0	38.6	26.5	3.6	-	15.7	3.6	50.6	3.6
	70歳以上	139	7.9	30.2	33.1	3.6	-	12.2	12.9	38.1	3.6

<参考：府調査>

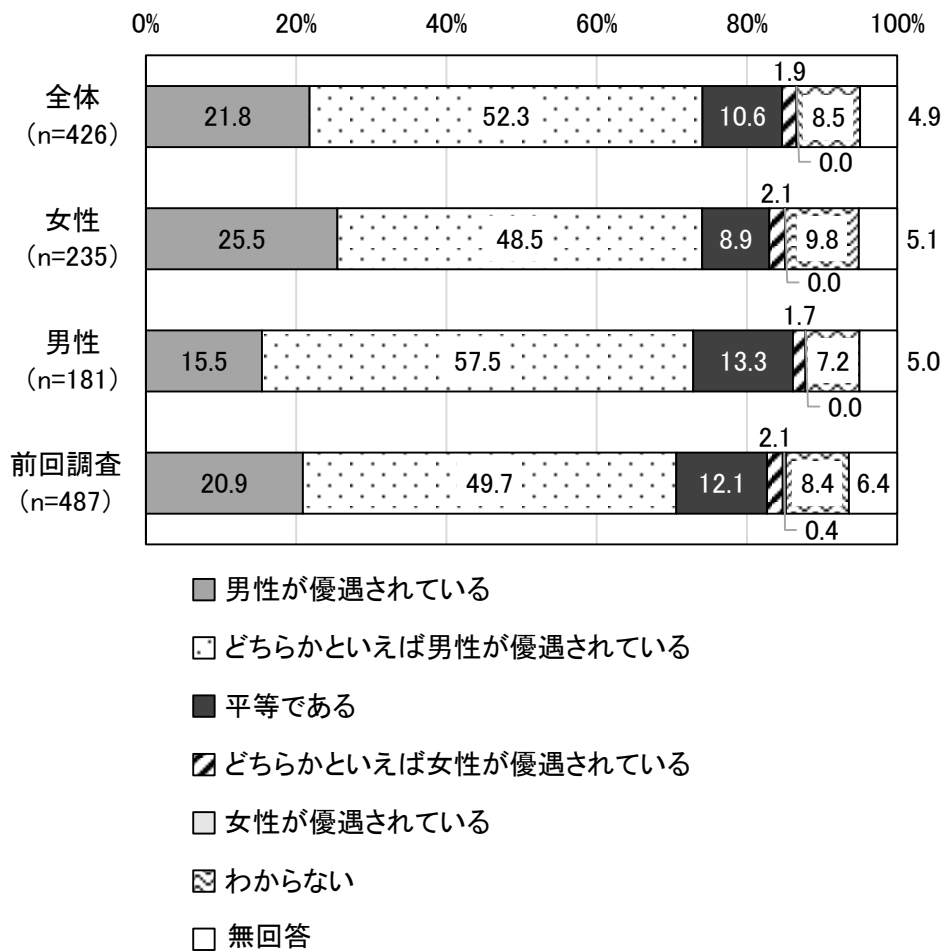


<参考：国調査>



(7) 社会通念・習慣やしきたり

- ・社会通念・習慣やしきたりでの男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が52.3%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は74.1%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男性が優遇されている」の割合が25.5%と、「男性」より10ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「50～69歳」で『男性優遇』の割合が8割を超える結果となっている。
- ・前回調査と大きな差はみられない。



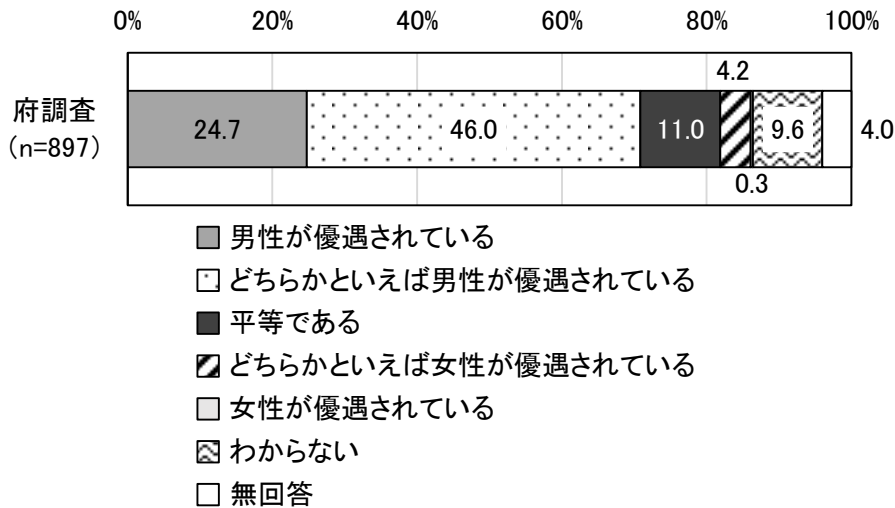


<性別・年代別クロス集計>

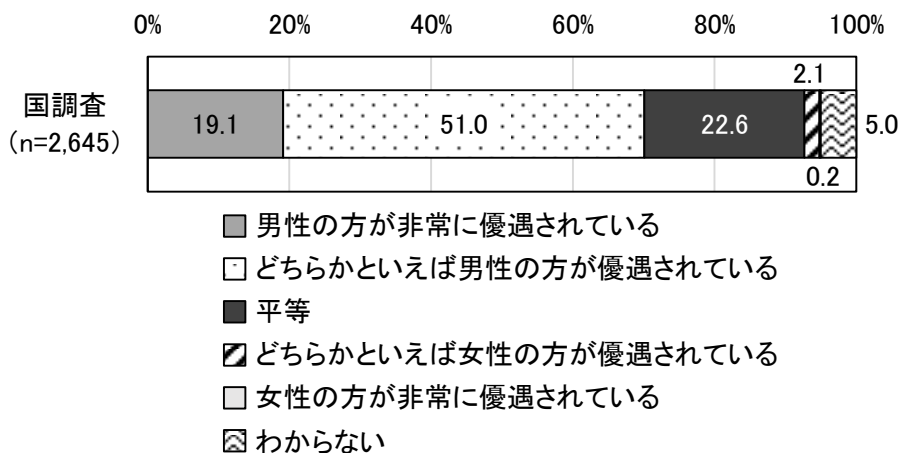
(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	21.8	52.3	10.6	1.9	-	8.5	4.9	74.1	1.9
性別	女性	235	25.5	48.5	8.9	2.1	-	9.8	5.1	74.0	2.1
	男性	181	15.5	57.5	13.3	1.7	-	7.2	5.0	73.0	1.7
年代別	18～29歳	24	37.5	41.7	-	4.2	-	12.5	4.2	79.2	4.2
	30～39歳	32	28.1	34.4	9.4	-	-	21.9	6.3	62.5	-
	40～49歳	62	21.0	50.0	11.3	3.2	-	12.9	1.6	71.0	3.2
	50～59歳	75	24.0	58.7	5.3	2.7	-	5.3	4.0	82.7	2.7
	60～69歳	83	25.3	56.6	12.0	-	-	4.8	1.2	81.9	-
	70歳以上	139	12.2	54.0	15.1	2.2	-	7.2	9.4	66.2	2.2

<参考：府調査>

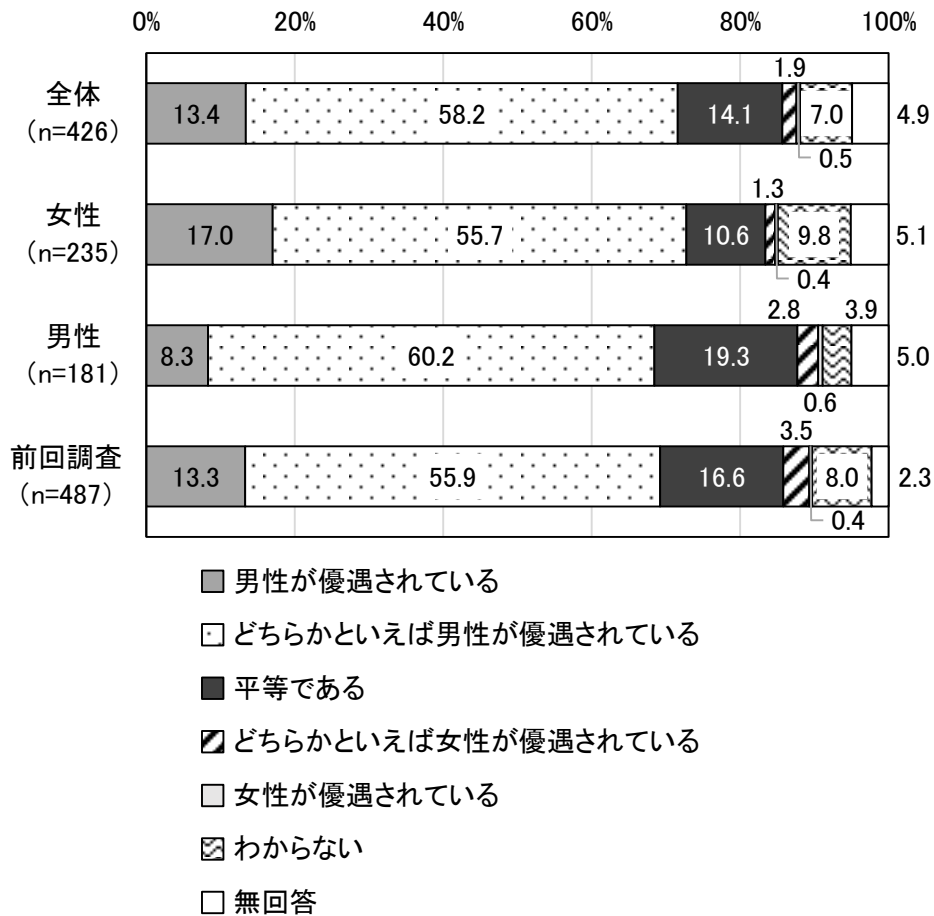


<参考：国調査>



(8) 社会全体で

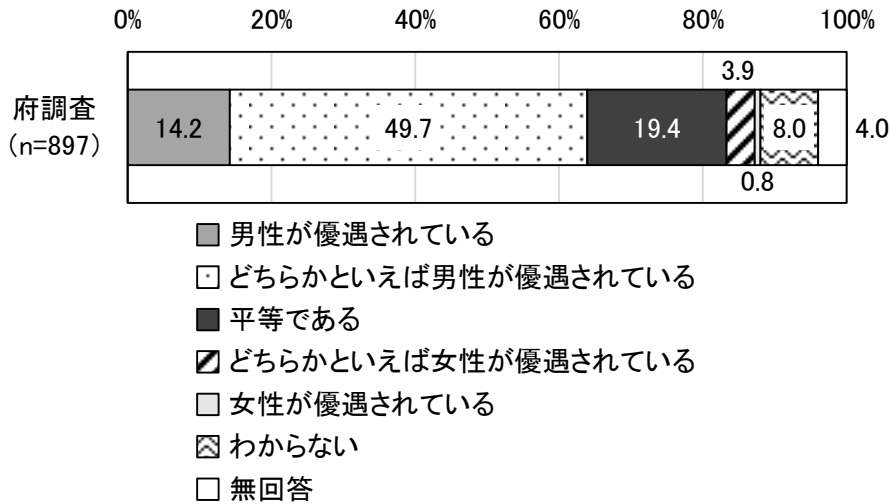
- ・社会全体での男女の地位については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 58.2%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は 71.6%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男性が優遇されている」が 17.0%と、「男性」より 8.7ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～29歳」で『男性優遇』の割合が 83.3%と8割を超える結果となっている。
- ・前回調査と大きな差はみられない。



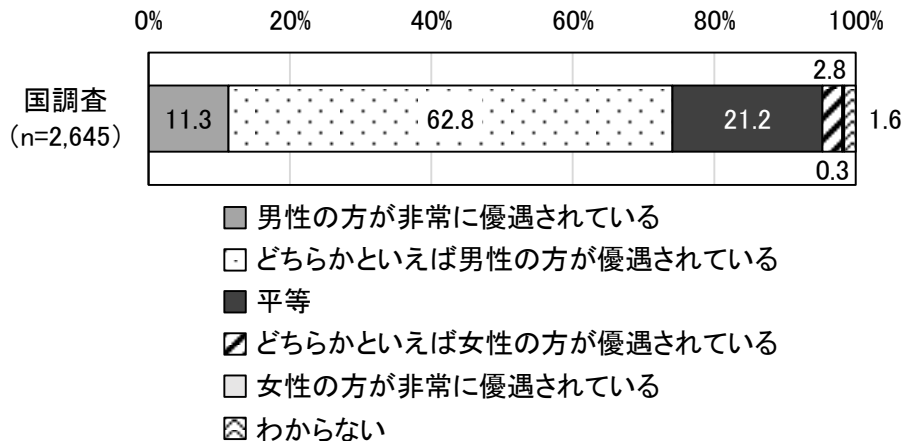
<性別・年代別クロス集計>

		回答者数(人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	13.4	58.2	14.1	1.9	0.5	7.0	4.9	71.6	2.4
性別	女性	235	17.0	55.7	10.6	1.3	0.4	9.8	5.1	72.7	1.7
	男性	181	8.3	60.2	19.3	2.8	0.6	3.9	5.0	68.5	3.4
年代別	18～29歳	24	37.5	45.8	8.3	4.2	-	-	4.2	83.3	4.2
	30～39歳	32	6.3	56.3	9.4	3.1	3.1	15.6	6.3	62.6	6.2
	40～49歳	62	11.3	54.8	12.9	4.8	-	14.5	1.6	66.1	4.8
	50～59歳	75	13.3	62.7	10.7	2.7	1.3	5.3	4.0	76.0	4.0
	60～69歳	83	13.3	61.4	16.9	-	-	7.2	1.2	74.7	-
	70歳以上	139	11.5	56.8	18.0	0.7	-	4.3	8.6	68.3	0.7

<参考：府調査>



<参考：国調査>

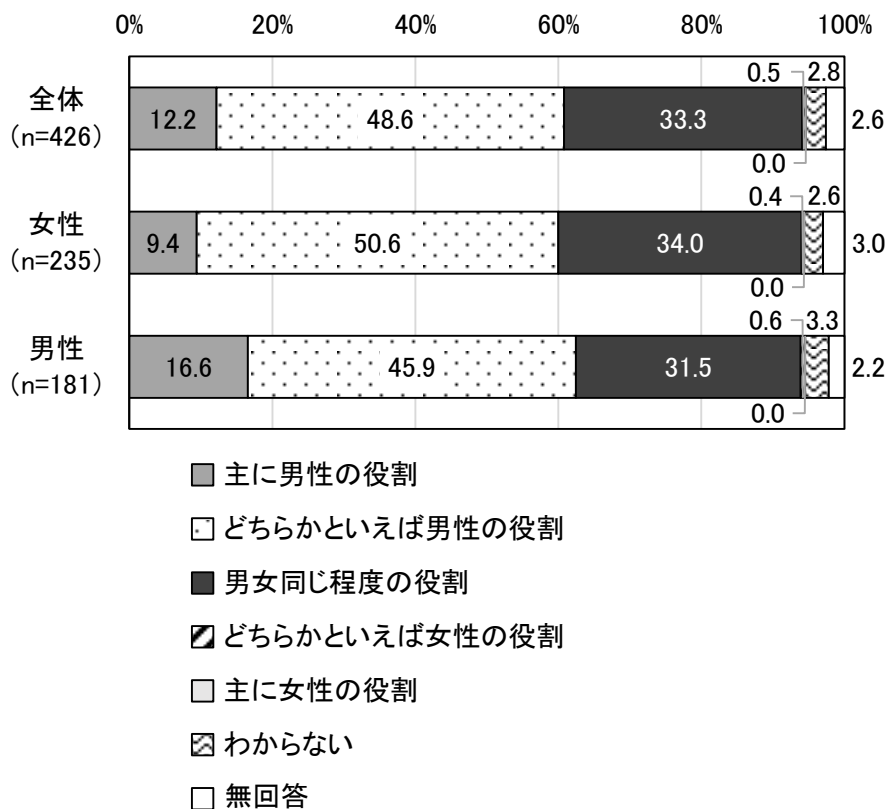


### 問3 家庭生活に関する役割の理想について

問3 あなたは、次のことについて、男女間でどのように分担するのが望ましい（理想）と思いますか。（各項目で○は1つ）

#### （1）生活費を得る役割

- ・生活費を得る役割の理想については、「どちらかといえば男性の役割」が48.6%と最も高く、「主に男性の役割」を合わせた『男性の役割』の割合は60.8%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「主に男性の役割」が16.6%と、「女性」より7.2ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれ「男女同じ程度の役割」が高くなっており、「18～29歳」で62.5%と6割を超えている。



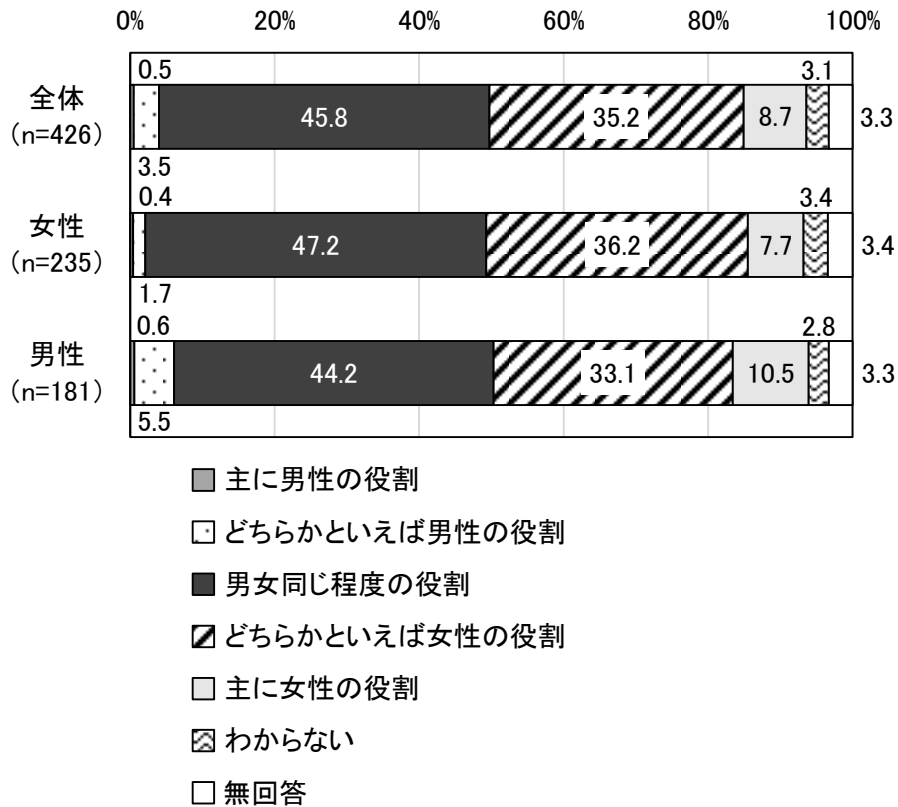
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	12.2	48.6	33.3	0.5	-	2.8	2.6	60.8	0.5
性別	女性	235	9.4	50.6	34.0	0.4	-	2.6	3.0	60.0	0.4
	男性	181	16.6	45.9	31.5	0.6	-	3.3	2.2	62.5	0.6
年代別	18～29歳	24	8.3	25.0	62.5	-	-	-	4.2	33.3	-
	30～39歳	32	6.3	40.6	43.8	-	-	6.3	3.1	46.9	-
	40～49歳	62	8.1	45.2	38.7	-	-	6.5	1.6	53.3	-
	50～59歳	75	12.0	52.0	32.0	-	-	4.0	-	64.0	-
	60～69歳	83	8.4	54.2	36.1	-	-	1.2	-	62.6	-
	70歳以上	139	19.4	50.4	21.6	1.4	-	1.4	5.8	69.8	1.4

## (2) 日々の家計管理の役割

- ・日々の家計管理の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 45.8%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 43.9%となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「18～49 歳」で「男女同じ程度の役割」が 6 割近くを占め全体より 10 ポイント程度高くなっている。



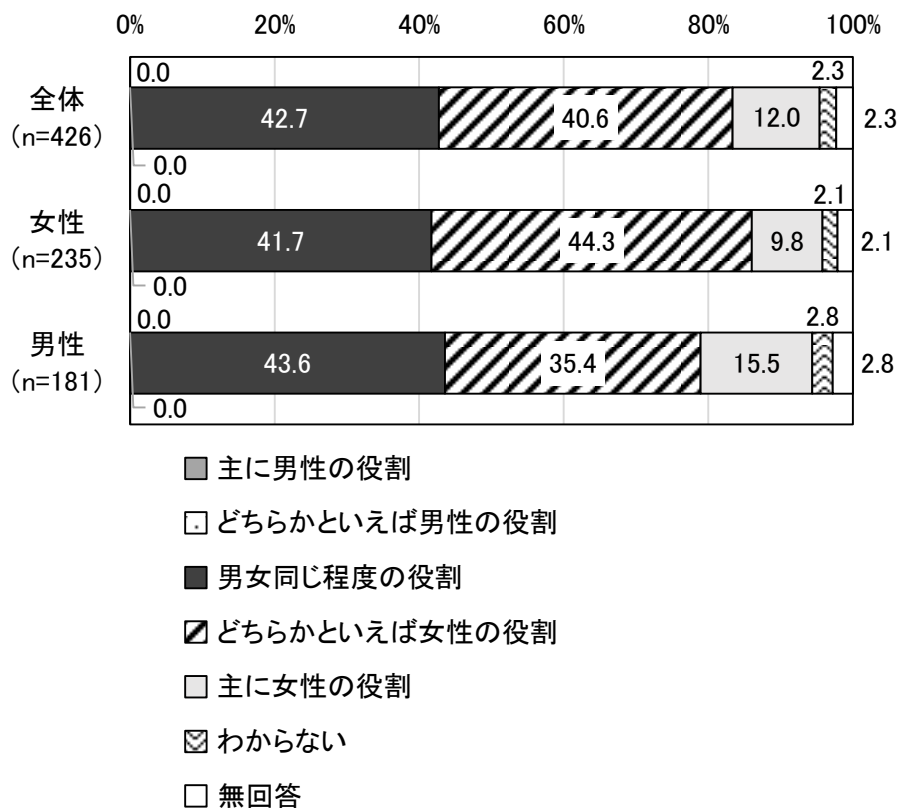
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	0.5	3.5	45.8	35.2	8.7	3.1	3.3	4.0	43.9
性別	女性	235	0.4	1.7	47.2	36.2	7.7	3.4	3.4	2.1	43.9
	男性	181	0.6	5.5	44.2	33.1	10.5	2.8	3.3	6.1	43.6
年代別	18～29歳	24	-	4.2	58.3	29.2	4.2	-	4.2	4.2	33.4
	30～39歳	32	-	6.3	56.3	18.8	3.1	12.5	3.1	6.3	21.9
	40～49歳	62	-	1.6	59.7	27.4	3.2	6.5	1.6	1.6	30.6
	50～59歳	75	-	6.7	45.3	30.7	12.0	2.7	2.7	6.7	42.7
	60～69歳	83	-	1.2	50.6	32.5	12.0	1.2	2.4	1.2	44.5
	70歳以上	139	1.4	2.9	32.4	46.8	10.1	1.4	5.0	4.3	56.9

### (3) 日常の家事（炊事）の役割

- ・日常の家事（炊事）の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 42.7%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 52.6%となっている。また、「主に男性の役割」・「どちらかといえば男性の役割」はともに 0%となっている。
- ・性別にみると、どちらも『女性の役割』の割合は5割程度を占め大きな差はみられないものの、その内訳では「女性」で「どちらかといえば女性の役割」が 44.3%と、「男性」より 8.9 ポイント高く、「男性」で「主に女性の役割」が 15.5%と、「女性」より 5.7 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれ「男女同じ程度の役割」が高くなっており、「18～29 歳」で 75.0%となっている。





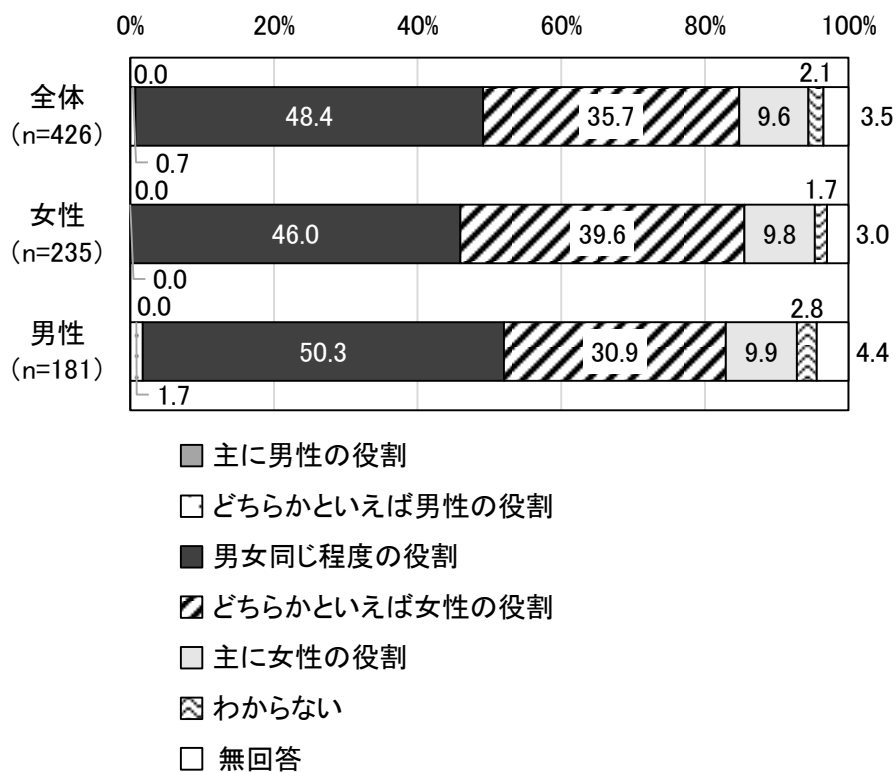
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	-	-	42.7	40.6	12.0	2.3	2.3	-	52.6
性別	女性	235	-	-	41.7	44.3	9.8	2.1	2.1	-	54.1
	男性	181	-	-	43.6	35.4	15.5	2.8	2.8	-	50.9
年代別	18～29歳	24	-	-	75.0	16.7	4.2	-	4.2	-	20.9
	30～39歳	32	-	-	53.1	37.5	-	6.3	3.1	-	37.5
	40～49歳	62	-	-	53.2	32.3	8.1	4.8	1.6	-	40.4
	50～59歳	75	-	-	44.0	36.0	14.7	5.3	-	-	50.7
	60～69歳	83	-	-	43.4	45.8	10.8	-	-	-	56.6
	70歳以上	139	-	-	28.8	47.5	18.0	0.7	5.0	-	65.5

#### (4) 日常の家事（洗濯）の役割

- ・ 日常の家事（洗濯）の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 48.4%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 45.3%となっている。
- ・ 性別にみると、「女性」で「どちらかといえば女性の役割」が 39.6%と、「男性」より 8.7 ポイント高くなっている。
- ・ 年代別にみると、年代が下がるにつれ「男女同じ程度の役割」が高くなっており、「18～29 歳」で 75.0%となっている。



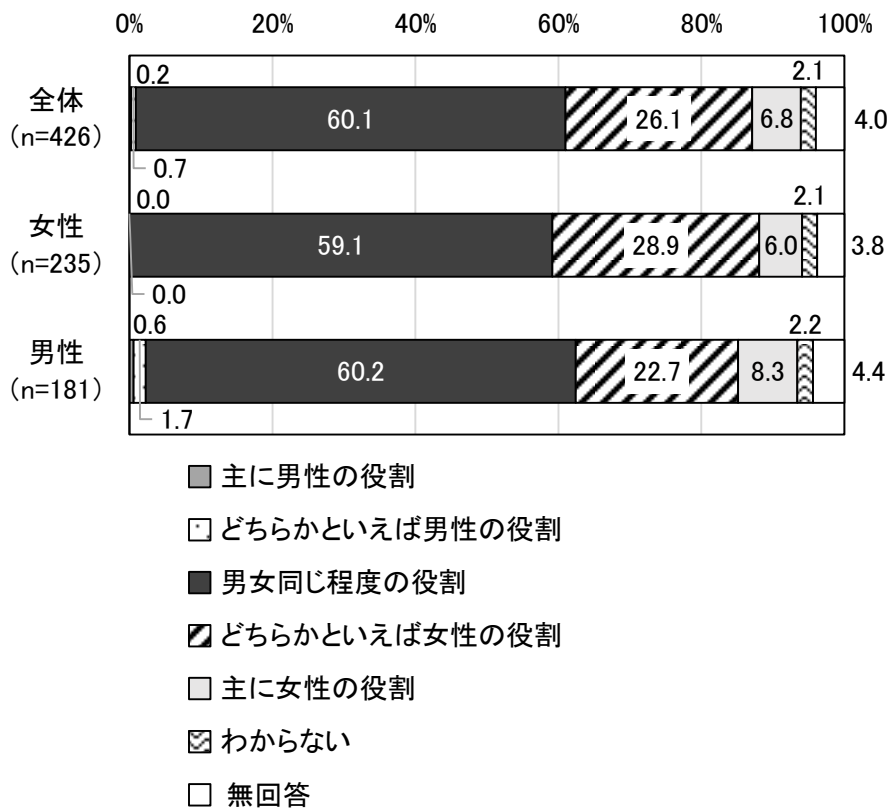
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	-	0.7	48.4	35.7	9.6	2.1	3.5	0.7	45.3
性別	女性	235	-	-	46.0	39.6	9.8	1.7	3.0	-	49.4
	男性	181	-	1.7	50.3	30.9	9.9	2.8	4.4	1.7	40.8
年代別	18～29歳	24	-	4.2	75.0	12.5	4.2	-	4.2	4.2	16.7
	30～39歳	32	-	-	65.6	25.0	-	6.3	3.1	-	25.0
	40～49歳	62	-	-	58.1	27.4	8.1	4.8	1.6	-	35.5
	50～59歳	75	-	-	48.0	40.0	5.3	5.3	1.3	-	45.3
	60～69歳	83	-	1.2	47.0	39.8	10.8	-	1.2	1.2	50.6
	70歳以上	139	-	0.7	34.5	41.7	15.8	-	7.2	0.7	57.5

### (5) 日常の家事（掃除）の役割

- ・ 日常の家事（掃除）の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 60.1%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 32.9%となっている。
- ・ 性別にみると、「女性」で「どちらかといえば女性の役割」が 28.9%と、「男性」より 6.2 ポイント高くなっている。
- ・ 年代別にみると、年代が下がるにつれ「男女同じ程度の役割」が高くなっており、「18～29 歳」で 79.2%となっている。



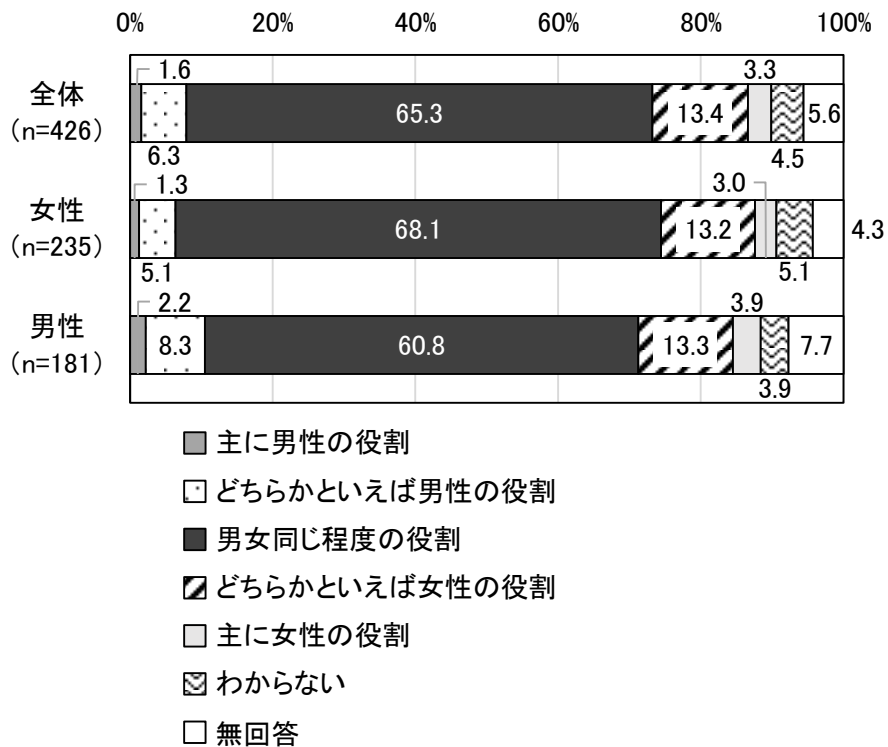
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	0.2	0.7	60.1	26.1	6.8	2.1	4.0	0.9	32.9
性別	女性	235	-	-	59.1	28.9	6.0	2.1	3.8	-	34.9
	男性	181	0.6	1.7	60.2	22.7	8.3	2.2	4.4	2.3	31.0
年代別	18～29歳	24	4.2	-	79.2	8.3	4.2	-	4.2	4.2	12.5
	30～39歳	32	-	-	71.9	18.8	-	6.3	3.1	-	18.8
	40～49歳	62	-	-	66.1	21.0	6.5	4.8	1.6	-	27.5
	50～59歳	75	-	1.3	62.7	22.7	5.3	5.3	2.7	1.3	28.0
	60～69歳	83	-	2.4	59.0	30.1	7.2	-	1.2	2.4	37.3
	70歳以上	139	-	-	48.9	33.1	10.1	-	7.9	-	43.2

(6) 日常の家事（3～5以外の家事）の役割

- ・日常の家事（3～5以外の家事）の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 65.3%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 16.7%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男女同じ程度の役割」が 68.1%と、「男性」より 7.3 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれ「男女同じ程度の役割」が高くなっており、「18～29 歳」で 83.3%となっている。



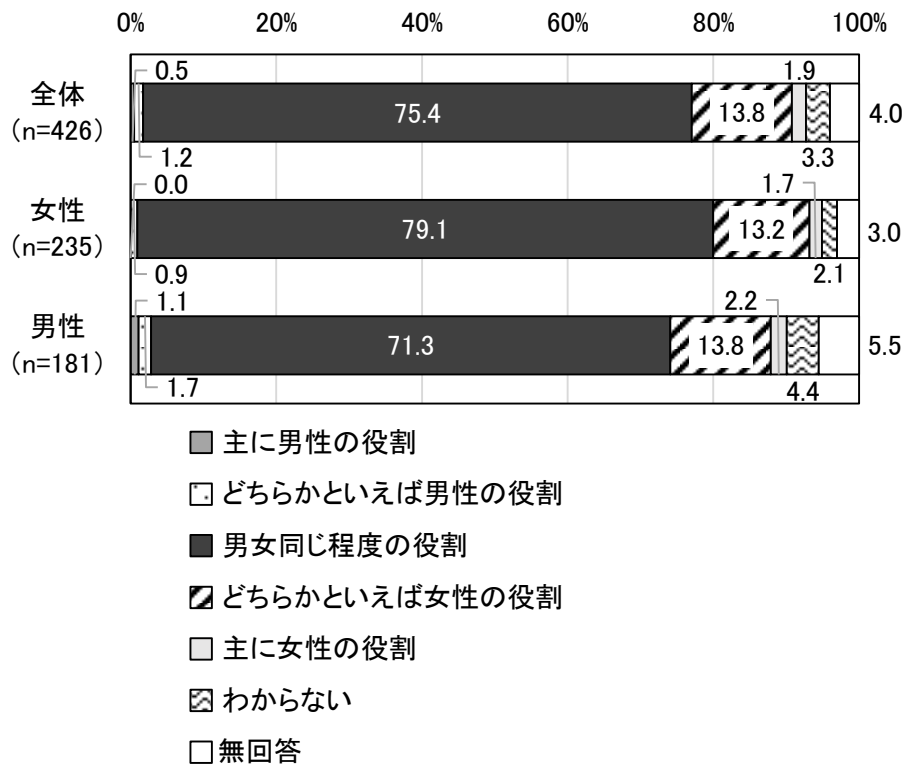
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	1.6	6.3	65.3	13.4	3.3	4.5	5.6	7.9	16.7
性別	女性	235	1.3	5.1	68.1	13.2	3.0	5.1	4.3	6.4	16.2
	男性	181	2.2	8.3	60.8	13.3	3.9	3.9	7.7	10.5	17.2
年代別	18～29歳	24	-	4.2	83.3	-	4.2	-	8.3	4.2	4.2
	30～39歳	32	-	-	75.0	9.4	3.1	9.4	3.1	-	12.5
	40～49歳	62	-	4.8	72.6	12.9	3.2	4.8	1.6	4.8	16.1
	50～59歳	75	1.3	5.3	60.0	21.3	1.3	5.3	5.3	6.6	22.6
	60～69歳	83	-	6.0	69.9	16.9	2.4	2.4	2.4	6.0	19.3
	70歳以上	139	4.3	10.1	55.4	10.1	5.0	5.0	10.1	14.4	15.1

(7) 子どもの教育としつけ、学校行事への参加の役割

- ・子どもの教育としつけ、学校行事への参加の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が75.4%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は15.7%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男女同じ程度の役割」が79.1%と、「男性」より7.8ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「70歳以上」で「男女同じ程度の役割」が63.3%と、全体より12.1ポイント低くなっている。
- ・子どもの有無別にみると、男女ともに「子どもあり」で『女性の役割』の割合が高くなっている。また、「男性」の「子どもあり」で「男女同じ程度の役割」が69.6%と、全体より5.8ポイント低くなっている。





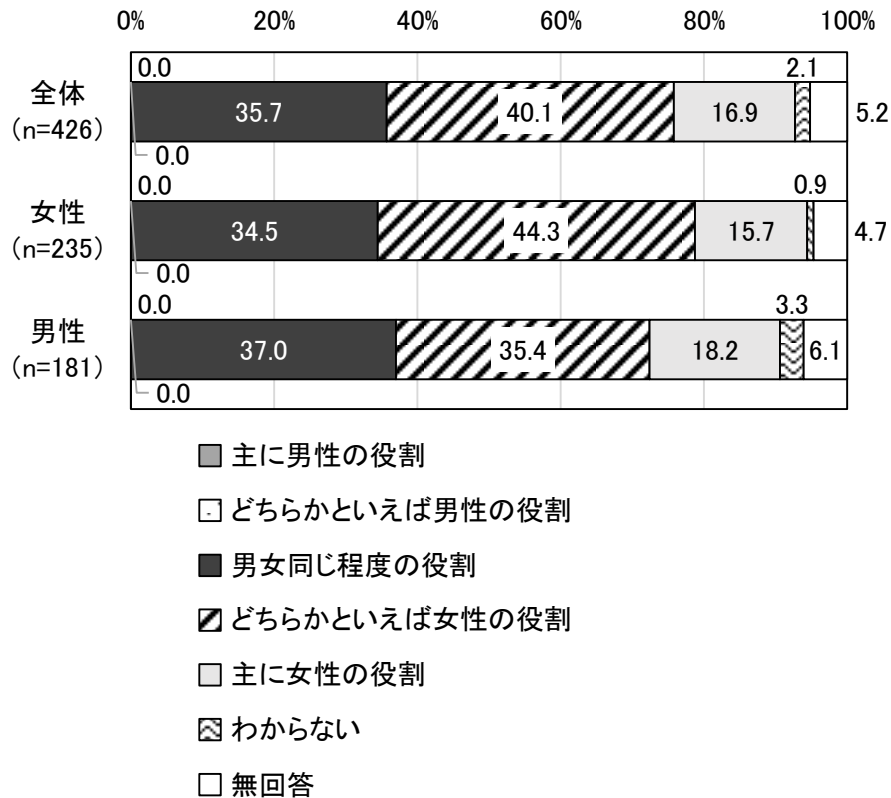
<性別・年代別・子どもの有無別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	0.5	1.2	75.4	13.8	1.9	3.3	4.0	1.7	15.7
性別	女性	235	-	0.9	79.1	13.2	1.7	2.1	3.0	0.9	14.9
	男性	181	1.1	1.7	71.3	13.8	2.2	4.4	5.5	2.8	16.0
年代別	18～29歳	24	-	-	79.2	8.3	8.3	-	4.2	0.0	16.6
	30～39歳	32	-	-	78.1	12.5	-	6.3	3.1	0.0	12.5
	40～49歳	62	-	-	83.9	9.7	-	4.8	1.6	0.0	9.7
	50～59歳	75	-	-	81.3	16.0	-	2.7	-	0.0	16.0
	60～69歳	83	-	2.4	83.1	10.8	2.4	1.2	-	2.4	13.2
	70歳以上	139	1.4	2.2	63.3	16.5	2.9	3.6	10.1	3.6	19.4
女性	子どもあり	193	-	1.0	79.3	14.5	2.1	1.0	2.1	1.0	16.6
	子どもなし	42	-	-	78.6	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1
男性	子どもあり	148	0.7	2.0	69.6	16.2	2.0	2.7	6.8	2.7	18.2
	子どもなし	31	3.2	-	77.4	3.2	3.2	12.9	-	3.2	6.4

### (8) 乳幼児の世話の役割

- ・乳幼児の世話の役割の理想については、「どちらかといえば女性の役割」が 40.1%と最も高く、「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 57.0%となっている。また、「主に男性の役割」・「どちらかといえば男性の役割」はともに0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「どちらかといえば女性の役割」が 44.3%と、「男性」より 8.9 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ『女性の役割』の割合が高くなっており、「60 歳以上」では 6 割を超える結果となっている。
- ・子どもの有無別にみると、男女ともに「子どもあり」で『女性の役割』の割合が高く、「子どもなし」で「男女同じ程度の役割」が高い結果となっている。特に「子どもなし」の「男性」で「男女同じ程度の役割」が 64.5%となっている。



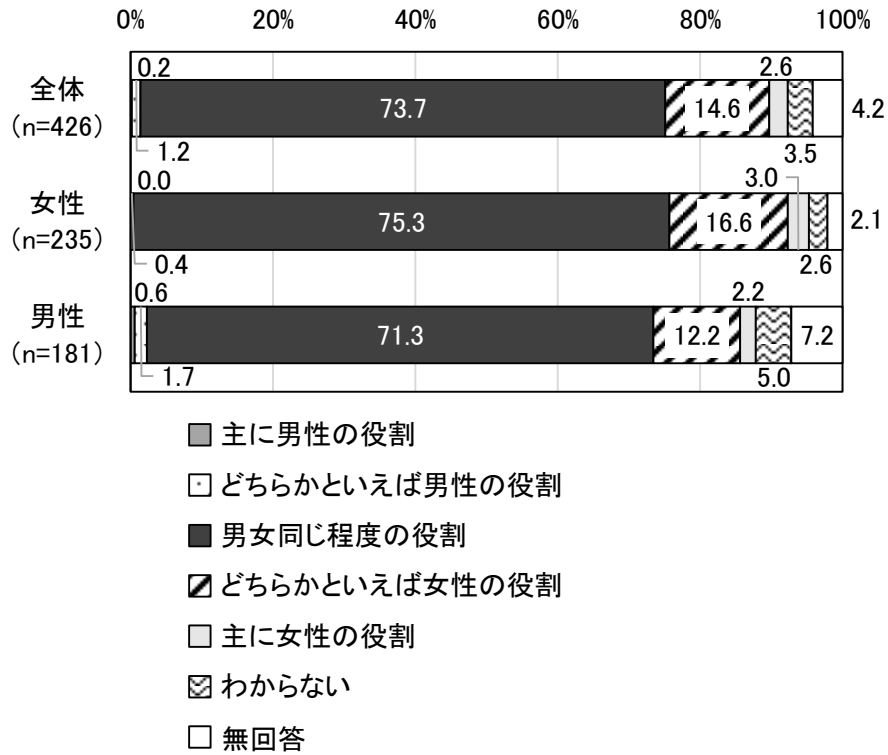
<性別・年代別・子どもの有無別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	-	-	35.7	40.1	16.9	2.1	5.2	-	57.0
性別	女性	235	-	-	34.5	44.3	15.7	0.9	4.7	-	60.0
	男性	181	-	-	37.0	35.4	18.2	3.3	6.1	-	53.6
年代別	18～29歳	24	-	-	54.2	29.2	12.5	-	4.2	-	41.7
	30～39歳	32	-	-	40.6	40.6	12.5	3.1	3.1	-	53.1
	40～49歳	62	-	-	41.9	41.9	11.3	3.2	1.6	-	53.2
	50～59歳	75	-	-	45.3	34.7	16.0	2.7	1.3	-	50.7
	60～69歳	83	-	-	36.1	41.0	21.7	1.2	-	-	62.7
	70歳以上	139	-	-	23.0	43.9	18.7	1.4	12.9	-	62.6
女性	子どもあり	193	-	-	31.1	45.1	18.7	1.0	4.1	-	63.8
	子どもなし	42	-	-	50.0	40.5	2.4	-	7.1	-	42.9
男性	子どもあり	148	-	-	30.4	40.5	20.9	0.7	7.4	-	61.4
	子どもなし	31	-	-	64.5	12.9	6.5	16.1	-	-	19.4

(9) 親や病身者の介護、看護の役割

- ・ 親や病身者の介護、看護の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 73.7%と最も高い一方で、「どちらかといえば女性の役割」と「主に女性の役割」を合わせた『女性の役割』の割合は 17.2%となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・ 年代別にみると、「70 歳以上」で『女性の役割』が 25.2%と 2 割を超える結果となっている。



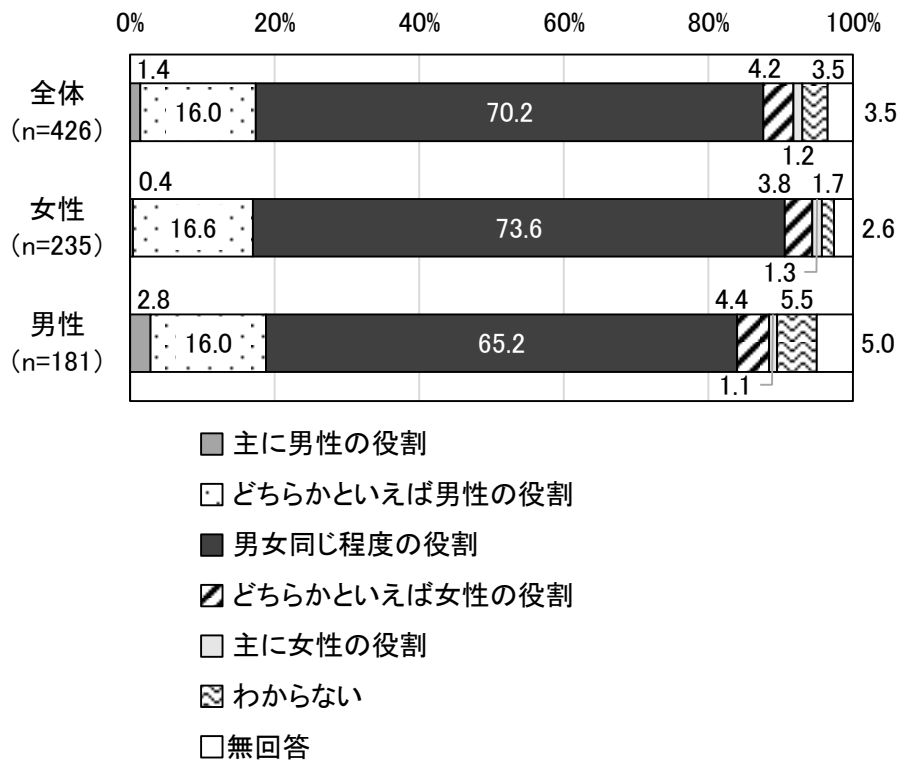
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	0.2	1.2	73.7	14.6	2.6	3.5	4.2	1.4	17.2
性別	女性	235	-	0.4	75.3	16.6	3.0	2.6	2.1	0.4	19.6
	男性	181	0.6	1.7	71.3	12.2	2.2	5.0	7.2	2.3	14.4
年代別	18～29歳	24	-	4.2	75.0	12.5	-	-	8.3	4.2	12.5
	30～39歳	32	-	-	81.3	9.4	-	6.3	3.1	-	9.4
	40～49歳	62	-	-	79.0	9.7	3.2	6.5	1.6	-	12.9
	50～59歳	75	-	1.3	78.7	13.3	1.3	4.0	1.3	1.3	14.6
	60～69歳	83	-	1.2	83.1	10.8	3.6	1.2	-	1.2	14.4
	70歳以上	139	0.7	0.7	60.4	21.6	3.6	3.6	9.4	1.4	25.2

(10) 自治会など地域活動への参加の役割

- ・自治会など地域活動への参加の役割の理想については、「男女同じ程度の役割」が 70.2%と最も高い一方で、「どちらかといえば男性の役割」と「主に男性の役割」を合わせた『男性の役割』の割合は 17.4%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男女同じ程度の役割」が 73.6%と、「男性」より 8.4 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39 歳」で「男女同じ程度の役割」が 81.3%と、全体より 11.1 ポイント高くなっている。



<性別・年代別クロス集計>

(%)

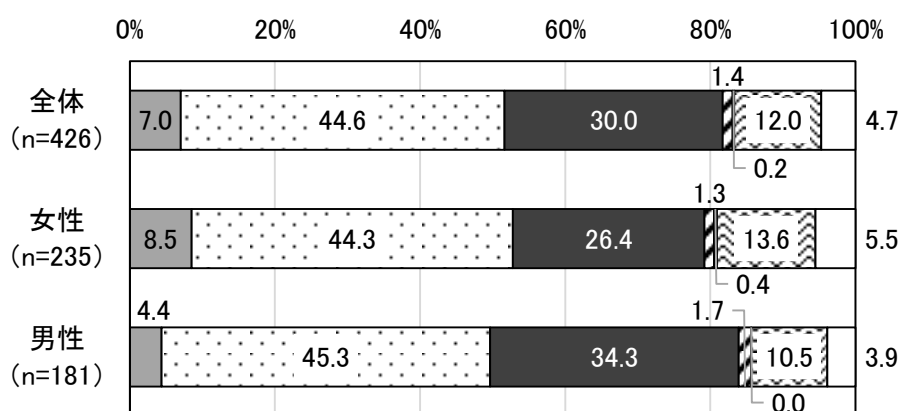
		回答者数(人)	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない	無回答	『男性の役割』	『女性の役割』
	全体	426	1.4	16.0	70.2	4.2	1.2	3.5	3.5	17.4	5.4
性別	女性	235	0.4	16.6	73.6	3.8	1.3	1.7	2.6	17.0	5.1
	男性	181	2.8	16.0	65.2	4.4	1.1	5.5	5.0	18.8	5.5
年代別	18～29歳	24	4.2	16.7	66.7	4.2	-	4.2	4.2	20.9	4.2
	30～39歳	32	-	6.3	81.3	-	-	9.4	3.1	6.3	-
	40～49歳	62	-	16.1	72.6	4.8	-	4.8	1.6	16.1	4.8
	50～59歳	75	2.7	16.0	68.0	6.7	1.3	4.0	1.3	18.7	8.0
	60～69歳	83	-	18.1	75.9	1.2	2.4	2.4	-	18.1	3.6
	70歳以上	139	2.2	18.0	64.0	5.0	1.4	1.4	7.9	20.2	6.4

#### 問4 仕事に関する性別による差について

問4 あなたは、仕事に関する次のことについて、性別により差があると思いますか。  
あなたの考えに1番近いものを選んでください。(各項目で○は1つ)

##### (1) 募集・採用

- ・募集・採用における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が44.6%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は51.6%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「平等である」が34.3%と、「女性」より7.9ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」で「平等である」が40.6%と、全体より10.6ポイント高くなっている。



- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

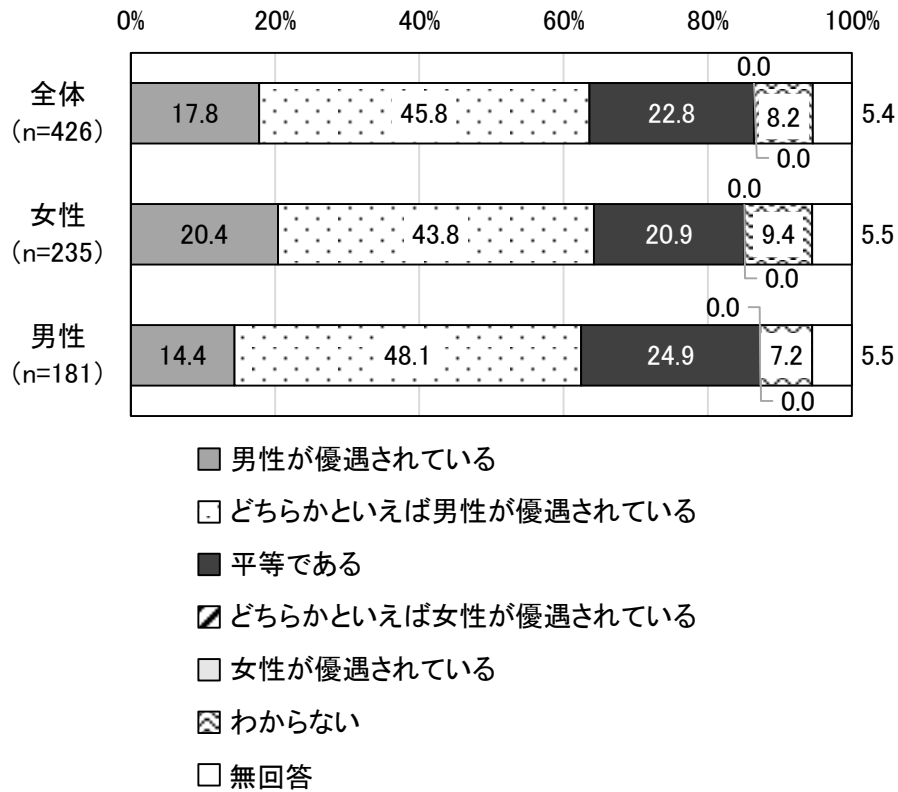


<性別・年代別クロス集計>

												(%)
		回答者数(人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計	
	全体	426	7.0	44.6	30.0	1.4	0.2	12.0	4.7	51.6	1.6	
性別	女性	235	8.5	44.3	26.4	1.3	0.4	13.6	5.5	52.8	1.7	
	男性	181	4.4	45.3	34.3	1.7	-	10.5	3.9	49.7	1.7	
年代別	18～29歳	24	4.2	54.2	29.2	4.2	-	8.3	-	58.4	4.2	
	30～39歳	32	3.1	31.3	40.6	-	-	18.8	6.3	34.4	-	
	40～49歳	62	6.5	38.7	37.1	1.6	1.6	11.3	3.2	45.2	3.2	
	50～59歳	75	5.3	45.3	34.7	2.7	-	9.3	2.7	50.6	2.7	
	60～69歳	83	6.0	48.2	27.7	1.2	-	14.5	2.4	54.2	1.2	
	70歳以上	139	9.4	46.0	23.0	0.7	-	12.2	8.6	55.4	0.7	

## (2) 賃金

- ・賃金における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 45.8%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は 63.6%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「男性が優遇されている」が 20.4%と、「男性」より 6ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、年代が下がるにつれ「平等である」が高くなっており、「18～39歳」では 37.5%となっている。



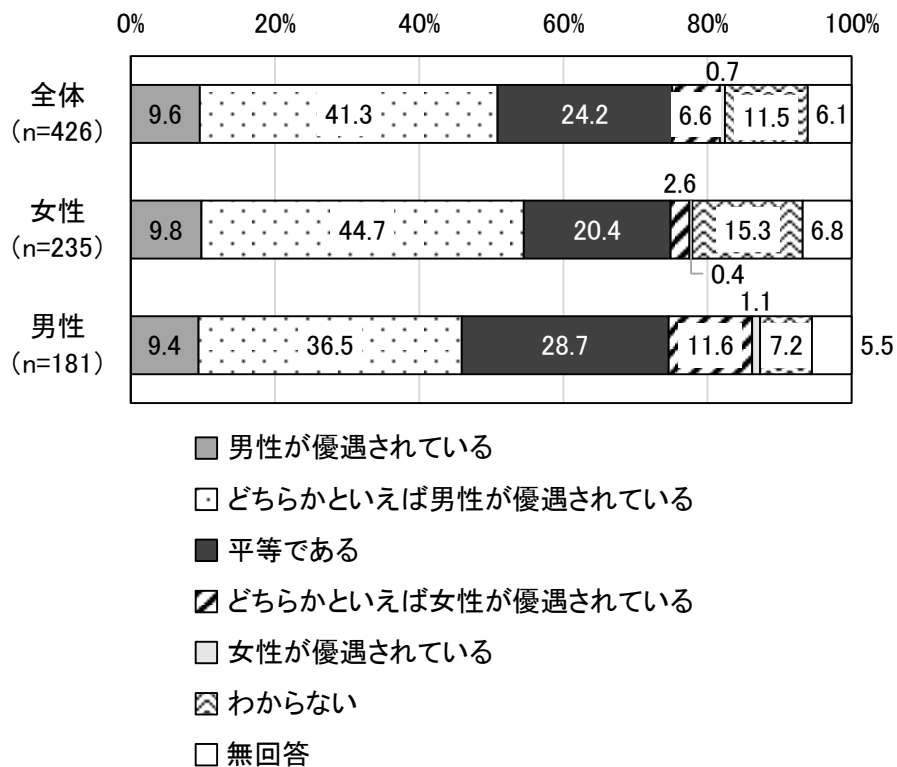
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	17.8	45.8	22.8	-	-	8.2	5.4	63.6	-
性別	女性	235	20.4	43.8	20.9	-	-	9.4	5.5	64.2	-
	男性	181	14.4	48.1	24.9	-	-	7.2	5.5	62.5	-
年代別	18～29歳	24	29.2	16.7	37.5	-	-	8.3	8.3	45.9	-
	30～39歳	32	6.3	31.3	37.5	-	-	18.8	6.3	37.6	-
	40～49歳	62	16.1	38.7	35.5	-	-	8.1	1.6	54.8	-
	50～59歳	75	6.7	52.0	30.7	-	-	6.7	4.0	58.7	-
	60～69歳	83	18.1	56.6	14.5	-	-	8.4	2.4	74.7	-
	70歳以上	139	25.2	46.8	11.5	-	-	7.2	9.4	72.0	-

### (3) 仕事の内容

- ・ 仕事の内容における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が41.3%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は50.9%となっている。
- ・ 性別にみると、「男性」で『女性優遇』の割合が12.7%と1割程度を占め、他の項目（(1), (2), (4)～(7)）に比べ高い結果となっている。
- ・ 年代別にみると、「60～69歳」で『男性優遇』の割合が62.6%と、全体より11.7ポイント高くなっている。また、「30～39歳」では『女性優遇』の割合が18.7%と、全体より11.4ポイント高くなっている。



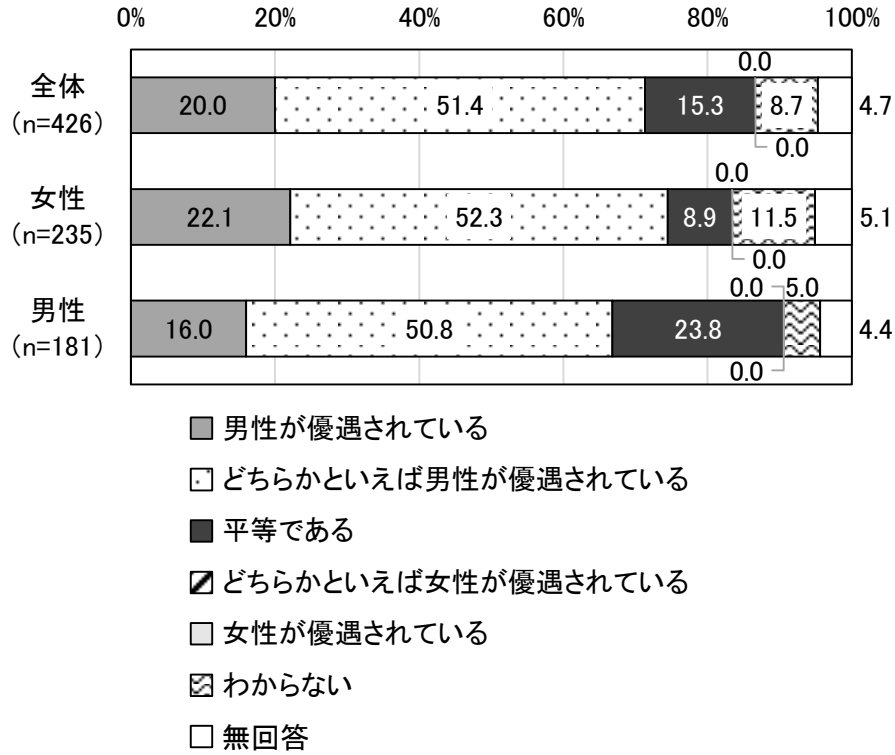
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	9.6	41.3	24.2	6.6	0.7	11.5	6.1	50.9	7.3
性別	女性	235	9.8	44.7	20.4	2.6	0.4	15.3	6.8	54.5	3.0
	男性	181	9.4	36.5	28.7	11.6	1.1	7.2	5.5	45.9	12.7
年代別	18～29歳	24	16.7	33.3	20.8	16.7	-	12.5	-	50.0	16.7
	30～39歳	32	-	34.4	21.9	15.6	3.1	18.8	6.3	34.4	18.7
	40～49歳	62	8.1	35.5	35.5	6.5	1.6	11.3	1.6	43.6	8.1
	50～59歳	75	2.7	45.3	30.7	5.3	1.3	9.3	5.3	48.0	6.6
	60～69歳	83	12.0	50.6	18.1	7.2	-	10.8	1.2	62.6	7.2
	70歳以上	139	13.7	38.8	20.1	2.9	-	11.5	12.9	52.5	2.9

#### (4) 昇進・昇格

- ・昇進・昇格における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が51.4%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は71.4%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「平等である」が8.9%と、「男性」より14.9ポイント低くなっている。
- ・年代別にみると、「40～49歳」で「平等である」が24.2%と2割を超える結果となっている。



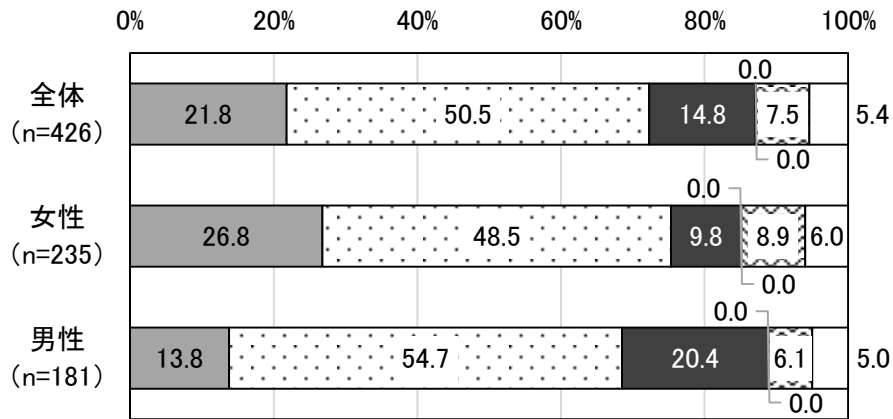
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	20.0	51.4	15.3	-	-	8.7	4.7	71.4	-
性別	女性	235	22.1	52.3	8.9	-	-	11.5	5.1	74.4	-
	男性	181	16.0	50.8	23.8	-	-	5.0	4.4	66.8	-
年代別	18～29歳	24	37.5	41.7	16.7	-	-	4.2	-	79.2	-
	30～39歳	32	3.1	59.4	12.5	-	-	18.8	6.3	62.5	-
	40～49歳	62	17.7	50.0	24.2	-	-	6.5	1.6	67.7	-
	50～59歳	75	14.7	57.3	18.7	-	-	5.3	4.0	72.0	-
	60～69歳	83	21.7	55.4	12.0	-	-	8.4	2.4	77.1	-
	70歳以上	139	22.3	46.8	12.2	-	-	10.1	8.6	69.1	-

(5) 管理職への登用

- ・管理職への登用における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が50.5%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は72.3%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「平等である」が9.8%と、「男性」より10.6ポイント低くなっている。
- ・年代別にみると、「40～49歳」で「平等である」が21.0%と2割を超える結果となっている。



- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答



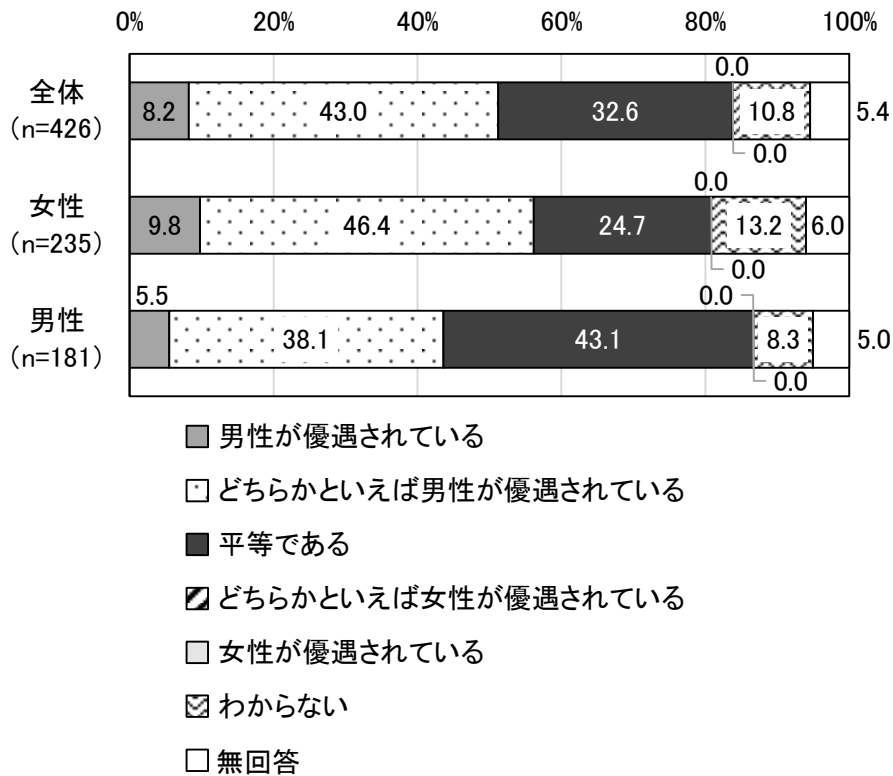
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が 優遇されて いる	どちらか といえば男 性が優遇さ れている	平等で ある	どちらか といえば女 性が優遇さ れている	女性 が優遇さ れている	わ から ない	無 回 答	『男 性優 遇』 計	『女 性優 遇』 計
	全体	426	21.8	50.5	14.8	-	-	7.5	5.4	72.3	-
性別	女性	235	26.8	48.5	9.8	-	-	8.9	6.0	75.3	-
	男性	181	13.8	54.7	20.4	-	-	6.1	5.0	68.5	-
年代別	18～29 歳	24	41.7	33.3	16.7	-	-	8.3	-	75.0	-
	30～39 歳	32	12.5	56.3	9.4	-	-	15.6	6.3	68.8	-
	40～49 歳	62	22.6	48.4	21.0	-	-	6.5	1.6	71.0	-
	50～59 歳	75	14.7	60.0	16.0	-	-	2.7	6.7	74.7	-
	60～69 歳	83	22.9	53.0	14.5	-	-	8.4	1.2	75.9	-
	70 歳以上	139	21.6	48.2	11.5	-	-	8.6	10.1	69.8	-

(6) 能力評価（業績評価・人事考課など）

- ・能力評価（業績評価・人事考課など）における性別による差については、「どちらかといえば男性が優遇されている」が43.0%と最も高く、「男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は51.2%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『男性優遇』の割合が56.2%と、「男性」より12.6ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～59歳」で「平等である」が4割を超え、全体より10ポイント程度高い結果となっている。



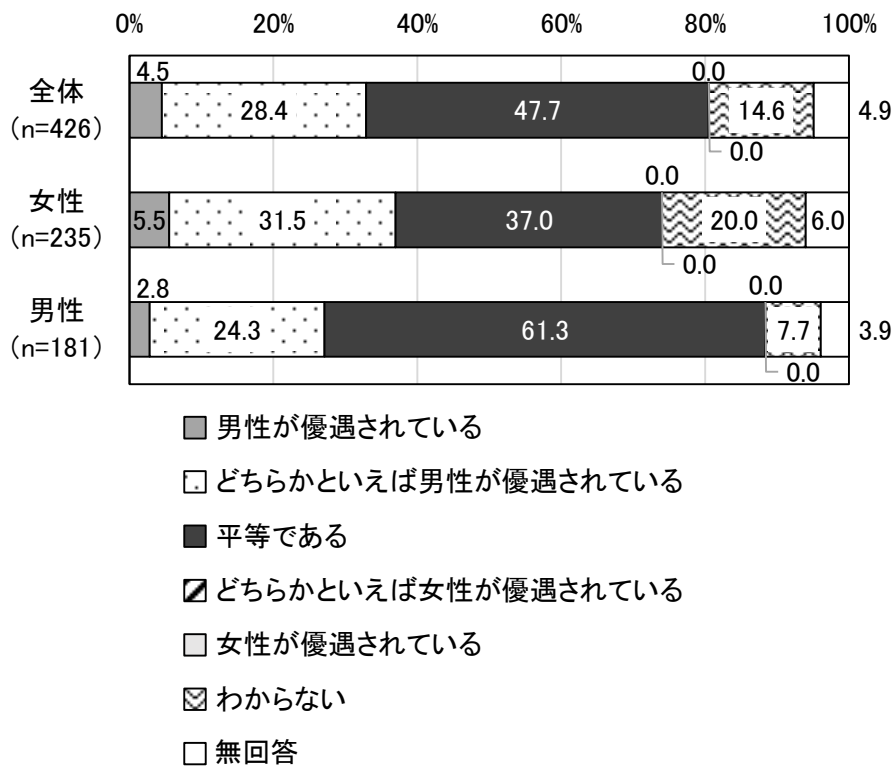
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	8.2	43.0	32.6	-	-	10.8	5.4	51.2	-
性別	女性	235	9.8	46.4	24.7	-	-	13.2	6.0	56.2	-
	男性	181	5.5	38.1	43.1	-	-	8.3	5.0	43.6	-
年代別	18～29歳	24	20.8	33.3	37.5	-	-	8.3	-	54.1	-
	30～39歳	32	-	34.4	43.8	-	-	15.6	6.3	34.4	-
	40～49歳	62	4.8	38.7	43.5	-	-	11.3	1.6	43.5	-
	50～59歳	75	8.0	38.7	42.7	-	-	6.7	4.0	46.7	-
	60～69歳	83	9.6	51.8	24.1	-	-	12.0	2.4	61.4	-
	70歳以上	139	7.9	44.6	24.5	-	-	12.2	10.8	52.5	-

(7) 研修の機会や内容

- ・研修の機会や内容における性別による差については、「平等である」が47.7%と最も高い一方で、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合は32.9%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「平等である」が37.0%と、「男性」より24.3ポイント低くなっている。
- ・年代別にみると、「40～49歳」で「平等である」が62.9%と6割を超えており、全体より15.2ポイント高くなっている。



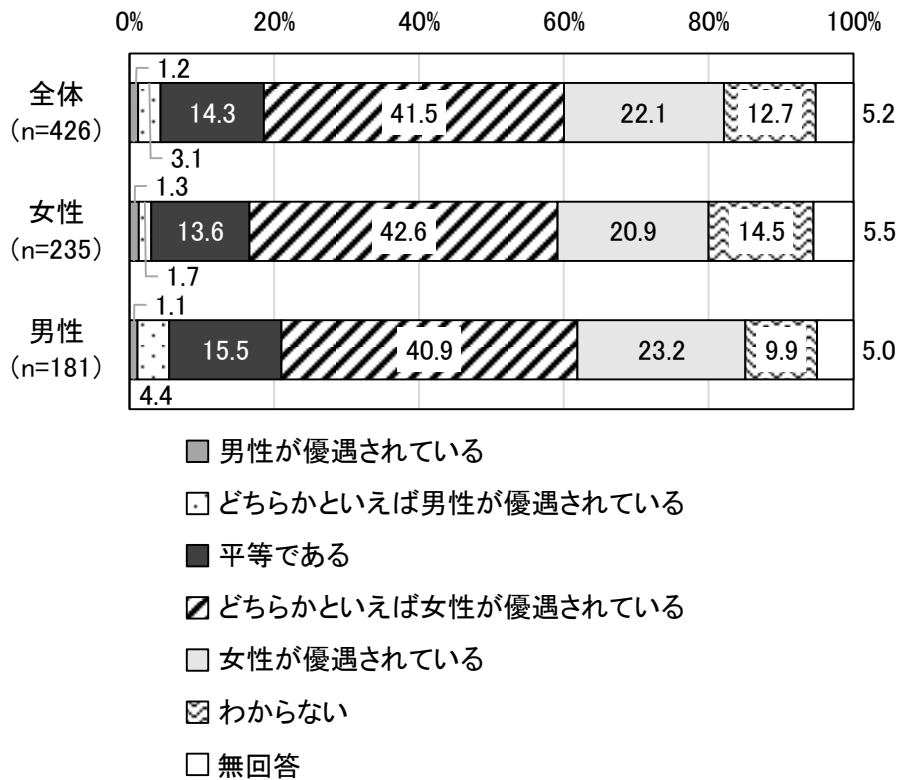
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	4.5	28.4	47.7	-	-	14.6	4.9	32.9	-
性別	女性	235	5.5	31.5	37.0	-	-	20.0	6.0	37.0	-
	男性	181	2.8	24.3	61.3	-	-	7.7	3.9	27.1	-
年代別	18～29歳	24	8.3	29.2	45.8	-	-	16.7	-	37.5	-
	30～39歳	32	-	18.8	50.0	-	-	25.0	6.3	18.8	-
	40～49歳	62	1.6	22.6	62.9	-	-	11.3	1.6	24.2	-
	50～59歳	75	2.7	32.0	53.3	-	-	8.0	4.0	34.7	-
	60～69歳	83	6.0	32.5	42.2	-	-	18.1	1.2	38.5	-
	70歳以上	139	5.8	28.8	41.0	-	-	14.4	10.1	34.6	-

(8) 育児、介護・看護休暇など休暇の取得のしやすさ

- ・育児、介護・看護休暇など休暇の取得のしやすさにおける性別による差については、「どちらかといえば女性が優遇されている」が41.5%と最も高く、「女性が優遇されている」を合わせた『女性優遇』の割合は63.6%となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「18～29歳」で『女性優遇』の割合が79.2%と、全体より15.6ポイント高くなっている。



<性別・年代別クロス集計>

(%)

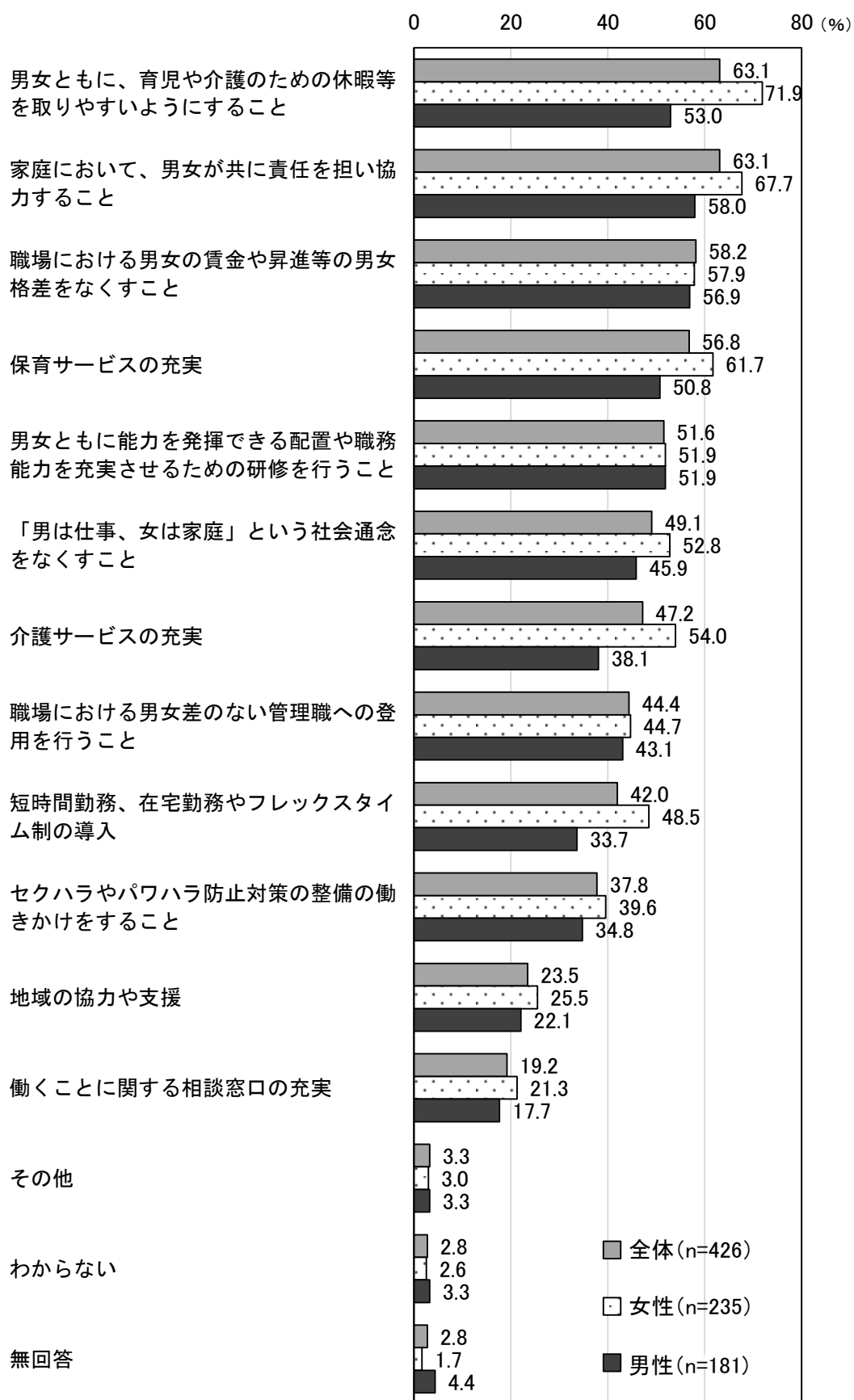
		回答者数 (人)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
	全体	426	1.2	3.1	14.3	41.5	22.1	12.7	5.2	4.3	63.6
性別	女性	235	1.3	1.7	13.6	42.6	20.9	14.5	5.5	3.0	63.5
	男性	181	1.1	4.4	15.5	40.9	23.2	9.9	5.0	5.5	64.1
年代別	18～29 歳	24	4.2	-	8.3	25.0	54.2	8.3	-	4.2	79.2
	30～39 歳	32	-	6.3	9.4	40.6	28.1	9.4	6.3	6.3	68.7
	40～49 歳	62	1.6	3.2	21.0	40.3	22.6	9.7	1.6	4.8	62.9
	50～59 歳	75	-	2.7	10.7	45.3	28.0	9.3	4.0	2.7	73.3
	60～69 歳	83	1.2	1.2	24.1	41.0	19.3	12.0	1.2	2.4	60.3
	70 歳以上	139	1.4	3.6	10.1	43.9	12.9	17.3	10.8	5.0	56.8

## 問5 男女がともに働きやすい環境をつくるために必要だと思うこと

問5 あなたは、男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・男女がともに働きやすい環境をつくるために必要だと思うことについては、「男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること」・「家庭において、男女が共に責任を担い協力すること」がともに63.1%と最も高く、次いで「職場における男女の賃金や昇進等の男女格差をなくすこと」(58.2%)、「保育サービスの充実」(56.8%)となっている。
- ・性別にみると、「保育サービスの充実」・「介護サービスの充実」・「男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること」・「短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム制の導入」で、「女性」が「男性」より10ポイント以上高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～29歳」で「職場における男女の賃金や昇進等の男女格差をなくすこと」・「男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること」・「短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム制の導入」、「30～39歳」で「男は仕事、女は家庭」という社会通念をなくすこと、「40～49歳」で「短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム制の導入」、「70歳以上」で「男女ともに能力を発揮できる配置や職務能力を充実させるための研修を行うこと」が、全体より10ポイント程度高くなっている。





その他：「法整備」、「転勤をなくすこと」

<性別・年代別クロス集計>

(%)

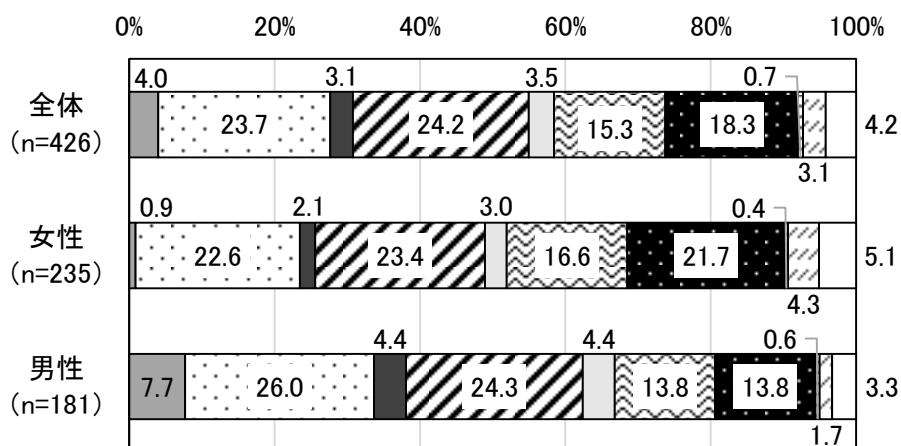
		回答者数(人)	職場における男女の賃金や昇進等の男女格差をなくすこと	職場における男女差のない管理職への登用を行うこと	男女ともに、能力を発揮できる配置や職務能力を充実させるための研修を行うこと	保育サービスの充実	介護サービスの充実	男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること	セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント防止対策の整備の働きかけをすること	短時間勤務、在宅勤務やフレックスタム制の導入
	全体	426	58.2	44.4	51.6	56.8	47.2	63.1	37.8	42.0
性別	女性	235	57.9	44.7	51.9	61.7	54.0	71.9	39.6	48.5
	男性	181	56.9	43.1	51.9	50.8	38.1	53.0	34.8	33.7
年代別	18～29歳	24	75.0	54.2	45.8	45.8	33.3	79.2	45.8	54.2
	30～39歳	32	37.5	34.4	28.1	62.5	43.8	53.1	25.0	46.9
	40～49歳	62	53.2	43.5	45.2	59.7	48.4	62.9	40.3	58.1
	50～59歳	75	61.3	44.0	42.7	65.3	56.0	60.0	37.3	38.7
	60～69歳	83	54.2	49.4	55.4	62.7	50.6	67.5	42.2	39.8
	70歳以上	139	60.4	41.0	64.0	48.9	42.4	63.3	34.5	34.5
		回答者数(人)	家庭において、男女が共に責任を担い協力すること	地域の協力や支援	働くことに関する相談窓口の充実	「男は仕事、女は家庭」という社会通念をなくすこと	その他	わからない	無回答	
	全体	426	63.1	23.5	19.2	49.1	3.3	2.8	2.8	
性別	女性	235	67.7	25.5	21.3	52.8	3.0	2.6	1.7	
	男性	181	58.0	22.1	17.7	45.9	3.3	3.3	4.4	
年代別	18～29歳	24	66.7	16.7	20.8	58.3	8.3	-	-	
	30～39歳	32	62.5	28.1	12.5	59.4	12.5	6.3	3.1	
	40～49歳	62	59.7	22.6	19.4	41.9	1.6	4.8	1.6	
	50～59歳	75	61.3	20.0	14.7	44.0	4.0	-	4.0	
	60～69歳	83	66.3	19.3	18.1	53.0	1.2	2.4	1.2	
	70歳以上	139	64.0	30.2	24.5	51.1	1.4	3.6	4.3	

## 問6 日常生活での優先度の希望と現実（現状）について

問6 あなたは日常生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」で何を優先していますか。あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。（〇は1つ）

### （1）希望として

- ・日常生活での優先度の希望については、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が24.2%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい（23.7%）、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい（18.3%）となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」が21.7%と、「男性」より7.9ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」で「家庭生活」を優先したい」が34.4%と、全体より10.7ポイント高くなっている。



- 「仕事」を優先したい
- 「家庭生活」を優先したい
- 「地域・個人の生活」を優先したい
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- その他
- わからない
- 無回答

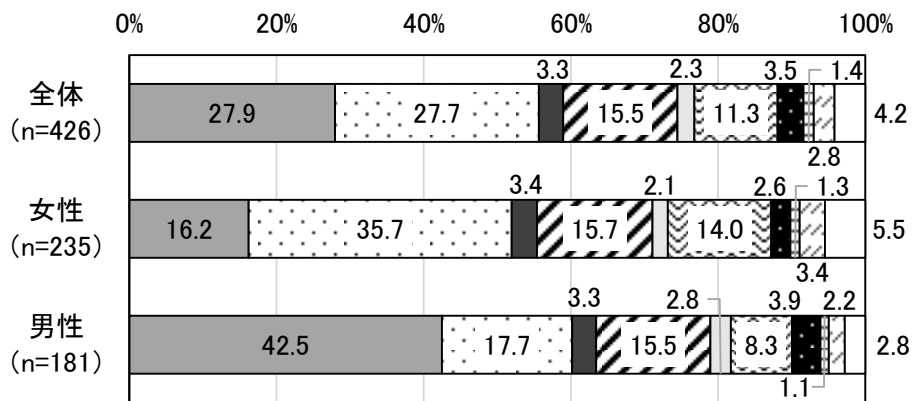
<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	その他	わからない	無回答
	全体	426	4.0	23.7	3.1	24.2	3.5	15.3	18.3	0.7	3.1	4.2
性別	女性	235	0.9	22.6	2.1	23.4	3.0	16.6	21.7	0.4	4.3	5.1
	男性	181	7.7	26.0	4.4	24.3	4.4	13.8	13.8	0.6	1.7	3.3
年代別	18～29歳	24	4.2	12.5	12.5	33.3	4.2	12.5	12.5	-	8.3	-
	30～39歳	32	3.1	34.4	9.4	18.8	-	6.3	18.8	-	3.1	6.3
	40～49歳	62	-	29.0	-	29.0	6.5	11.3	24.2	-	-	-
	50～59歳	75	2.7	21.3	2.7	30.7	2.7	9.3	25.3	2.7	1.3	1.3
	60～69歳	83	3.6	25.3	1.2	21.7	4.8	16.9	21.7	-	2.4	2.4
	70歳以上	139	6.5	22.3	2.9	18.7	2.9	22.3	10.1	-	5.0	9.4

## (2) 現実（現状）として

- ・日常生活での優先度の現実については、「仕事」を優先しているが27.9%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先している(27.7%)、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している(15.5%)となっている。
- ・性別にみると、「女性」では「家庭生活」を優先しているが35.7%と、「男性」より18ポイント高くなっている一方で、「男性」では「仕事」を優先しているが42.5%と、「女性」より26.3ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」・「50～59歳」で「仕事」を優先しているが4割を超え、全体より10ポイント程度高くなっている。また、「40～49歳」で「仕事」と「家庭生活」をともに優先しているが27.4%と、全体より11.9ポイント高くなっている。



- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- 「地域・個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- その他
- わからない
- 無回答

その他：「その時々で優先度合を調整している」

<性別・年代別クロス集計>

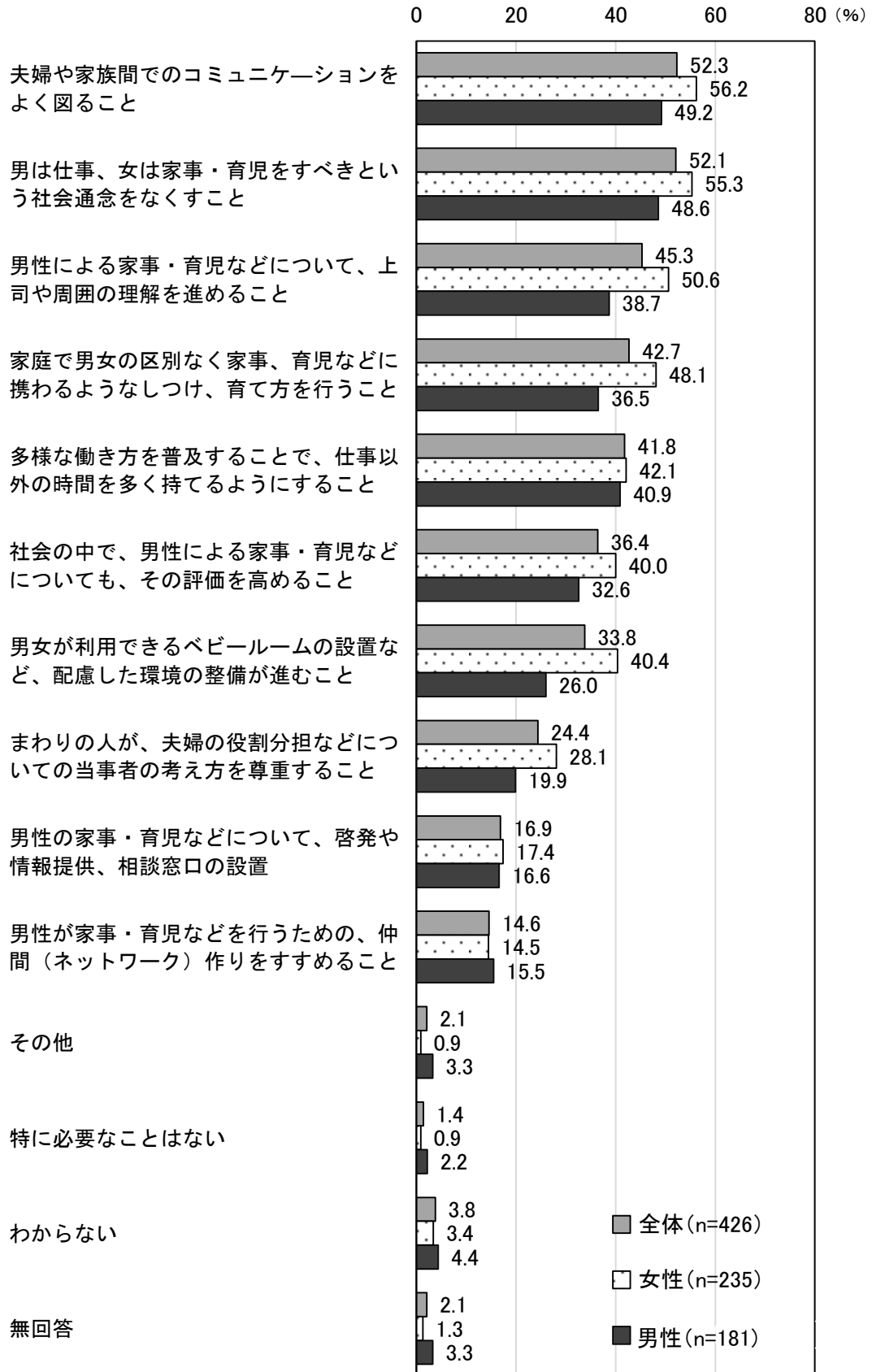
(%)

		回答者数(人)	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	その他	わからない	無回答
	全体	426	27.9	27.7	3.3	15.5	2.3	11.3	3.5	1.4	2.8	4.2
性別	女性	235	16.2	35.7	3.4	15.7	2.1	14.0	2.6	1.3	3.4	5.5
	男性	181	42.5	17.7	3.3	15.5	2.8	8.3	3.9	1.1	2.2	2.8
年代別	18～29歳	24	33.3	8.3	16.7	12.5	4.2	4.2	8.3	8.3	4.2	-
	30～39歳	32	40.6	25.0	3.1	9.4	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3
	40～49歳	62	37.1	29.0	-	27.4	1.6	3.2	1.6	-	-	-
	50～59歳	75	41.3	18.7	1.3	22.7	4.0	4.0	4.0	1.3	1.3	1.3
	60～69歳	83	24.1	30.1	2.4	18.1	2.4	14.5	2.4	-	2.4	3.6
	70歳以上	139	14.4	35.3	4.3	7.2	1.4	20.9	2.9	0.7	4.3	8.6

問7 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加していくために必要だと思うことについて

問7 あなたは今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加していくために必要だと思うことについては、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」が52.3%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと」(52.1%)、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」(45.3%)となっている。
- ・性別にみると、「男女がともに気軽に利用できるベビールームの設置など、子育てに配慮した環境の整備が進むこと」・「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」・「家庭で子どもに対し、男女の区別なく家事、育児、介護などに携わることができるようなしつけ、育て方を行うこと」で、「女性」が「男性」より10ポイント程度高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～29歳」で「まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」・「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」、「30～39歳」で「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」・「男女ともに気軽に利用できるベビールームの設置など、子育てに配慮した環境の整備が進むこと」が、全体より20ポイント程度高くなっている。



その他：「育休を取りやすくする」、「フレックスタイム、テレワークのさらなる普及」



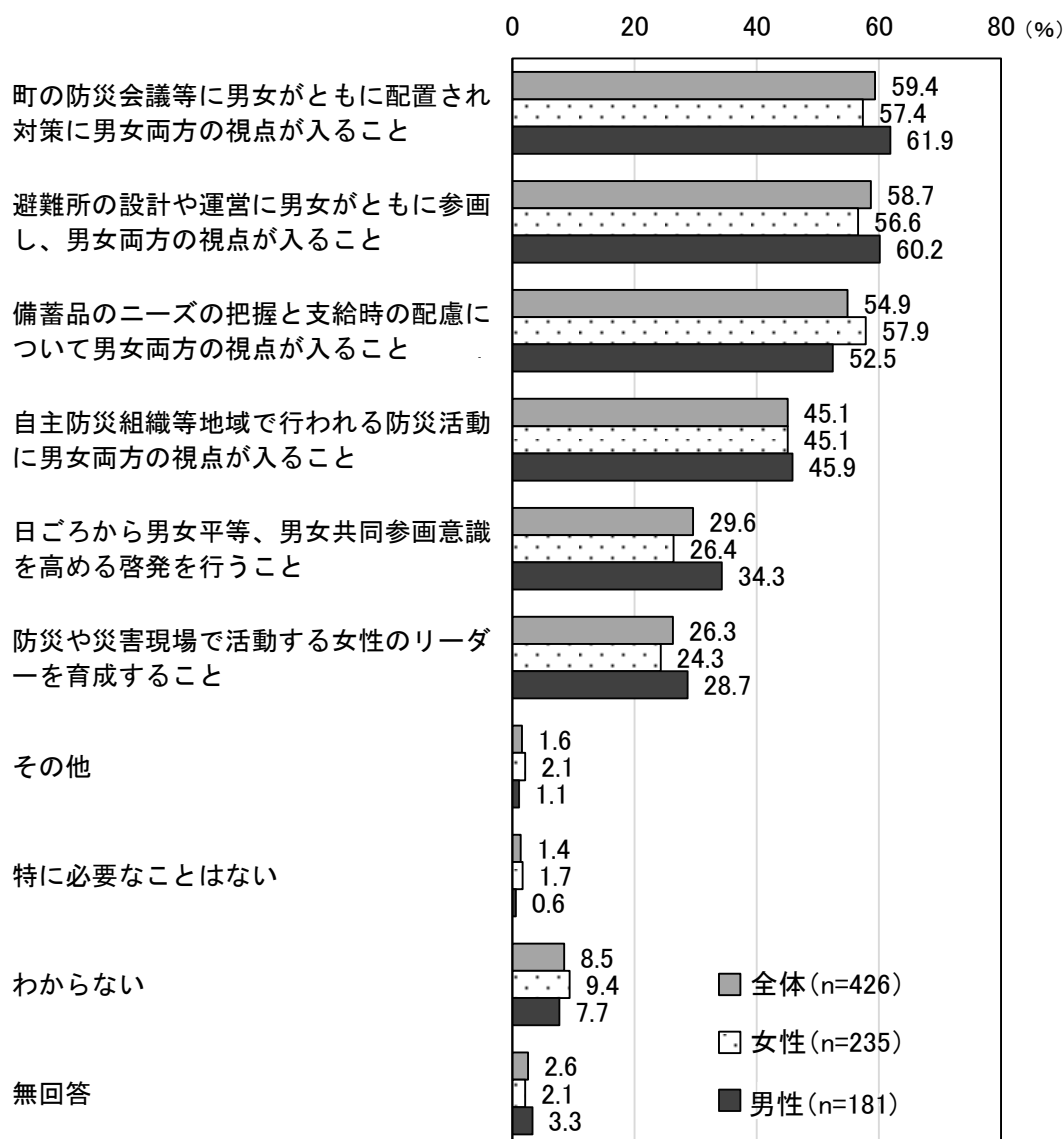
<性別・年代別クロス集計>

		(%)							
		回答者数(人)	多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	男は仕事、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること	まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	家庭で男女の区別なく家事、育児、介護などに携わるようなしつけ、育て方を行うこと	社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
	全体	426	41.8	52.1	52.3	24.4	42.7	36.4	45.3
性別	女性	235	42.1	55.3	56.2	28.1	48.1	40.0	50.6
	男性	181	40.9	48.6	49.2	19.9	36.5	32.6	38.7
年代別	18～29歳	24	58.3	66.7	62.5	45.8	25.0	45.8	75.0
	30～39歳	32	53.1	56.3	62.5	28.1	31.3	37.5	68.8
	40～49歳	62	46.8	56.5	51.6	29.0	43.5	45.2	40.3
	50～59歳	75	42.7	50.7	46.7	28.0	37.3	40.0	46.7
	60～69歳	83	43.4	51.8	48.2	20.5	49.4	33.7	42.2
	70歳以上	139	32.4	48.2	56.1	18.0	47.5	30.9	38.1
		回答者数(人)	男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置	男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	男女が利用できるベビールームの設置など、配慮した環境の整備が進むこと	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
	全体	426	16.9	14.6	33.8	2.1	1.4	3.8	2.1
性別	女性	235	17.4	14.5	40.4	0.9	0.9	3.4	1.3
	男性	181	16.6	15.5	26.0	3.3	2.2	4.4	3.3
年代別	18～29歳	24	12.5	20.8	37.5	4.2	-	-	-
	30～39歳	32	28.1	21.9	59.4	6.3	-	3.1	-
	40～49歳	62	14.5	14.5	25.8	1.6	1.6	3.2	-
	50～59歳	75	16.0	21.3	30.7	5.3	2.7	1.3	2.7
	60～69歳	83	15.7	12.0	32.5	-	-	4.8	2.4
	70歳以上	139	18.0	10.8	34.5	-	2.2	5.8	3.6

## 問8 災害時、性別に配慮した対応を行うために必要だと思う施策

問8 あなたは、災害対応において、性別に配慮した対応を行うために、どのような施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・災害時、性別に配慮した対応を行うために必要だと思う施策については、「町の防災会議や災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること」が59.4%と最も高く、次いで「避難所の設計や運営に男女がともに参画し、避難所の運営や被災者の対応に男女両方の視点が入ること」(58.7%)、「備蓄品についてのニーズの把握と支給時の配慮について男女両方の視点が入ること」(54.9%)となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「備蓄品についてのニーズの把握と支給時の配慮について男女両方の視点が入ること」が57.9%と、「男性」より5.4ポイント高くなっている。また、「男性」で「日ごろから男女平等、男女共同参画意識を高める啓発を行うこと」が34.3%と、「女性」より7.9ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「30～39歳」で「備蓄品についてのニーズの把握と支給時の配慮について男女両方の視点が入ること」が68.8%と、全体より13.9ポイント高くなっている。



その他：「性別に関係なく防災に備える」、「女性エリアを設ける」

<性別・年代別クロス集計>

(%)

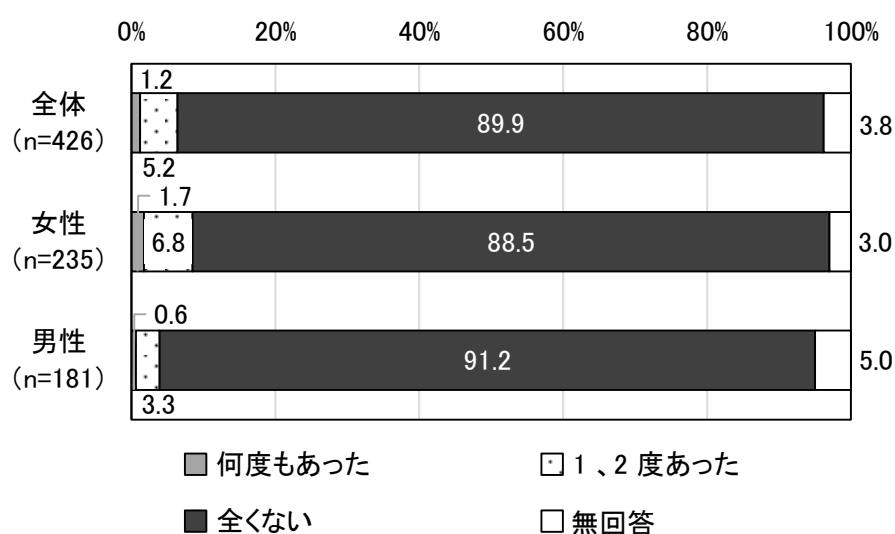
		回答者数(人)	町の防災会議や災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること	自主防災組織等地域で行われる防災活動に男女両方の視点が入ること	避難所の設計や運営に男女がともに参画し、避難所の運営や被災者の対応に男女両方の視点が入ること	備蓄品についてのニーズの把握と支給時の配慮について男女両方の視点が入ること	防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成すること
	全体	426	59.4	45.1	58.7	54.9	26.3
性別	女性	235	57.4	45.1	56.6	57.9	24.3
	男性	181	61.9	45.9	60.2	52.5	28.7
年代別	18～29歳	24	41.7	41.7	33.3	54.2	20.8
	30～39歳	32	62.5	46.9	56.3	68.8	25.0
	40～49歳	62	62.9	51.6	67.7	59.7	22.6
	50～59歳	75	70.7	49.3	60.0	57.3	32.0
	60～69歳	83	55.4	39.8	56.6	50.6	28.9
	70歳以上	139	56.1	43.9	58.3	52.5	24.5
		回答者数(人)	日ごろから男女平等、男女共同参画意識を高める啓発を行うこと	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
	全体	426	29.6	1.6	1.4	8.5	2.6
性別	女性	235	26.4	2.1	1.7	9.4	2.1
	男性	181	34.3	1.1	0.6	7.7	3.3
年代別	18～29歳	24	25.0	-	4.2	12.5	4.2
	30～39歳	32	25.0	9.4	-	12.5	-
	40～49歳	62	25.8	-	-	11.3	-
	50～59歳	75	30.7	-	-	6.7	1.3
	60～69歳	83	31.3	1.2	1.2	4.8	2.4
	70歳以上	139	32.4	2.2	2.2	9.4	5.0

## 問9 配偶者・パートナー、恋人から暴力を受けた経験について

問9 あなたは、配偶者・パートナー、恋人から次にあげるような暴力を受けたことがありますか。(〇は1つ)

### (1) 身体的暴力(殴る、けるなど)

- ・配偶者・パートナー、恋人から身体的暴力を受けた経験については、「何度もあった」が1.2%、「1、2度あった」が5.2%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「何どもあった」と「1、2度あった」を合わせた『経験あり』の割合が8.5%となっている。
- ・年代別にみると、「18～29歳」で「何どもあった」が8.3%と、全体より7.1ポイント高くなっている。

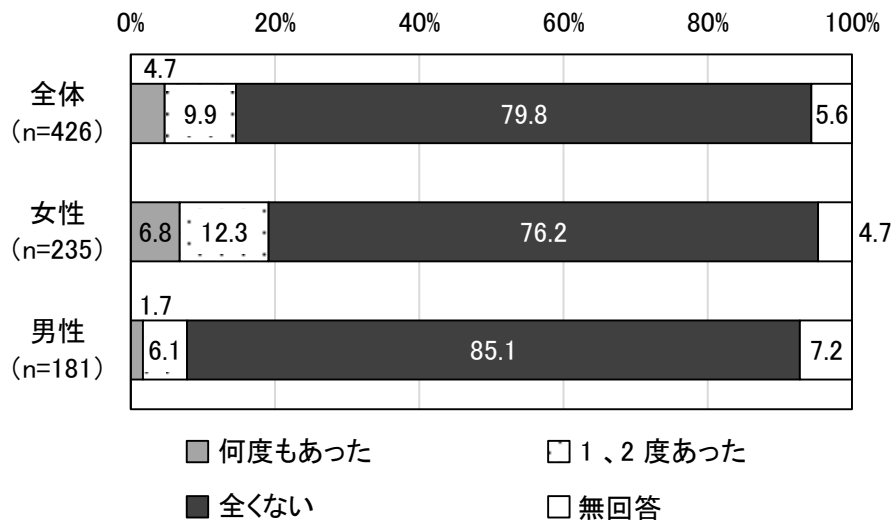


### <性別・年代別クロス集計>

		回答者数(人)	何どもあった (%)	1、2度あった (%)	全くない (%)	無回答 (%)	『経験あり』 (%)
	全体	426	1.2	5.2	89.9	3.8	6.4
性別	女性	235	1.7	6.8	88.5	3.0	8.5
	男性	181	0.6	3.3	91.2	5.0	3.9
年代別	18～29歳	24	8.3	-	87.5	4.2	8.3
	30～39歳	32	-	3.1	93.8	3.1	3.1
	40～49歳	62	1.6	6.5	90.3	1.6	8.1
	50～59歳	75	-	5.3	93.3	1.3	5.3
	60～69歳	83	-	6.0	94.0	-	6.0
	70歳以上	139	1.4	5.8	84.2	8.6	7.2

(2) 精神的暴力（大声でどなる、言葉でおどす、電話・メール・行動等を監視する、長期間無視をするなど）

- ・配偶者・パートナー、恋人から精神的暴力を受けた経験については、「何度もあった」が4.7%、「1、2度あった」が9.9%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「何どもあった」・「1、2度あった」を合わせた『経験あり』の割合が19.1%と、「男性」より11.3ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～29歳」・「40～49歳」で『経験あり』の割合がともに2割を超える結果となっている。

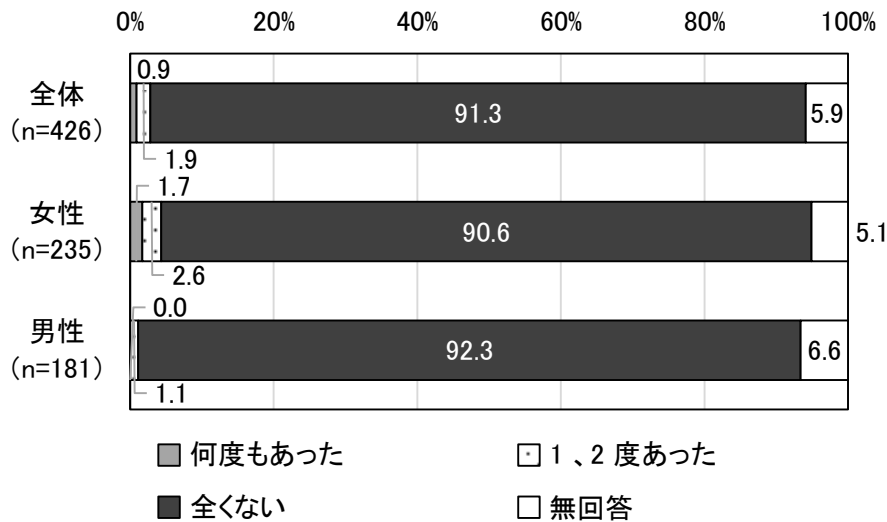


<性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	何どもあった (%)	1、2度あった (%)	全くない (%)	無回答 (%)	『経験あり』 (%)
	全体	426	4.7	9.9	79.8	5.6	14.6
性別	女性	235	6.8	12.3	76.2	4.7	19.1
	男性	181	1.7	6.1	85.1	7.2	7.8
年代別	18～29歳	24	16.7	4.2	75.0	4.2	20.9
	30～39歳	32	-	9.4	87.5	3.1	9.4
	40～49歳	62	6.5	16.1	75.8	1.6	22.6
	50～59歳	75	5.3	8.0	85.3	1.3	13.3
	60～69歳	83	1.2	14.5	83.1	1.2	15.7
	70歳以上	139	4.3	5.8	76.3	13.7	10.1

(3) 経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを妨害する、給与や貯金を勝手に使うなど）

- ・配偶者・パートナー、恋人から経済的暴力を受けた経験については、「何度もあった」が0.9%、「1、2度あった」が1.9%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「何どもあった」と「1、2度あった」を合わせた『経験あり』の割合が4.3%となっている。
- ・年代別で大きな差はみられない。

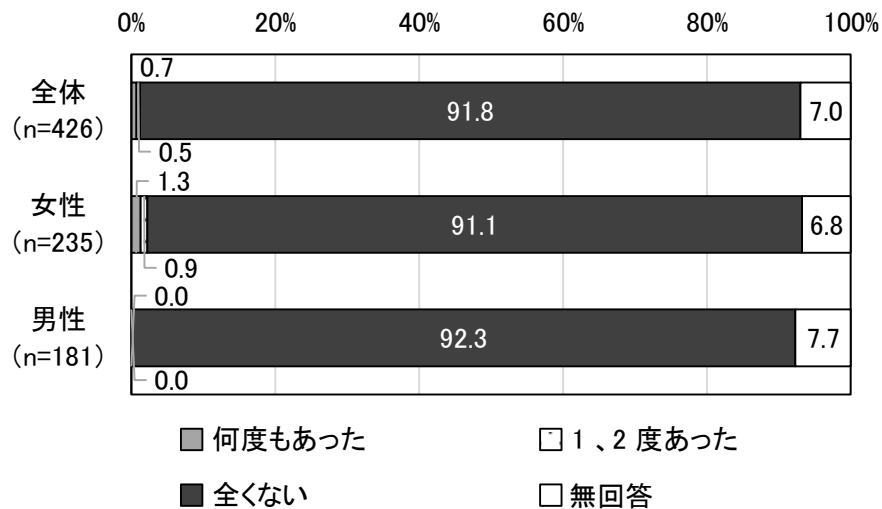


<性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	何どもあった (%)	1、2度あった (%)	全くない (%)	無回答 (%)	『経験あり』 (%)
	全体	426	0.9	1.9	91.3	5.9	2.8
性別	女性	235	1.7	2.6	90.6	5.1	4.3
	男性	181	-	1.1	92.3	6.6	1.1
年代別	18~29歳	24	4.2	-	91.7	4.2	4.2
	30~39歳	32	-	3.1	93.8	3.1	3.1
	40~49歳	62	1.6	3.2	93.5	1.6	4.8
	50~59歳	75	-	2.7	96.0	1.3	2.7
	60~69歳	83	-	2.4	96.4	1.2	2.4
	70歳以上	139	1.4	0.7	84.2	13.7	2.1

(4) 性的暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないポルノ雑誌などを見せる、避妊に協力しないなど）

- ・配偶者・パートナー、恋人から性的暴力を受けた経験については、「何度もあった」が0.7%、「1、2度あった」が0.5%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「何どもあった」と「1、2度あった」を合わせた『経験あり』の割合が2.2%となっている。
- ・年代別で大きな差はみられない。

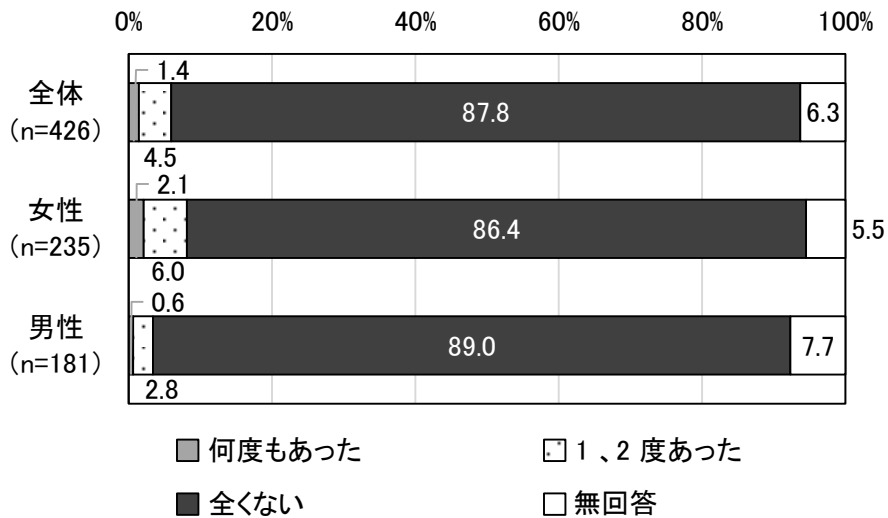


<性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	何どもあった	1、2度あった	全くない	無回答	『経験あり』 (%)
	全体	426	0.7	0.5	91.8	7.0	1.2
性別	女性	235	1.3	0.9	91.1	6.8	2.2
	男性	181	-	-	92.3	7.7	-
年代別	18~29歳	24	-	-	95.8	4.2	-
	30~39歳	32	-	-	96.9	3.1	-
	40~49歳	62	1.6	-	96.8	1.6	1.6
	50~59歳	75	2.7	-	94.7	2.7	2.7
	60~69歳	83	-	1.2	97.6	1.2	1.2
	70歳以上	139	-	0.7	82.0	17.3	0.7

(5) 面前DV（子どもの目の前での暴力、暴言）

- ・配偶者・パートナー、恋人から面前DVを受けた経験については、「何度もあった」が1.4%、「1、2度あった」が4.5%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「何どもあった」と「1、2度あった」を合わせた『経験あり』の割合が8.1%となっている。
- ・年代別で大きな差はみられない。



<性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	何どもあった	1、2度あった	全くない	無回答	『経験あり』 (%)
	全体	426	1.4	4.5	87.8	6.3	5.9
性別	女性	235	2.1	6.0	86.4	5.5	8.1
	男性	181	0.6	2.8	89.0	7.7	3.4
年代別	18～29歳	24	4.2	4.2	87.5	4.2	8.4
	30～39歳	32	-	-	96.9	3.1	0.0
	40～49歳	62	3.2	6.5	88.7	1.6	9.7
	50～59歳	75	1.3	5.3	92.0	1.3	6.6
	60～69歳	83	-	7.2	91.6	1.2	7.2
	70歳以上	139	1.4	2.9	79.9	15.8	4.3

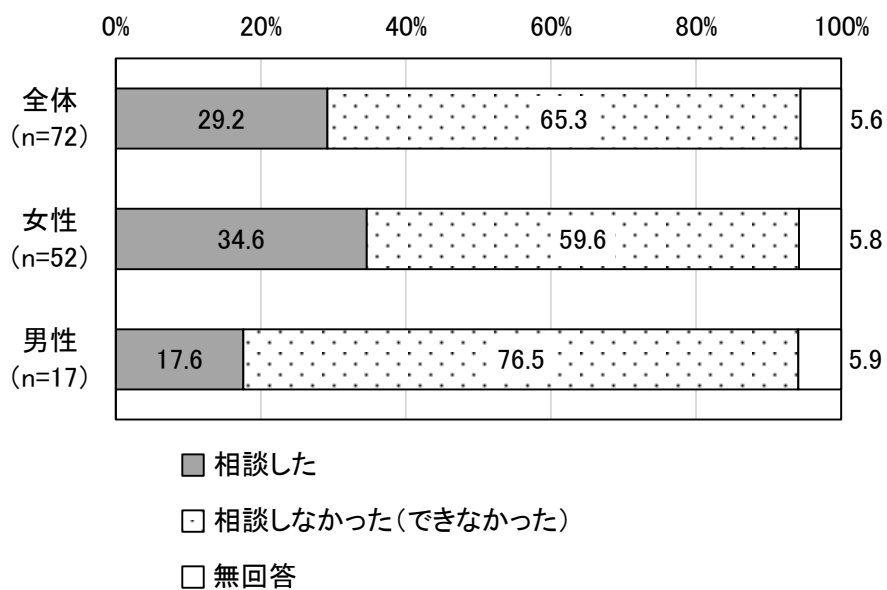


### 問9-1 配偶者などから暴力を受けた時の相談について

※問9で「何度もあった」・「1、2度あった」と1つでも答えた方のみ

問9-1 配偶者などから暴力を受けたとき、誰かにうちあげたり、相談したりしましたか。  
(○は1つ)

- ・ 配偶者などから暴力を受けた時の相談については、「相談した」が29.2%、「相談しなかった(できなかった)」が65.3%となっている。
- ・ 性別にみると、「男性」で「相談しなかった(できなかった)」が76.5%と、「女性」より16.9ポイント高くなっている。

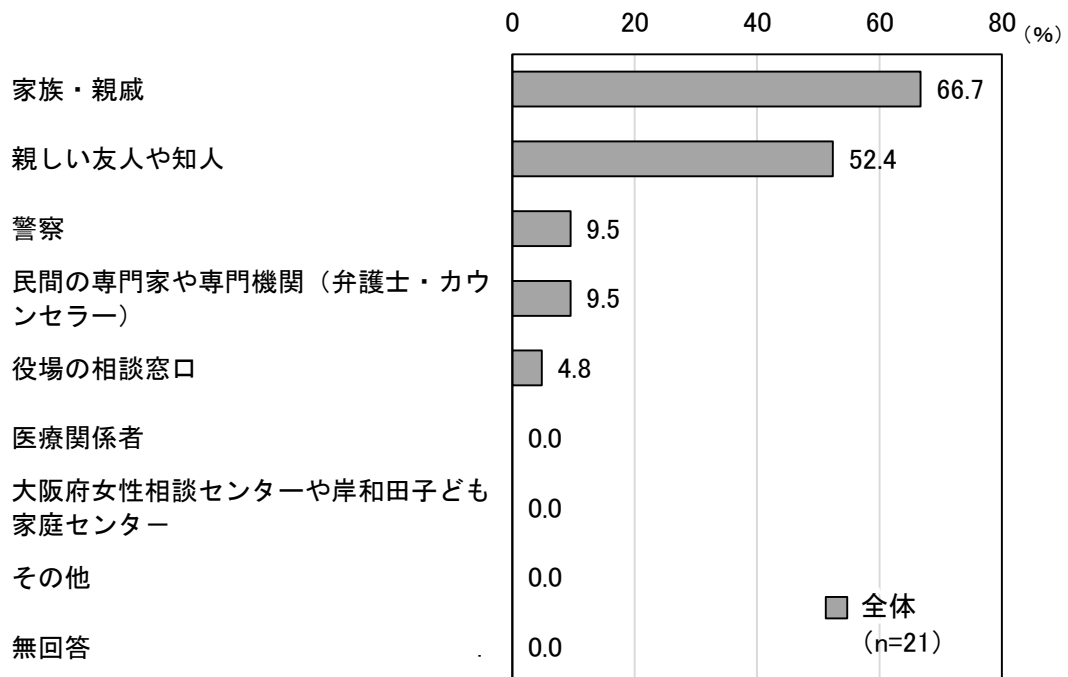


## 問9-2 暴力被害についての相談相手、相談先について

※問9-1で「相談した」と答えた方のみ

問9-2 だれ（どこ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）

- ・暴力被害についての相談相手、相談先については、「家族・親戚」が66.7%と最も高く、次いで「親しい友人や知人」（52.4%）となっている。

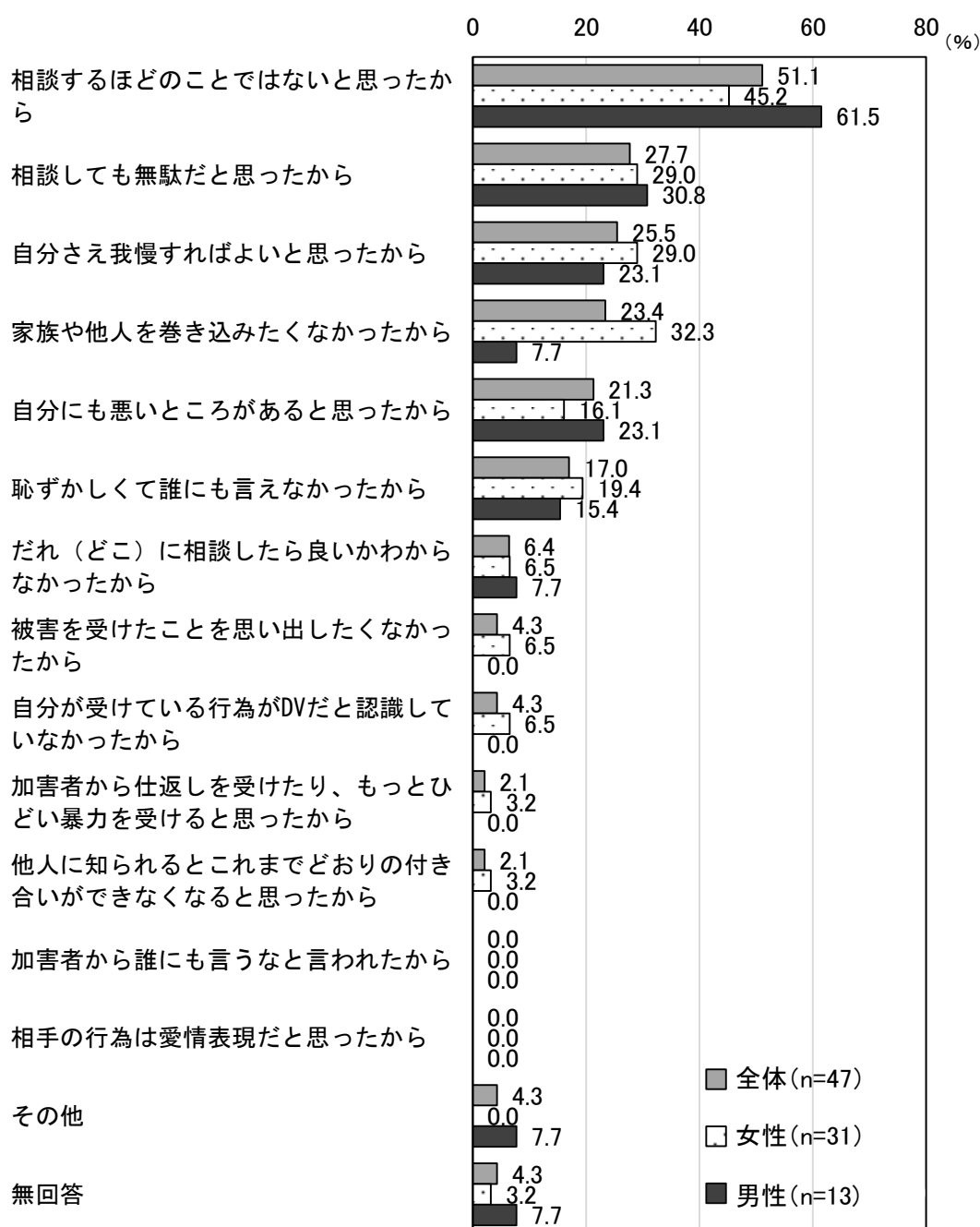


### 問9-3 相談しなかった理由について

※問9-1で「相談しなかった（できなかった）」と答えた方のみ

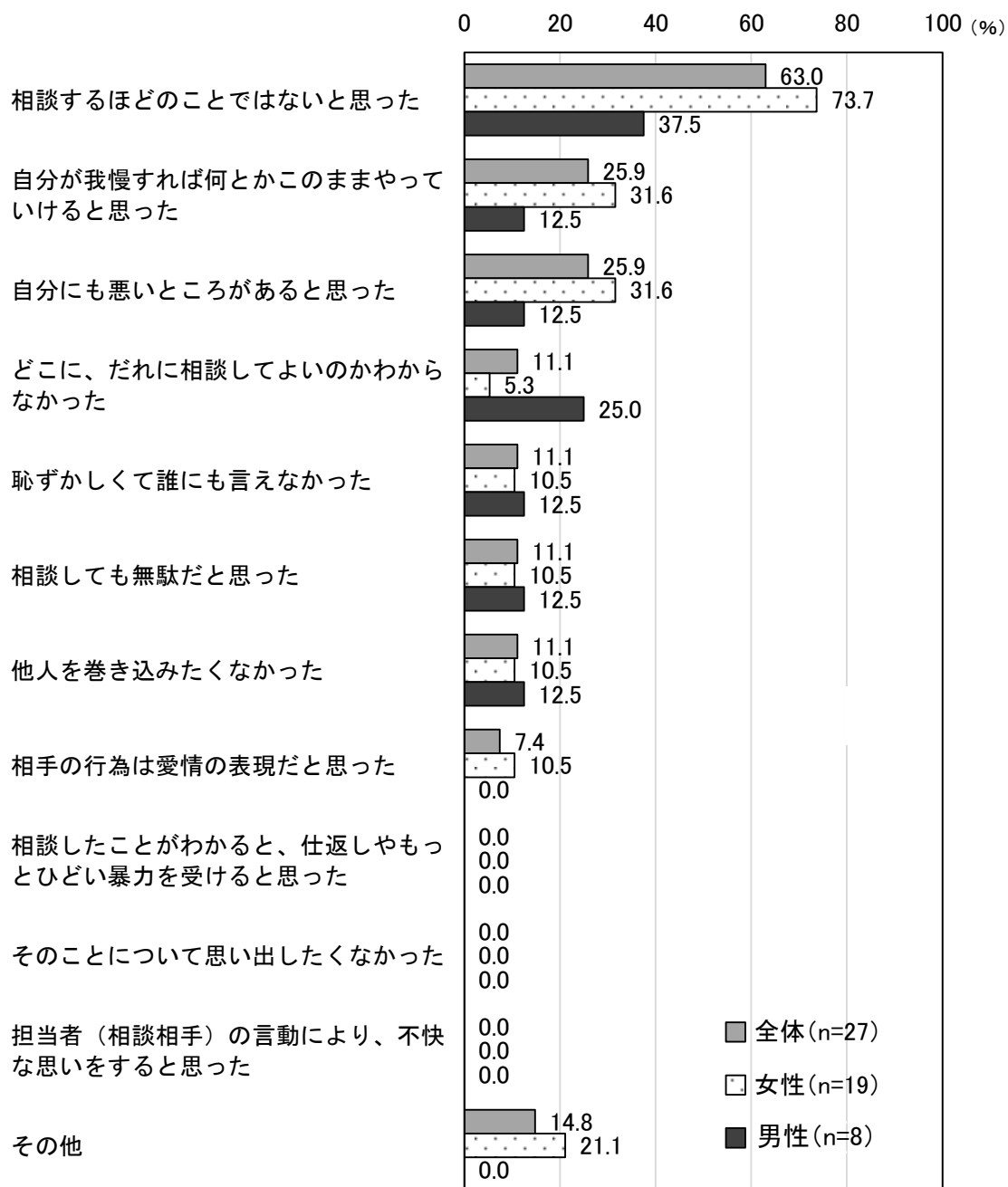
問9-3 その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ・相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」が51.1%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」（27.7%）、「自分さえ我慢すればよいと思ったから」（25.5%）となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「家族や他人を巻き込みたくなかったから」が32.3%と、「男性」より24.6ポイント高くなっている。また、「男性」で「相談するほどのことではないと思ったから」が61.5%と、「女性」より16.3ポイント高くなっている。
- ・前回調査においても、「相談するほどのことではないと思った」が最も高くなっている。



その他：「内容が叱る程の暴言だから」、「仕事が忙しく返信する時間がないのが分かっている」

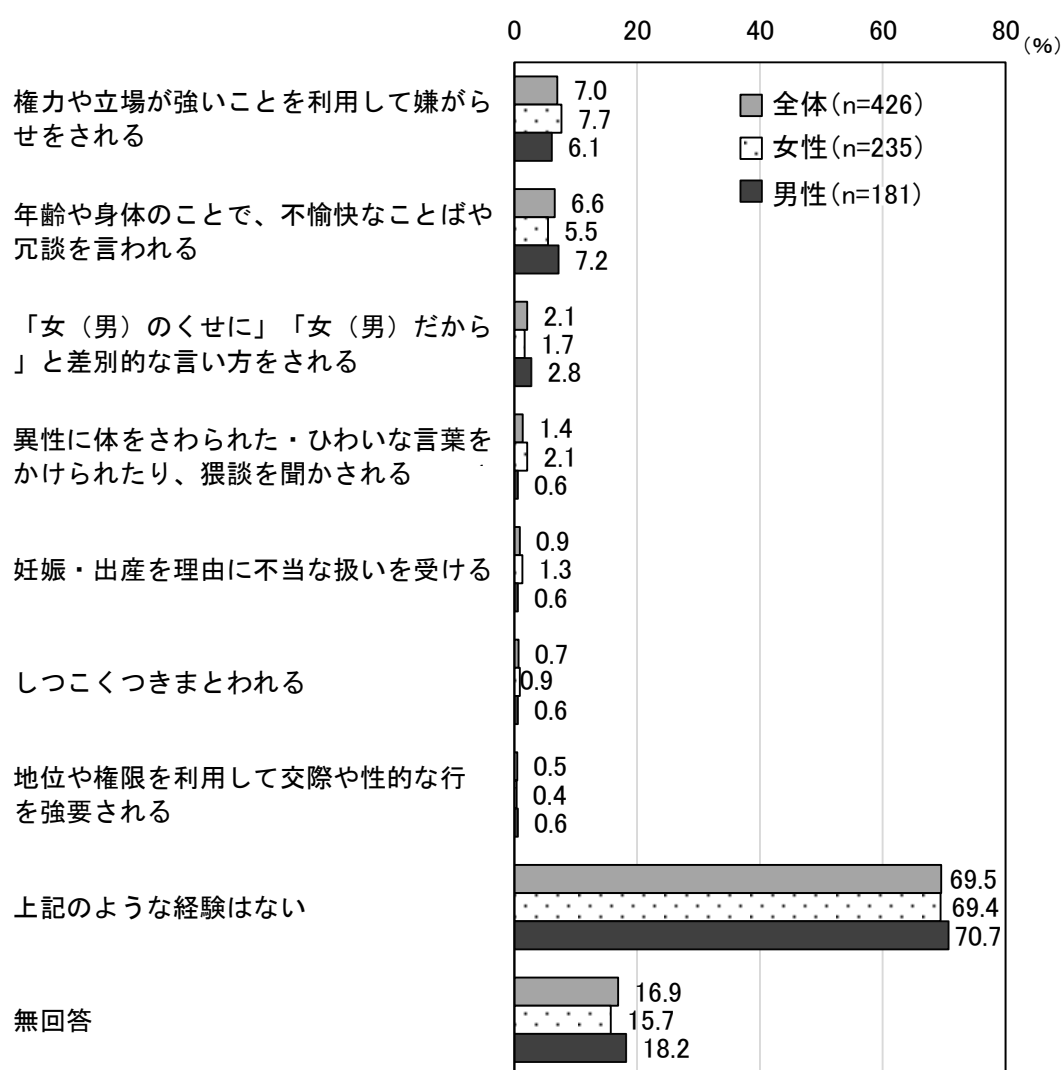
<参考：前回調査>



## 問 10 過去3年間のうち職場・学校・その他活動の場で受けたことのある行為

問 10 あなたは、過去3年間の間で職場・学校・その他活動の場で次のような行為を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

- ・過去3年間のうち職場・学校・その他活動の場で受けたことのある行為については、「上記のような経験はない」が69.5%と最も高く、次いで「権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる」(7.0%)、「年齢や身体のことばや冗談を言われる」(6.6%)となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「40～49歳」で「権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる」が17.7%と、全体より10.7ポイント高くなっている。



<性別・年代別クロス集計>

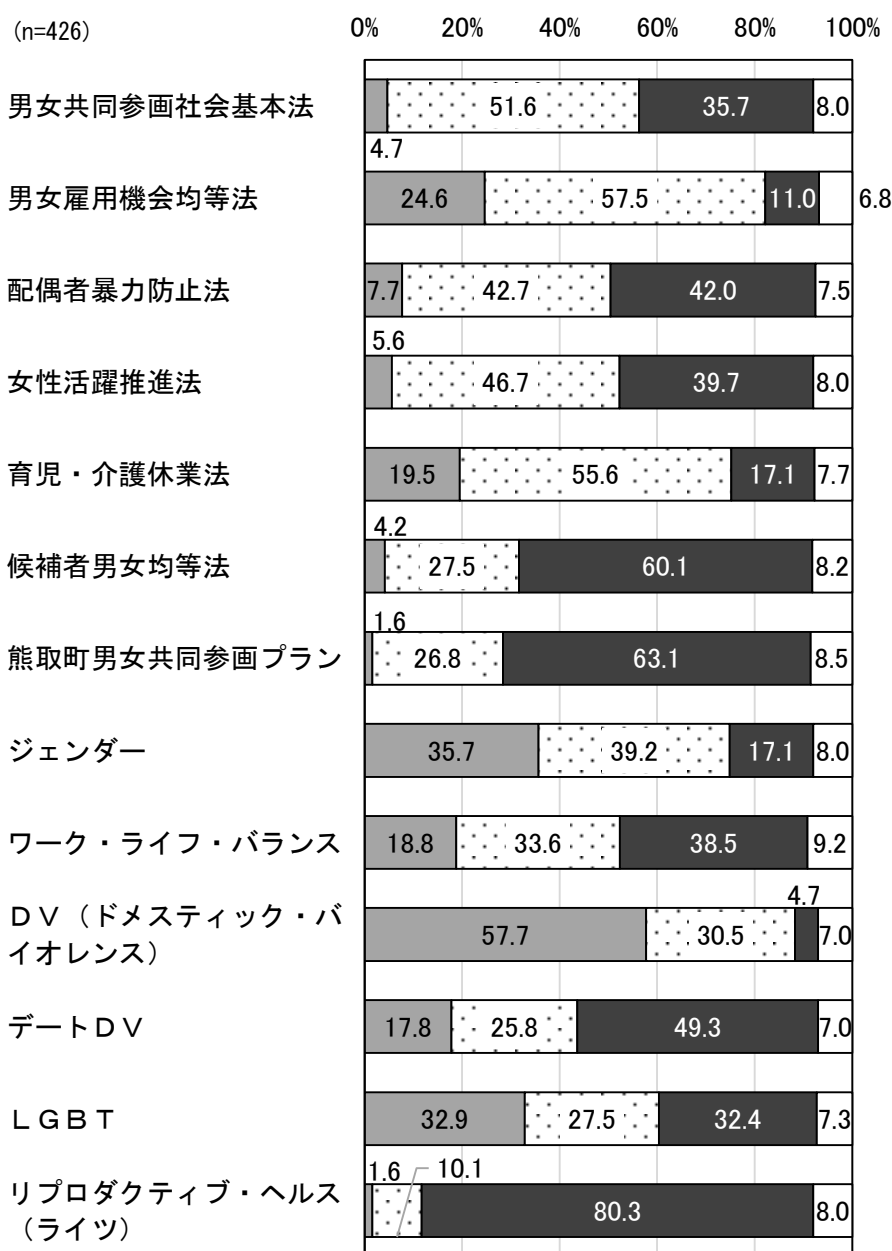
(%)

		回答者数(人)	年齢や身体のこと、不愉快なこ とばや冗談を言われる	異性に体をさわられた・ひわいな 言葉をかけられたり、猥談を聞か される	地位や権限を利用して交際や性 的な行為を強要される	「女(男)のくせに」「女(男) だから」と差別的な言い方をされ る	妊娠・出産を理由に不当な扱いを 受ける
	全体	426	6.6	1.4	0.5	2.1	0.9
性別	女性	235	5.5	2.1	0.4	1.7	1.3
	男性	181	7.2	0.6	0.6	2.8	0.6
年代別	18～29歳	24	12.5	4.2	-	-	4.2
	30～39歳	32	15.6	-	-	3.1	-
	40～49歳	62	14.5	4.8	3.2	3.2	4.8
	50～59歳	75	5.3	2.7	-	4.0	-
	60～69歳	83	2.4	-	-	-	-
	70歳以上	139	2.2	-	-	2.2	-
		回答者数(人)	しつこくつきまとわれる	権力や立場が強いことを利用し て嫌がらせをされる	上記のような経験はない	無回答	
	全体	426	0.7	7.0	69.5	16.9	
性別	女性	235	0.9	7.7	69.4	15.7	
	男性	181	0.6	6.1	70.7	18.2	
年代別	18～29歳	24	4.2	12.5	62.5	16.7	
	30～39歳	32	-	-	75.0	6.3	
	40～49歳	62	3.2	17.7	61.3	9.7	
	50～59歳	75	-	10.7	72.0	9.3	
	60～69歳	83	-	3.6	77.1	16.9	
	70歳以上	139	-	2.9	68.3	26.6	

## 問 11 男女共同参画に関する用語の認知度

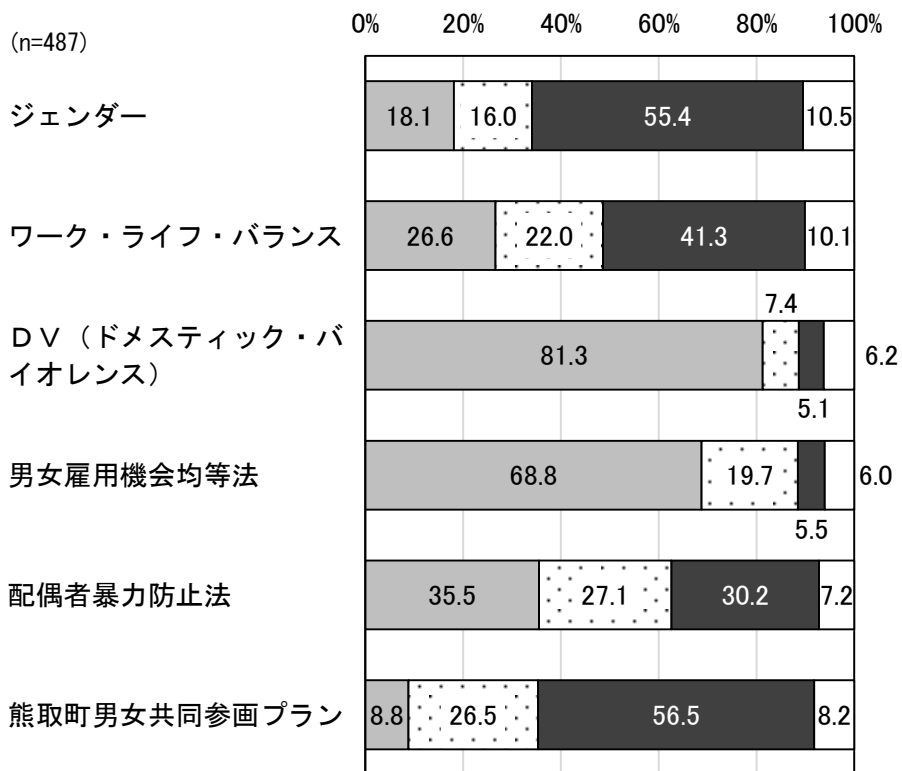
問 11 あなたは、次の1～13について、どの程度ご存知ですか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(各項目で○は1つ)

- ・男女共同参画に関する用語の認知度については、「DV（ドメスティック・バイオレンス）」で「内容まで知っている」が57.7%と最も高くなっている。一方で、「候補者男女均等法」・「熊取町男女共同参画プラン」・「リプロダクティブ・ヘルス（ライツ）」で「全く知らない」が6割を超える結果となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ジェンダー」で「内容まで知っている」が17.6ポイント高くなっているが、その他の項目では「内容まで知っている」が低くなっている。



- 内容まで知っている
- ▨ 言葉を聞いたことがある
- 全く知らない
- 無回答

<参考：前回調査>



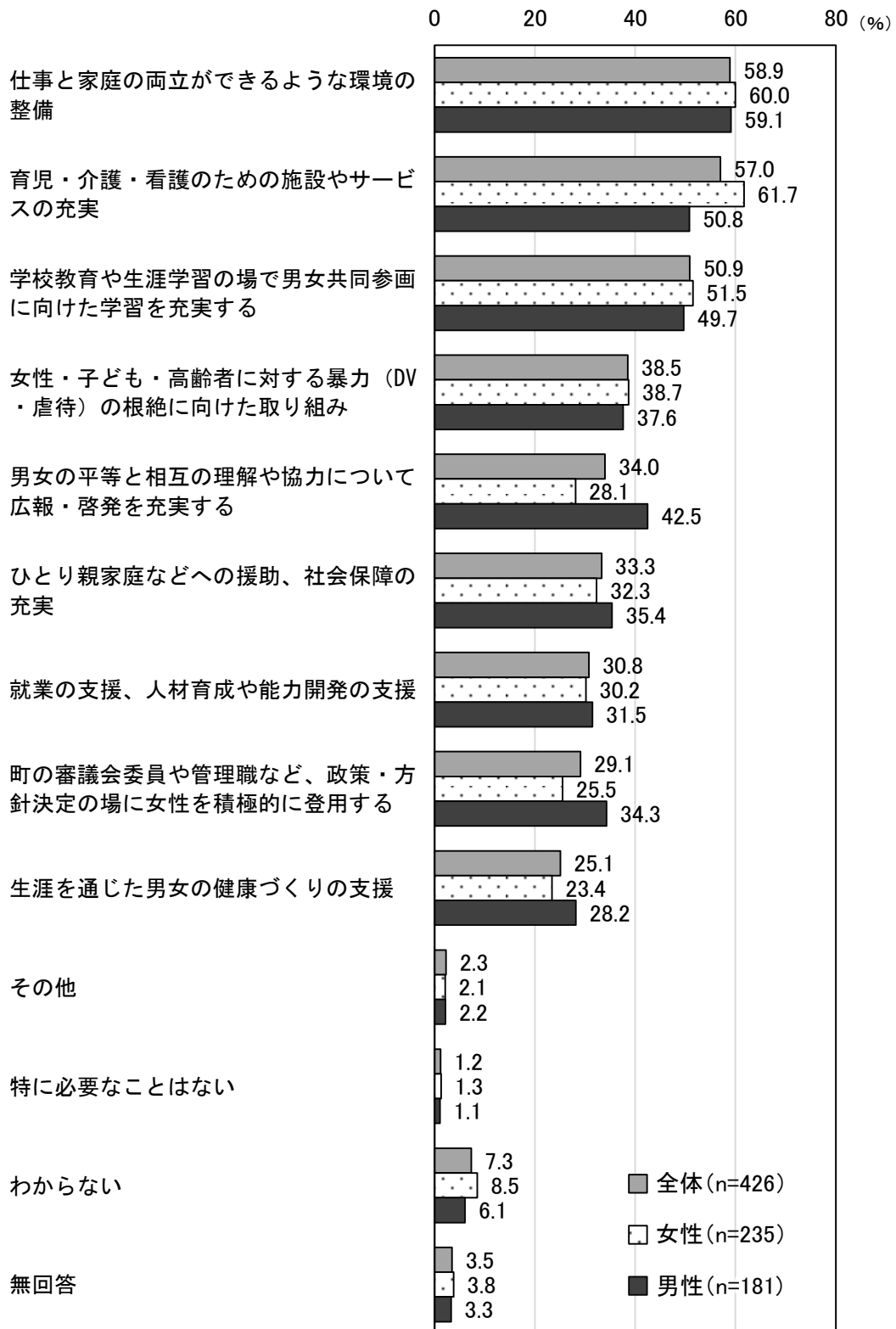
- 言葉と内容を知っている
- 聞いたことはあるが内容はわからない
- 知らない
- 無回答



## 問 12 男女がより平等な社会になるために行政が力を入れるべきだと思うこと

問 12 あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、行政は今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・男女がより平等な社会になるために行政が力を入れるべきだと思うことについては、「仕事と家庭の両立ができるような環境の整備」が 58.9%と最も高く、次いで「育児・介護・看護のための施設やサービスの充実」(57.0%)、「学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する」(50.9%)となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「育児・介護・看護のための施設やサービスの充実」が 61.7%と、「男性」より 10.9 ポイント高く、「男性」で「男女の平等と相互の理解や協力について広報・啓発を充実する」が 42.5%と、「女性」より 14.4 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～39 歳」で「仕事と家庭の両立ができるような環境の整備」がともに 8 割近くを占め、全体より 20 ポイント程度高くなっている。



その他：「会社での男女平等の推進」

<性別・年代別クロス集計>

(%)

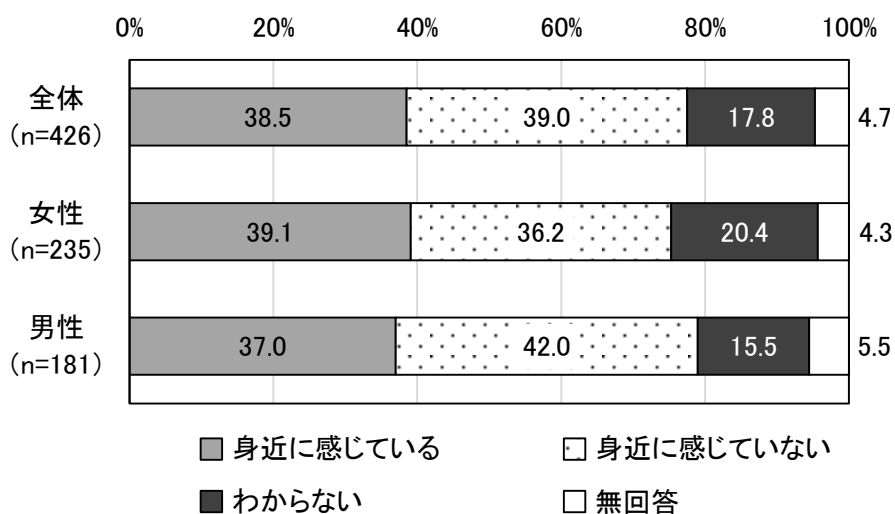
		回答者数(人)	男女の平等と相互の理解や協力について広報・啓発を充実する	学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する	女性・子ども・高齢者に対する暴力(D・V・虐待)の根絶に向けた取り組み	町の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	育児・介護・看護のための施設やサービスの充実	生涯を通じた男女の健康づくりの支援	ひとり親家庭などへの援助、社会保障の充実
	全体	426	34.0	50.9	38.5	29.1	57.0	25.1	33.3
性別	女性	235	28.1	51.5	38.7	25.5	61.7	23.4	32.3
	男性	181	42.5	49.7	37.6	34.3	50.8	28.2	35.4
年代別	18～29歳	24	33.3	54.2	50.0	25.0	54.2	25.0	50.0
	30～39歳	32	25.0	46.9	37.5	25.0	68.8	28.1	34.4
	40～49歳	62	32.3	50.0	38.7	29.0	50.0	17.7	27.4
	50～59歳	75	30.7	50.7	40.0	21.3	61.3	21.3	32.0
	60～69歳	83	37.3	57.8	39.8	33.7	54.2	21.7	31.3
	70歳以上	139	38.1	46.8	33.8	32.4	56.8	33.1	36.0
		回答者数(人)	仕事と家庭の両立ができるような環境の整備	就業の支援、人材育成や能力開発の支援	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答	
	全体	426	58.9	30.8	2.3	1.2	7.3	3.5	
性別	女性	235	60.0	30.2	2.1	1.3	8.5	3.8	
	男性	181	59.1	31.5	2.2	1.1	6.1	3.3	
年代別	18～29歳	24	79.2	41.7	4.2	-	8.3	-	
	30～39歳	32	78.1	31.3	9.4	-	9.4	-	
	40～49歳	62	56.5	25.8	1.6	-	9.7	1.6	
	50～59歳	75	68.0	36.0	1.3	-	4.0	2.7	
	60～69歳	83	60.2	33.7	1.2	2.4	8.4	2.4	
	70歳以上	139	48.2	25.9	1.4	2.2	7.2	7.2	

### 3. 人権に関することについて

#### 問 13 人権を身近な問題と感じているか

問 13 あなたは人権を身近な問題として感じていますか。(○は1つ)

- ・人権を身近な問題と感じているかについては、「身近に感じている」が38.5%、「身近に感じていない」が39.0%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「身近に感じていない」が42.0%と、「女性」より5.8ポイント高くなっている。
- ・年代別でみると、「18～29歳」で「身近に感じている」が50.0%と、全体より11.5ポイント高くなっている。



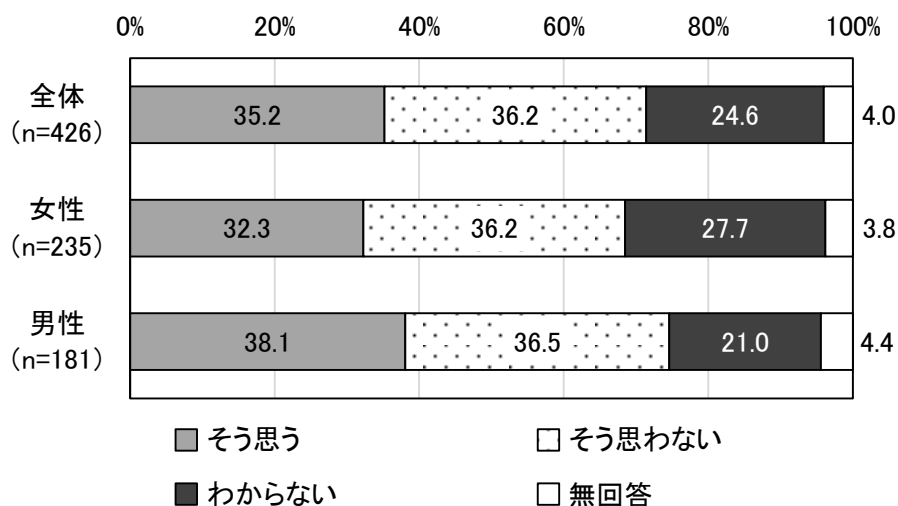
<性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	身近に感じている (%)	身近に感じていない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
	全体	426	38.5	39.0	17.8	4.7
性別	女性	235	39.1	36.2	20.4	4.3
	男性	181	37.0	42.0	15.5	5.5
年代別	18～29歳	24	50.0	33.3	16.7	-
	30～39歳	32	28.1	43.8	25.0	3.1
	40～49歳	62	40.3	37.1	21.0	1.6
	50～59歳	75	38.7	41.3	17.3	2.7
	60～69歳	83	38.6	41.0	16.9	3.6
	70歳以上	139	37.4	36.0	17.3	9.4

## 問 14 今の日本は、人権が尊重されていると思うか

問 14 あなたは、今の日本が、人権が尊重されている国だと思いますか。(○は1つ)

- ・今の日本は、人権が尊重されていると思うかについては、「そう思う」が35.2%、「そう思わない」が36.2%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「そう思う」が38.1%と、「女性」より5.8ポイント高くなっている。
- ・年代別でみると、「60～69歳」で「そう思う」が42.2%と4割を超える結果となっている。



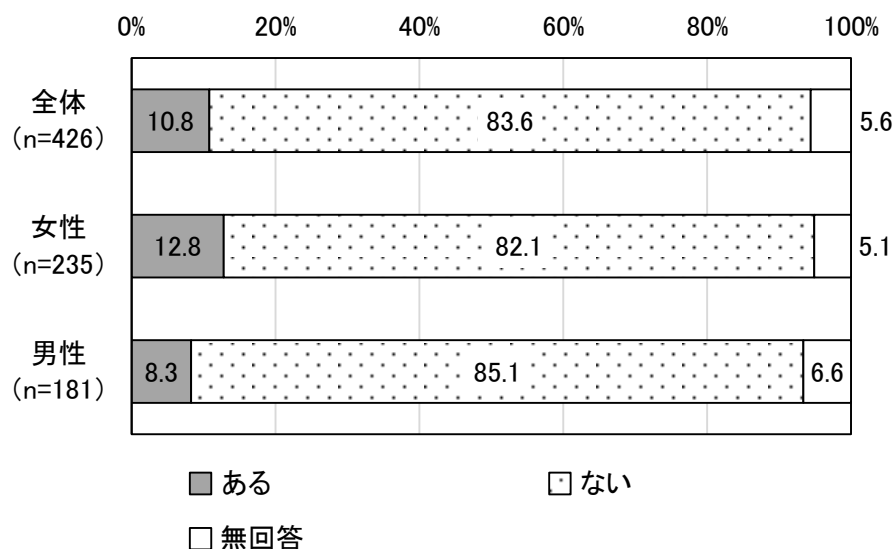
### <性別・年代別クロス集計>

		回答者数 (人)	そう思う (%)	そう思わない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
	全体	426	35.2	36.2	24.6	4.0
性別	女性	235	32.3	36.2	27.7	3.8
	男性	181	38.1	36.5	21.0	4.4
年代別	18～29歳	24	33.3	41.7	25.0	-
	30～39歳	32	31.3	31.3	34.4	3.1
	40～49歳	62	27.4	38.7	33.9	-
	50～59歳	75	30.7	37.3	28.0	4.0
	60～69歳	83	42.2	36.1	18.1	3.6
	70歳以上	139	37.4	34.5	20.9	7.2

## 問 15 過去5年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがあるか

問 15 あなたは、過去5年間の間でご自身の人権が侵害されたと感じたことはありますか。  
(○は1つ)

- ・過去5年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがあるかについては、「ある」が10.8%と1割を占める結果となっており、性別で大きな差はみられない。
- ・年代別でみると、「18～49歳」で「ある」が1割を超える結果となっている。



### <性別・年代別クロス集計>

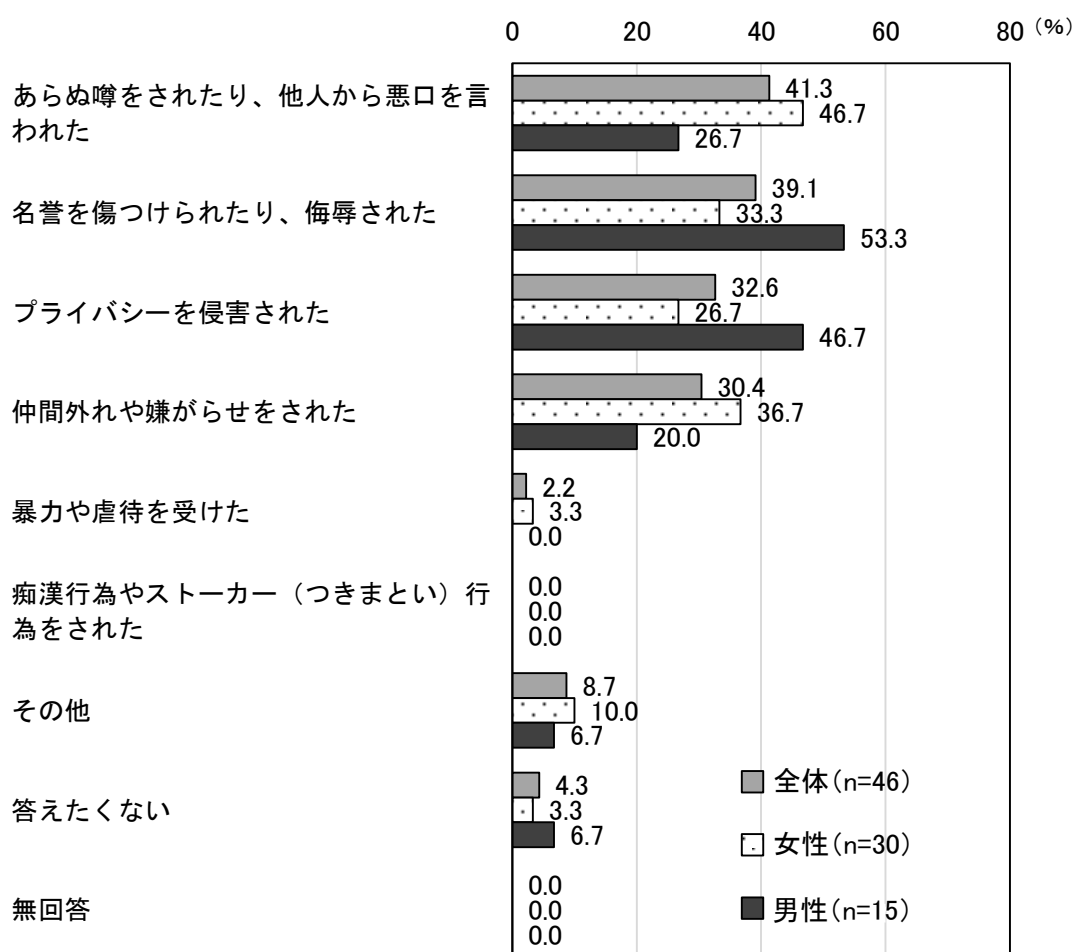
		回答者数 (人)	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
	全体	426	10.8	83.6	5.6
性別	女性	235	12.8	82.1	5.1
	男性	181	8.3	85.1	6.6
年代別	18～29歳	24	16.7	83.3	-
	30～39歳	32	12.5	78.1	9.4
	40～49歳	62	17.7	79.0	3.2
	50～59歳	75	9.3	85.3	5.3
	60～69歳	83	8.4	85.5	6.0
	70歳以上	139	8.6	84.9	6.5

## 問 15- 1 人権侵害を受けた内容

※問 15 で「ある」と答えた方のみ

問 15- 1 差し支えなければ、それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

- ・人権侵害を受けた内容については、「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われた」が 41.3% と最も高く、次いで「名誉を傷つけられたり、侮辱された」(39.1%)、「プライバシーを侵害された」(32.6%) となっている。
- ・性別にみると、「女性」では「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われた」が 46.7% と最も高い一方で、「男性」では「名誉を傷つけられたり、侮辱された」が 53.3% と最も高くなっている。



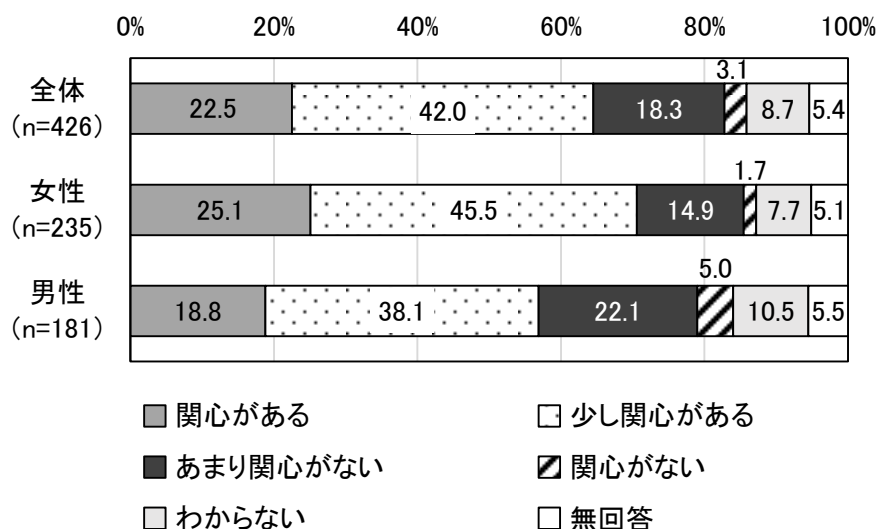
その他：「職場での上司からの嫌がらせ」、「無視をされた」

## 問 16 人権問題への関心

問 16 あなたは次の人権問題について、どの程度関心をお持ちですか。（各項目で○は1つ）

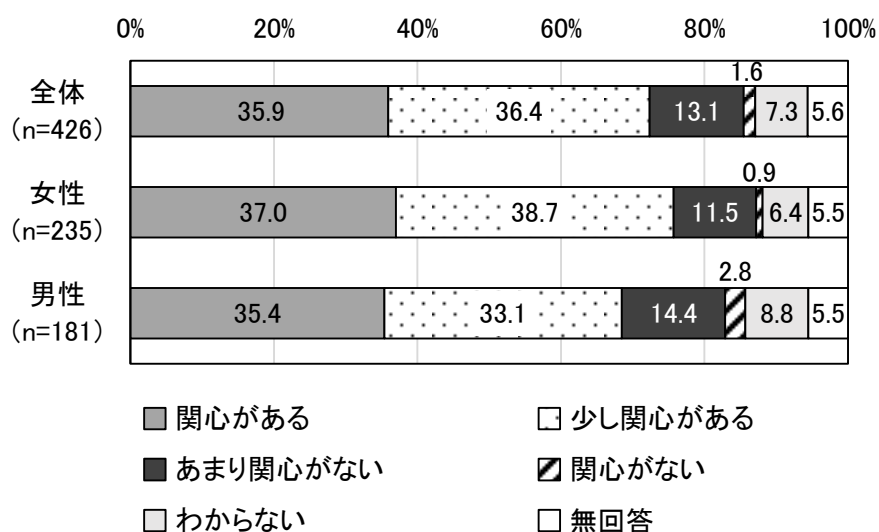
### （1）女性の人権問題

- ・女性の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 64.5%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が 70.6%と、「男性」より 13.7 ポイント高くなっている。



### （2）子どもの人権問題

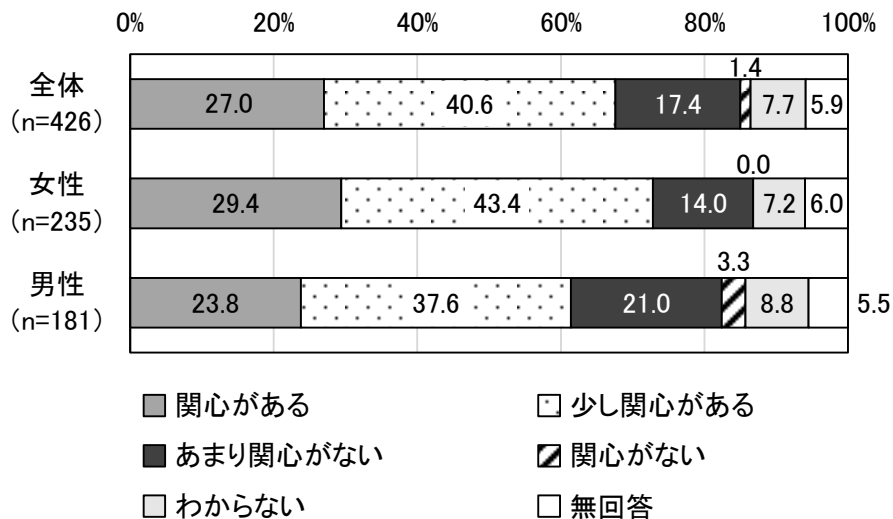
- ・子どもの人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 72.3%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が 75.7%と、「男性」より 7.2 ポイント高くなっている。





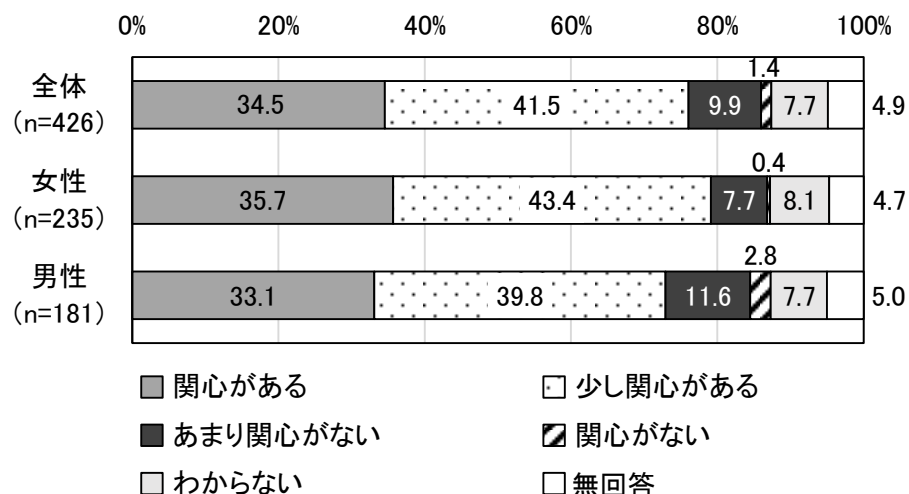
### (3) 高齢者の人権問題

- ・高齢者の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が67.6%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が72.8%と、「男性」より11.4ポイント高くなっている。



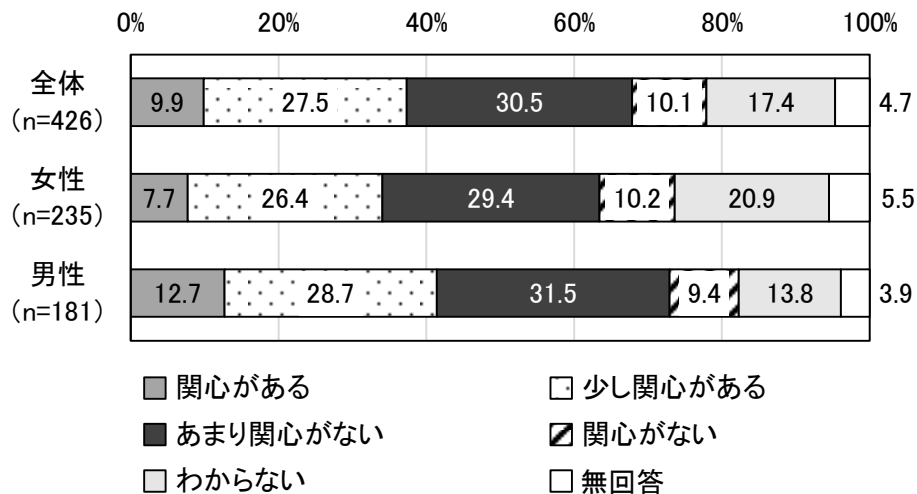
### (4) 障がいのある人の人権問題

- ・障がいのある人の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が76.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が79.1%と、「男性」より6.2ポイント高くなっている。



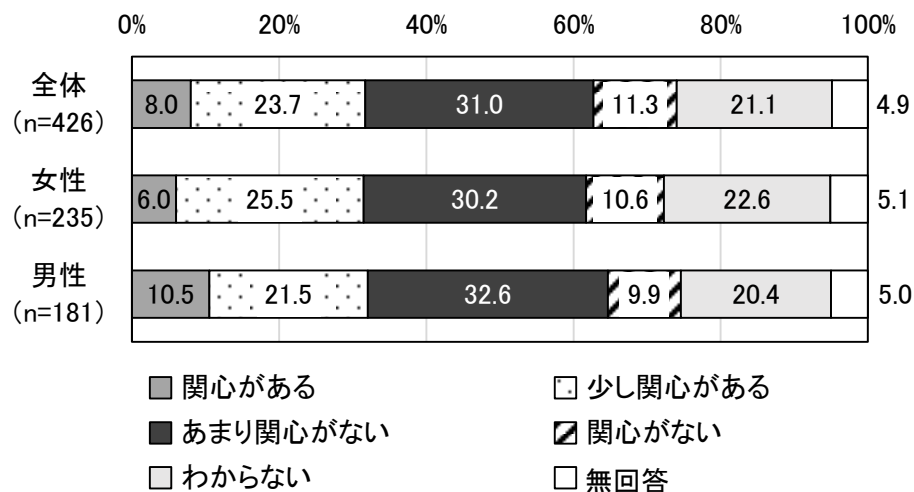
### (5) 同和問題

- ・同和問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が37.4%となっている。
- ・性別にみると、「男性」で『関心がある』割合が41.4%と、「女性」より7.3ポイント高くなっている。



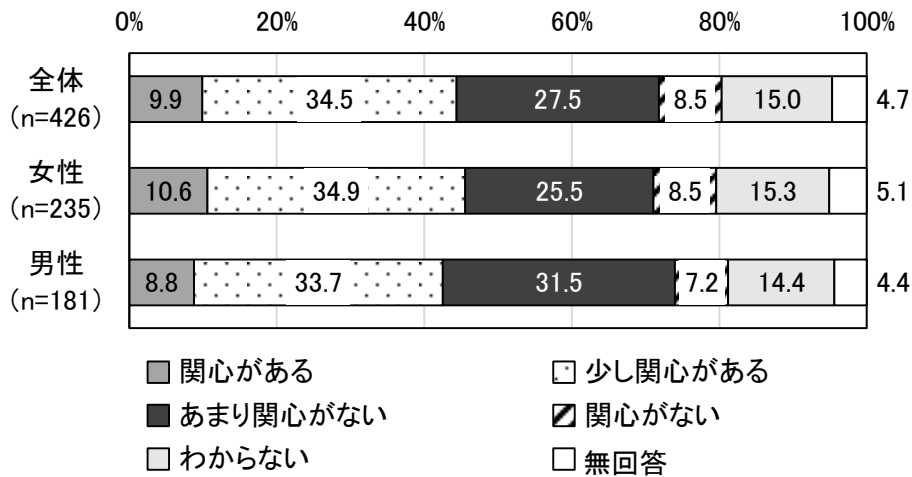
### (6) アイヌの人々の人権問題

- ・アイヌの人々の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が31.7%となっており、性別で大きな差はみられない。



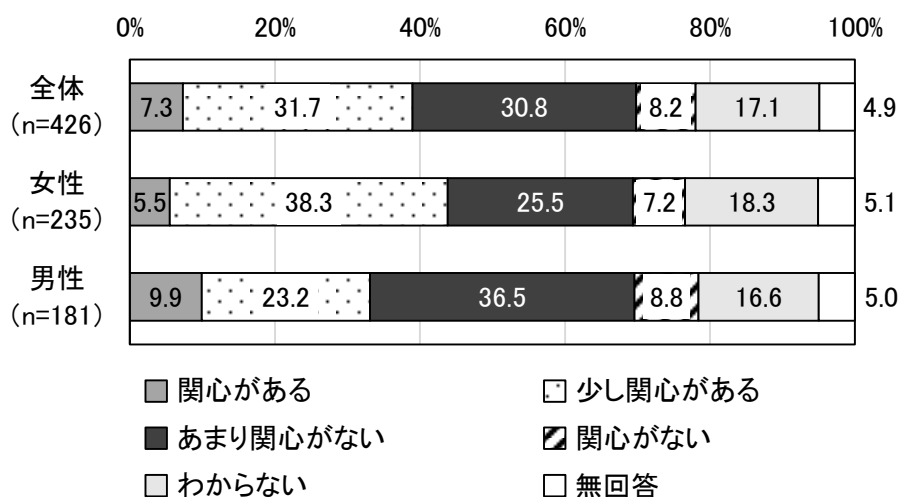
### (7) 外国人の人権問題

- ・外国人の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が44.4%となっており、性別で大きな差はみられない。



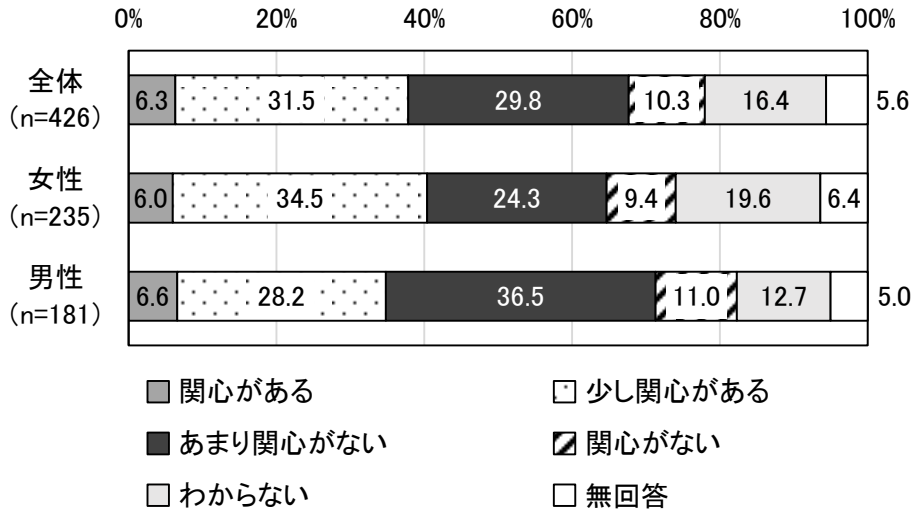
### (8) HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題

- ・HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が39.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が43.8%と、「男性」より10.7ポイント高くなっている。



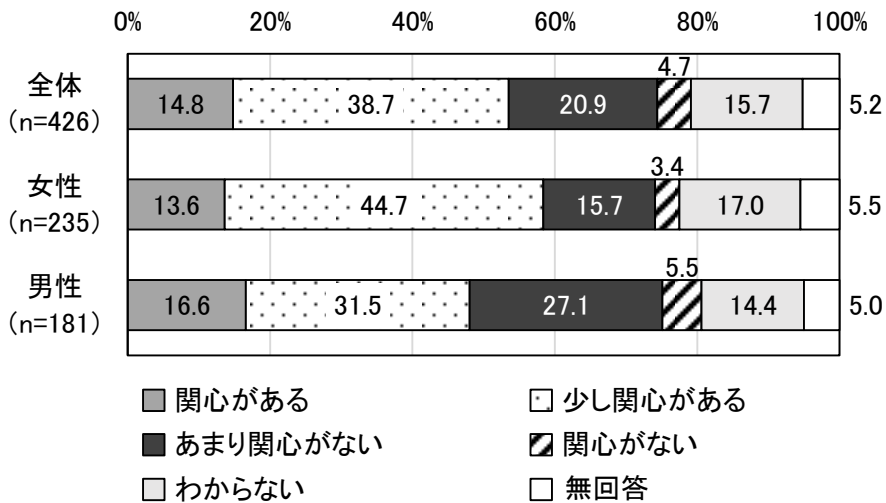
(9) 刑を終えて出所した人の人権問題

- ・刑を終えて出所した人の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が37.8%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が40.5%と、「男性」より5.7ポイント高くなっている。



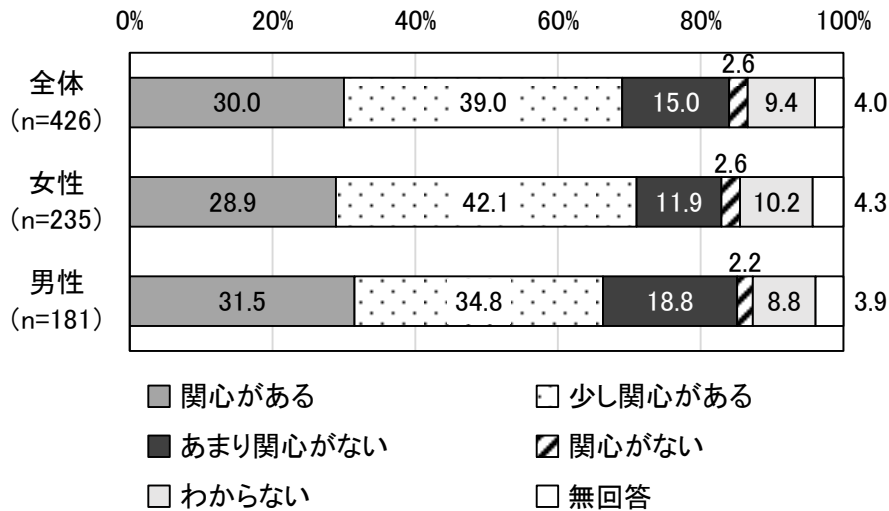
(10) 犯罪被害者とその家族の人権問題

- ・犯罪被害者とその家族の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が53.5%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が58.3%と、「男性」より10.2ポイント高くなっている。



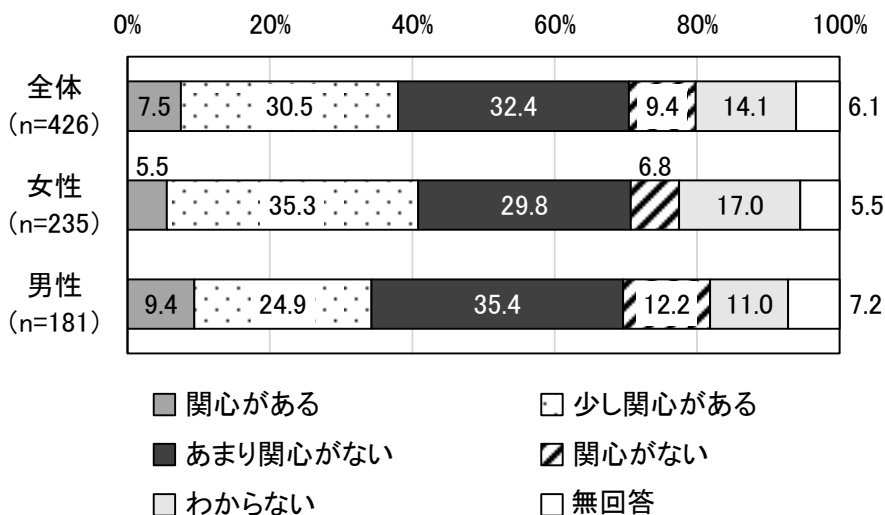
(11) 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権問題

- ・北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が69.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が71.0%と、7割を超える結果となっている。



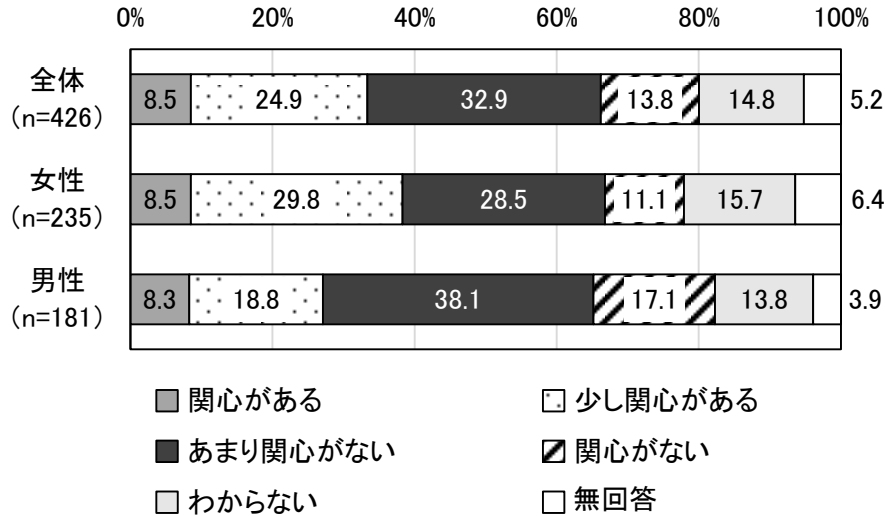
(12) ホームレスの人権問題

- ・ホームレスの人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が38.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が40.8%と、「男性」より6.5ポイント高くなっている。



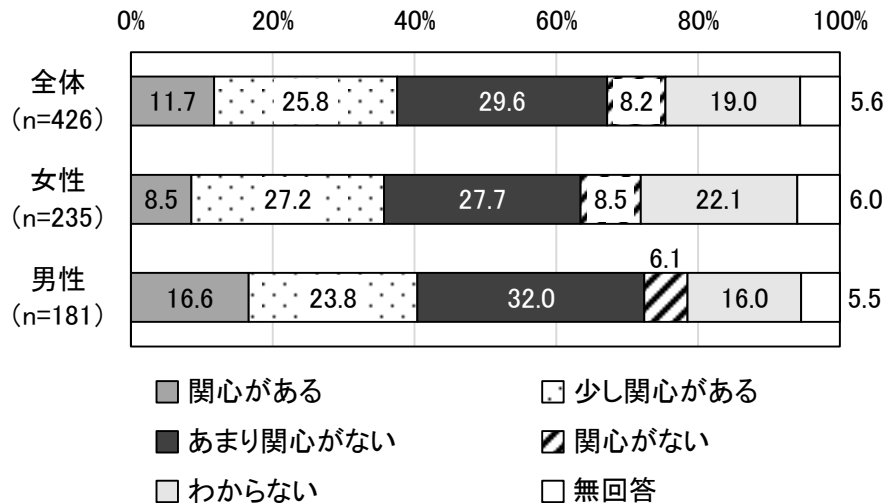
(13) 性的指向や性自認に関する人権問題

- ・ 性的指向や性自認に関する人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 33.4%となっている。
- ・ 性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が 38.3%と、「男性」より 11.2 ポイント高くなっている。



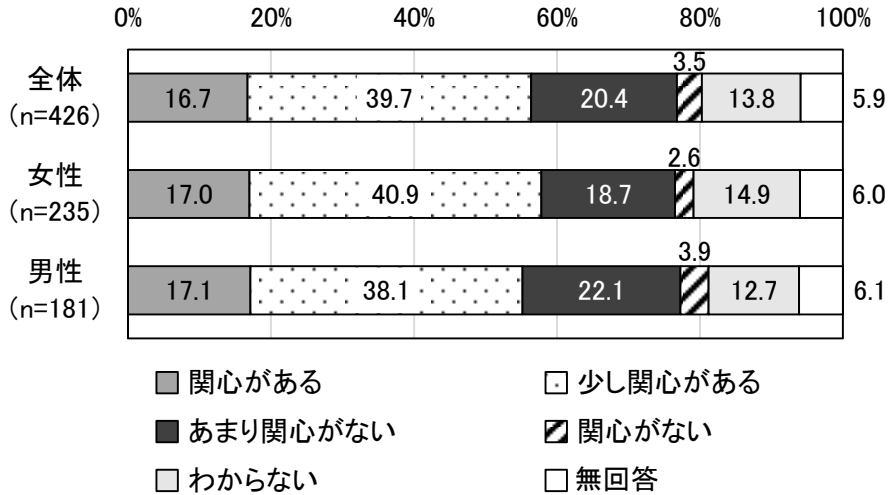
(14) 人身取引の人権問題

- ・ 人身取引の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 37.5%となっている。
- ・ 性別にみると、「男性」で『関心がある』割合が 40.4%と、4割を超える結果となっている。



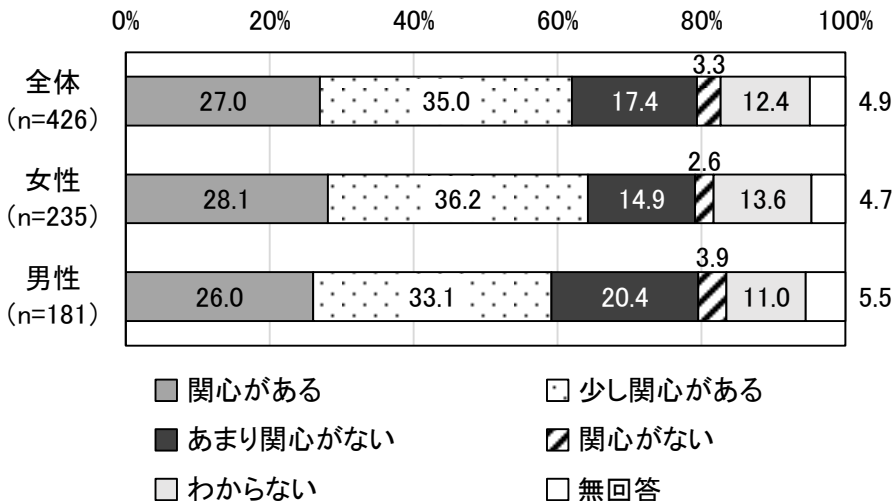
(15) 東日本大震災に起因する人権問題

- ・東日本大震災に起因する人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が56.4%となっており、性別で大きな差はみられない。



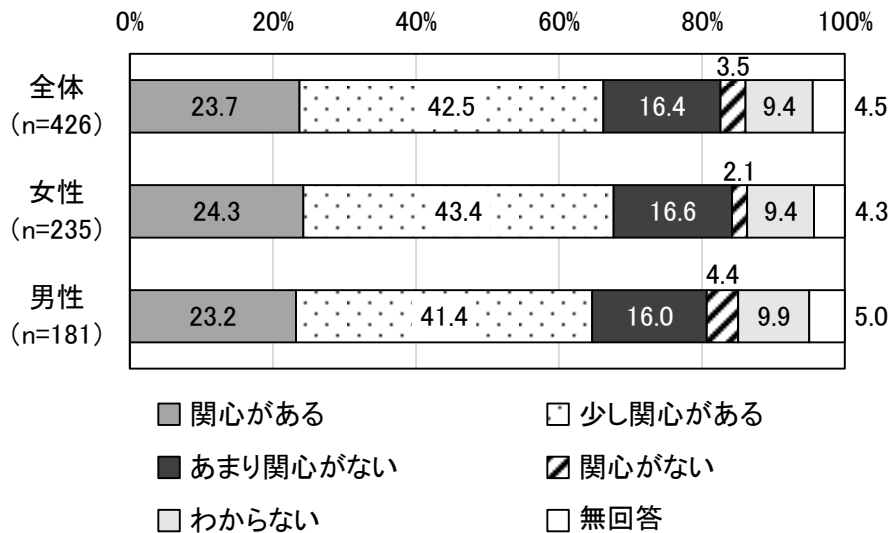
(16) インターネット上における人権侵害問題

- ・インターネット上における人権侵害問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が62.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が64.3%と、「男性」より5.2ポイント高くなっている。



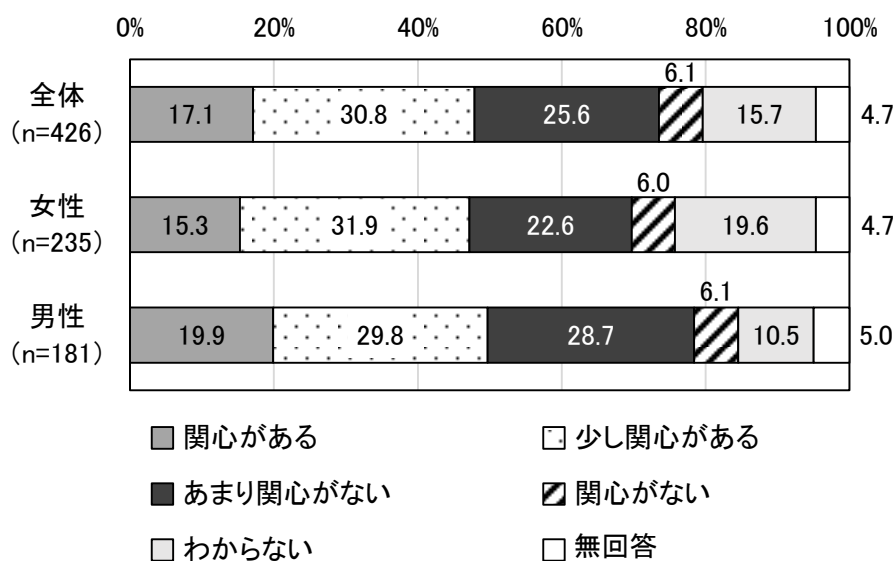
### (17) セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント

- ・セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントへの関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 66.2%となっており、性別で大きな差はみられない。



### (18) ヘイトスピーチ

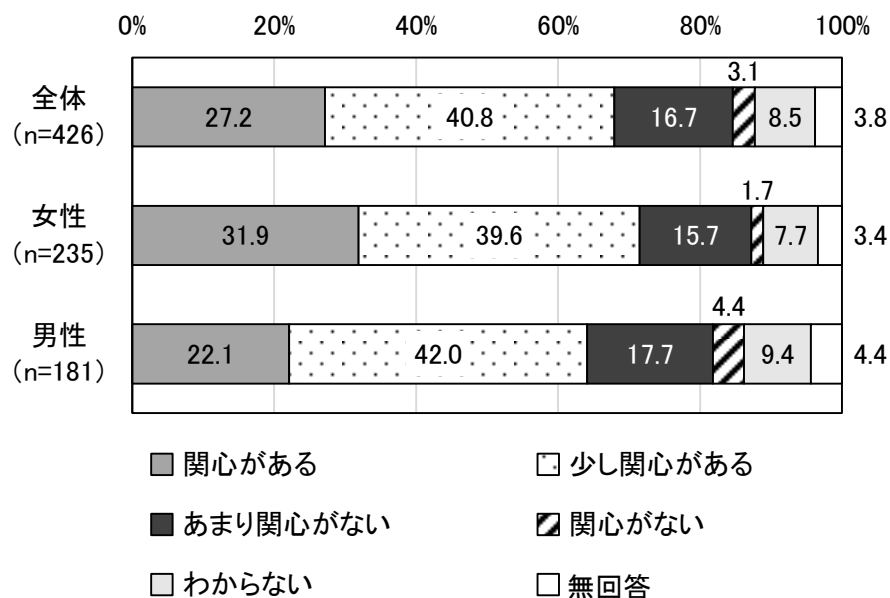
- ・ヘイトスピーチへの関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 47.9%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「わからない」が 19.6%と、「男性」より 9.1 ポイント高くなっている。





(19) 新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題

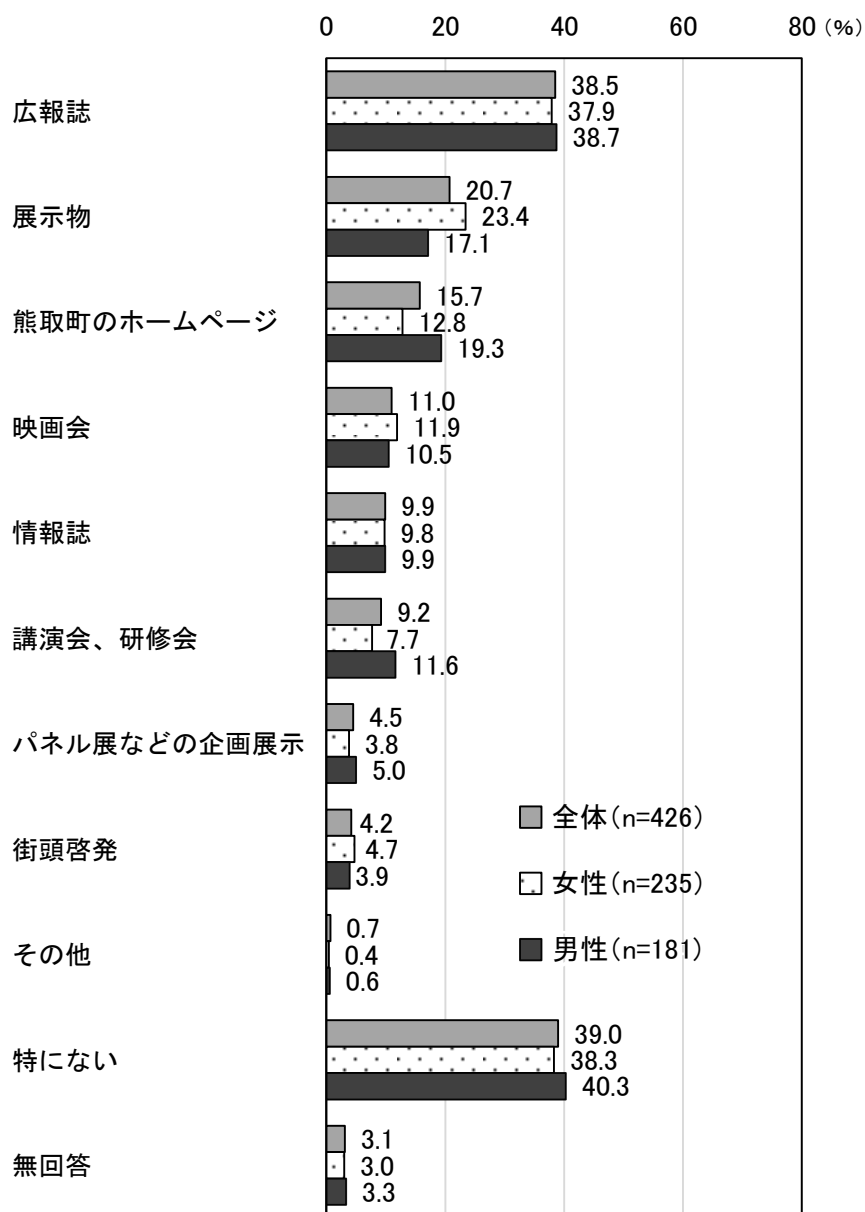
- ・新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題への関心については、「関心がある」・「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合が 68.0%となっている。
- ・性別にみると、「女性」で『関心がある』割合が 71.5%と、「男性」より 7.4 ポイント高くなっている。



## 問 17 町の人権啓発への参加、見聞きした経験について

問 17 あなたは、町が行っている人権啓発に参加したり、見たり、聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- ・町の人権啓発への参加、見聞きした経験については、「特にない」が 39.0%と最も高く、次いで「広報誌」(38.5%)、「展示物」(20.7%)となっている。
- ・性別にみると、「女性」で「展示物」が 23.4%と、「男性」より 6.3 ポイント高くなっている。また、「男性」で「熊取町のホームページ」が 19.3%と、「女性」より 6.5 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「18～29 歳」で「特にない」が 70.8%と 7 割を占める結果となっている。また、「70 歳以上」で「広報誌」が 50.4%と、全体より 11.9 ポイント高くなっている。



その他：「啓発ビデオ」

<性別・年代別クロス集計>

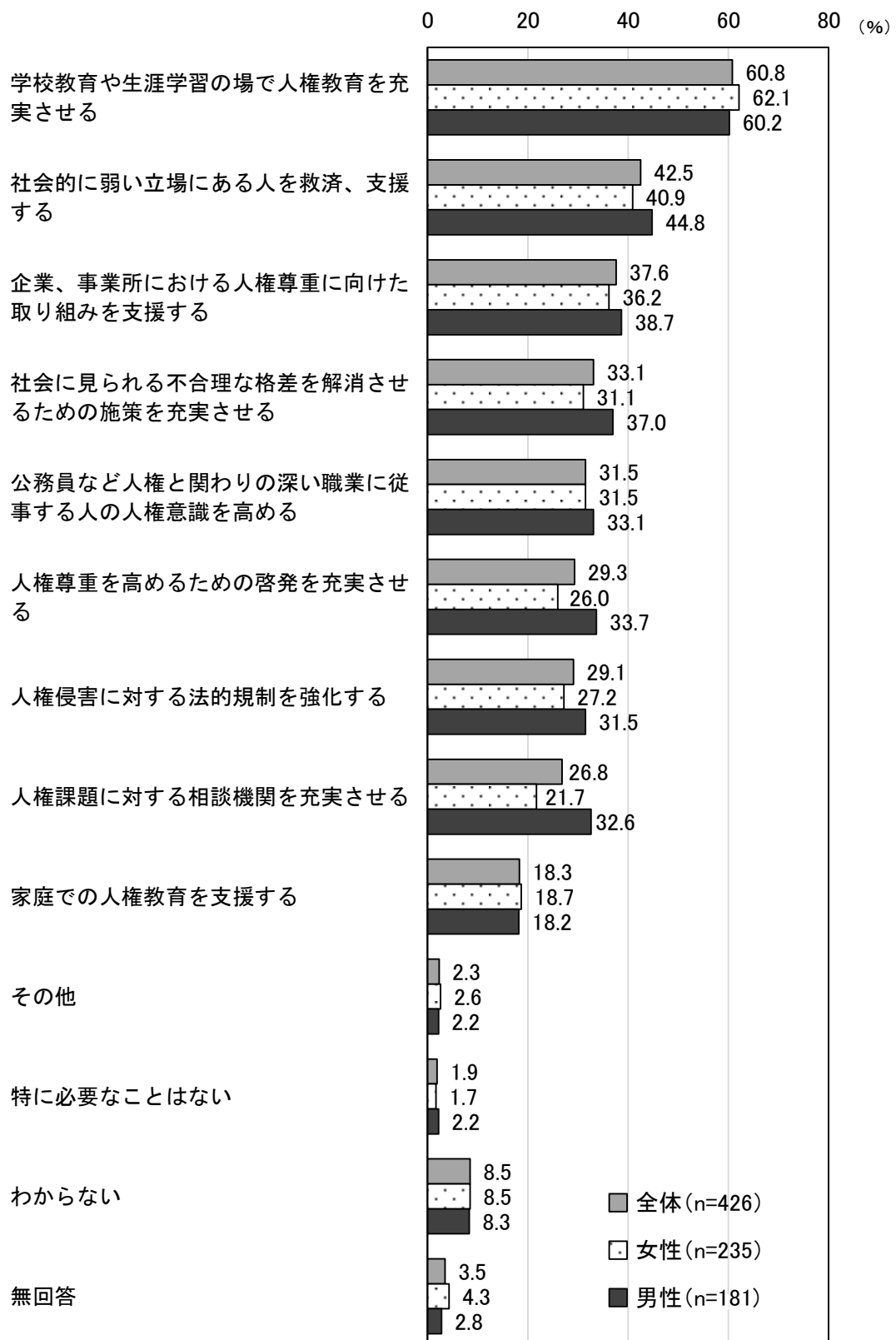
(%)

		回答者数 (人)	講演会、 研修会	パネル展などの 企画展示	映画会	広報誌	熊取町の ホームページ	情報誌	展示物
	全体	426	9.2	4.5	11.0	38.5	15.7	9.9	20.7
性別	女性	235	7.7	3.8	11.9	37.9	12.8	9.8	23.4
	男性	181	11.6	5.0	10.5	38.7	19.3	9.9	17.1
年代別	18～29歳	24	-	4.2	-	12.5	12.5	-	12.5
	30～39歳	32	-	-	-	43.8	9.4	6.3	18.8
	40～49歳	62	3.2	1.6	6.5	27.4	6.5	6.5	17.7
	50～59歳	75	12.0	4.0	9.3	29.3	12.0	8.0	22.7
	60～69歳	83	12.0	6.0	19.3	38.6	15.7	13.3	19.3
	70歳以上	139	12.9	5.8	14.4	50.4	23.0	12.9	23.7
		回答者数 (人)	街頭啓発	その他	特 に ない	無 回 答			
	全体	426	4.2	0.7	39.0	3.1			
性別	女性	235	4.7	0.4	38.3	3.0			
	男性	181	3.9	0.6	40.3	3.3			
年代別	18～29歳	24	-	-	70.8	-			
	30～39歳	32	6.3	-	53.1	-			
	40～49歳	62	3.2	-	58.1	-			
	50～59歳	75	5.3	1.3	42.7	1.3			
	60～69歳	83	6.0	1.2	33.7	4.8			
	70歳以上	139	3.6	-	23.7	5.8			

## 問 18 人権が尊重される社会の実現のために、行政が力を入れていくべき取り組みについて

問 18 あなたは人権が尊重される社会を実現するには、行政は今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・人権が尊重される社会の実現のために、行政が力を入れていくべき取り組みについては、「学校教育や生涯学習の場で人権教育を充実させる」が60.8%と最も高く、次いで「社会的に弱い立場にある人を救済、支援する」(42.5%)、「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」(37.6%)となっている。
- ・性別にみると、「男性」で「人権課題に対する相談機関を充実させる」が32.6%と、「女性」より10.9ポイント高くなっている。
- ・年代別でみると、「18～29歳」で「家庭での人権教育を支援する」・「社会的に弱い立場にある人を救済、支援する」が、全体より15ポイント程度高くなっている。



その他：「各個人の人権意識を高める」、「大人も教育する」

<性別・年代別クロス集計>

(%)

		回答者数(人)	人権尊重を高めるための啓発を 充実させる	学校教育や生涯学習の場で人権 教育を充実させる	家庭での人権教育を支援する	企業、事業所における人権尊重 に向けた取り組みを支援する	社会に見られる不合理な格差を解 消させるための施策を充実させる	社会的に弱い立場にある人を救 済、支援する	人権侵害に対する法的規制を強 化する
	全体	426	29.3	60.8	18.3	37.6	33.1	42.5	29.1
性別	女性	235	26.0	62.1	18.7	36.2	31.1	40.9	27.2
	男性	181	33.7	60.2	18.2	38.7	37.0	44.8	31.5
年代別	18～29歳	24	20.8	54.2	33.3	45.8	29.2	58.3	33.3
	30～39歳	32	25.0	62.5	12.5	21.9	37.5	40.6	34.4
	40～49歳	62	22.6	66.1	14.5	45.2	21.0	38.7	33.9
	50～59歳	75	28.0	66.7	18.7	41.3	37.3	42.7	21.3
	60～69歳	83	24.1	67.5	19.3	38.6	37.3	36.1	30.1
	70歳以上	139	38.8	53.2	18.0	33.1	34.5	46.0	28.1
		回答者数(人)	人権課題に対する相談機関を充 実させる	公務員など人権と関わりの深い職業 に従事する人の人権意識を高める	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答	
	全体	426	26.8	31.5	2.3	1.9	8.5	3.5	
性別	女性	235	21.7	31.5	2.6	1.7	8.5	4.3	
	男性	181	32.6	33.1	2.2	2.2	8.3	2.8	
年代別	18～29歳	24	33.3	16.7	-	-	-	4.2	
	30～39歳	32	21.9	25.0	12.5	6.3	9.4	-	
	40～49歳	62	22.6	24.2	1.6	1.6	9.7	3.2	
	50～59歳	75	25.3	29.3	2.7	-	10.7	2.7	
	60～69歳	83	28.9	36.1	1.2	1.2	8.4	3.6	
	70歳以上	139	26.6	39.6	1.4	2.9	7.9	5.0	

## 4. 自由意見

### 問 19 自由意見

問 19 最後に、本調査に関することや、本町の男女共同参画施策並びに人権施策に関するご意見・ご要望・ご提案等がございましたらご自由にお書きください。

- ・自由意見については、50件の回答が寄せられた。
- ・回答を分類すると以下の通りである。なお、複数のテーマにまたがる意見があるため、テーマ別の合計と回答数は一致しない。

分類		件数
男女共同参画	男女共同参画に関するご意見・要望	10
	人権に関するご意見・要望	9
	子育て・教育に関する意見	13
	行政・施策に関する意見	7
	労働・職場に関する意見	3
	男女共同参画に関する意見 計	42
その他	調査に関する意見	8
	調査を終えた感想	7
	その他	3
	特にない・わからない	2
	その他意見 計	20
総計		62

<自由意見一覧>

※複数のテーマにまたがる重複分は除く  
 ※解読が困難であった箇所は■にて示す

①男女共同参画に関するご意見・要望

30～39 歳男性	・男女平等を推進するのであれば、貴課の名前を変えるべき。特定の性別を表に出すことは、平等・公平の観点から外れないか、・一概に平等・公平の基準を世論の声に重点を置くのではなく、文化や歴史を踏まえて、行政として適切な推進をお願いしたい、・現状男性が育児を行うことに不都合を感じる機会はない。問題が起きた際に提起できるように心がけたい。
30～39 歳男性	普段意識していないことや、考えもしないことを改めて考えさせられる、いいきっかけとなりました。このようなアンケートがなければ家庭内でも話をすることはありませんでした。男女平等ばかりが前へ進もうとしています、いい意味で男しかできないこと、女しかできないこと、それは差別としてではなく…そこはいいバランスを保ち、社会が成り立っていけばいいのではと思います。ありがとうございました。
40～49 歳女性	若いころ、友達に手塚治虫先生の「メルモちゃん」を借りて見ました。男性と女性のどちらに優劣があるかなんてそんなこと決着なんてできない。どちらに共が尊い存在であることを思い知らされました。手塚先生のお考えはスゴイ！今の子供たちにも見せてあげたいです。お互いが意識していけば、きっとよりよい社会になるだろうと思います。
50～59 歳男性	実現できるよう取り組んでほしい。
60～69 歳女性	より生活しやすい社会になりますようによろしくお願い致します。
70 歳以上女性	時代によって変わる人権問題とか様々な出来事が変わるので、今これというはっきりした事がわからない。男性と女性の体力の差もあるので決められない事もある。まず能力で男女を問わず望めばよいと思う、思いやりと尊う心が大事。
70 歳以上男性	特に女性の参画を強く要望します。
70 歳以上女性	思いやりを持って生活すればある程度は改善されるのではと、個々の意識の向上はメディアに学ぶ事が多いと思います。不信な情報がスムーズに行政に伝わり手助けできれば良いのではないのでしょうか。
70 歳以上男性	人は男女を問わず平等、個人の努力が活かされる社会を作る事。人権問題は昔は同和問題が中心でしたが、今は色々な所に広がっています。社会の変化につれ次から次へと新しい問題が発生します。世界の国々でさまざまな問題があります。海外と比べ、日本は男女問題が遅れているとの事です。又、格差社会についても大きな問題と思います。男女共同参画については、テーマによって男女間で差が出ます。研修・講演・YouTube等通して広く広めて行く事が大事と思います。
不明	今後も取り組んでいき、意識向上を啓発して行って下さい。



②人権に関するご意見・要望

30～39 歳男性	これから先もっと男女平等になるように日本は取組を推進していかなければならないと思います。この先日本は高齢者が増加して行くはずですから、その法案を早急に刷新して新しい制度を法律を作っていただきたい。
40～49 歳女性	飲食店などでは女性限定で安くなったり様々な優遇サービスがあり、これは逆に男性差別じゃないのか?、都合のよい時だけ男女平等と言うのもおかしい。東京女子医大もそうであり、女子だけの医学部あるのに他大学に落ちた時に男女平等というのはどうかと思う。なら、男子のみの医学部作ればよいということになる。定年になれば親の介護は互いにしないといけないがそれまでは家に居る時間が長い方がやればよい。なんでもかんでも男女平等というのはおかしい!、その家のスタンスでやればよい。ちなみに男性だけ入会金1万、女性千円とか無料は男性差別じゃないんですか?、よくわかりませんが。
50～59 歳男性	すぐ人権人権と口にする管理職クラスの町職員を知っているが、トラブルを大ごとにしたくないだけの言い訳に人権を使っている。人権とは万人に平等に使うべき言葉である。
50～59 歳女性	講演会などは日程も限られているし、元々意識の高い人間しか参加できないことが多いと思う。学校教育の充実で、子供の頃から意識を持つようにしていくのは理想ではあるが、すべてに浸透していくのは無理なことだとも思う。広報などで繰り返し訴えていくのも広報誌が手に入らない家もある。街の指定のごみ袋など、必ず手に入るものに具体的な取り込みや、考え方、案内できる窓口の連絡先など印刷したりはできないだろうか?
60～69 歳男性	こういう問題は普通の人間ならだれでも頭では理解している。だから啓発活動を充実させるより、地公体はより具体的な対策を立て、実践していくことが大切だと思う。つまり「言うだけなら誰にでもできる」ということ。
70 歳以上女性	有名人による講演会などもっともっと開催してほしい。12月に行われる蓮池薫さんの講演会など特に聞きたい。
70 歳以上女性	同和問題について今の時代大人が言わなければ(昭和の終盤から令和)の若者は知らないと思います。昭和の私でさえ親から聞いて初めて知りました。第一、国・大臣・市町村・同和の人達自身、取り上げて映画や広報に載せるからいけないと思います。私達と同じように税金、公共料金、共々同等にすればよいと思います。そういう同和問題を無くさなければ、いつまでも終わらないと思います。

70 歳以上女性	町に対する要望はあります。現在ひまわりバスを利用することが多いですが、町民の声がなかなか届いていない状態です。特に高齢者、障害者のことに感心がない。例えば熊取駅で降りることが出来なくて、駅口で相当歩かねばならないイオンは泉佐野にあるので大分離れた青葉台で降ろされる。イオンに買物に行く人たちだけなのになぜに不便なのか、泉佐野と話し合っしてほしいです。共同参画施策も大事でしょうが、もう少し足元をみつめて心安らぐ対応をして下さるようお願いします。
70 歳以上女性	子供達の人権は?登校をしぶる子供を無理やり車に押し込んで連れて行く。子供は大人を信用しなくなりチャイムを鳴らしても出てこない。子供の人権は?他人事ながら心配しています。まだこの子は学校に行く日もあるので今のうちに対策を。親も学校関係者もほったらかし、以外と簡単に解決できますよ!自治会役員の横暴、以前に知的障害者が自治会の役を強制されて自殺しました(他府県です)。熊取町も例外なく、こういう事が起こっています。高齢者に役を強制しています。弱い立場の人の人権を守って下さい。権力や力を持った人がいい加減なことをしている。コミュニティが失われていっているからこういう事が起きる。スローガンだけではダメ。以上です、よろしく願い申し上げます。

### ③子育て・教育に関する意見

18~29 歳女性	人権に対する窓口を増やし指導などを行うべきだ。人権損害やハラスメントのない社会をのぞむ。特に妊産婦の働きやすい社会や子育てのしやすい社会を希望します。
40~49 歳女性	人権に関する内容についてアンケートで答えながら自分の知識のなさ、自分なりの決めつけた思い込みなどがあることに気づきました。成人になって教育という事は難しいと考えるため、義務教育時代にいかに人権について考えるかということが大事になっていると思いました。是非、義務教育で子供、親を巻き込んだ方法で大人も考える機会をつくってもらえたら…と思いました。2023 年度からの取り組みに期待しています。
50~59 歳女性	男女平等の定義はもうあと 10 年程過ぎれば、成り立つのではないでしょうか。今の若い人達の方が私達昭和生まれの時代と違い、普通に受け入れていると思います。それは、学校の授業も昔は男女分かれていた教科も全て一緒に受講させるスタイルに変化したのも要因も 1 つとも思われます。その子供達が今、大人になり、私らの子供達はわりと平等に接していると感じます。教育面でも成果が出来つつあると思います。
60~69 歳男性	ひとり親家庭の金銭的また、手伝いなどの援助をもっと考えてほしい。

60～69 歳男性	啓発というけれど、幸い人権を侵害されたこともない私たちには、差別が存在するのかさえわかりません。しかし黒人の差別とかなくならないのを考えると、我が国でも差別はあるものだと思います。ヘイトスピーチとか実際に聞いたことはありませんが、インターネットとかでそういうことをする人もいることでしょう。考え方の偏り方を変えるのは、小さい頃から平等の意識を高める教育しかない気がします。
70 歳以上女性	人格を形成していくのは、生育環境、成長期に接触する人々からの感化、教育の力が大きいと思います。目先の事象に対応することも大切ですが、これから育っていく子供たちに重点を置いた施策をより望みます。
70 歳以上女性	少子化の時代と言いながら生まれてきた子供達への虐待に対してもっと積極的に取り組むべきである。
70 歳以上男性	日頃から人権相談窓口を開設して学校(教育現場)でも最年少期から教育の一環として人権教育を充実させ人権意識を高めた方が良いと思います。
70 歳以上男性	行政の取組も大切ですがやはり教育が一番だと思います。
70 歳以上男性	行政の罰則を伴わない施策ではなかなか進まないと思う。小さい時からの学校教育の中に一貫して入れることが良いと思う。ごみ教育のように小さい時から共通の認識を持たせることが一番の近道だと思う。高齢者は十分現実の社会を経験してきているので、今更の理想論は語れても各自の考え方は偏ったままだと思う。老人に対してはDV 他の困りごと全てに対応してくれる電話番号の認知の広報活動をしていただきたい。私は知らないが、役場内に実行力を伴った「いのちの電話」みたいな番号があるなら知っておきたい。
70 歳以上男性	”理想的なことを言っても、いざ自分に関わることになる自分勝手な振る舞いをする人がいる。社会全体の意識を高め、不正や差別を許さないという気持ちをもつ人が多くなるには、学校教育や研修等でしっかり啓蒙していくしかないのか”と思います。

#### ④行政・施策に関する意見

30～39 歳男性	男女平等とは両性を同様に扱うことではなく、男女それぞれが得意とする特性や感覚を活かせる環境だと思います。単純に「男女半々」や男性(女性)が(主に行っていた得意とする)作業を女性(男性)にしてもらう、といった表面上の男女平等のみで終わらないような施策をお願いします。
30～39 歳女性	独身の納税者にもメリットのある施策をお願いします。子育て、介護も大切ですが、全住民にとって良い施策も必要だと思います。
60～69 歳女性	熊取町で男女共同参画の文言をよく見聞きするように思う。よく取り組んでいるのか、上位機関からの進捗を促されてのものなのかわからないが、問題が私には広範囲過ぎて、また取りつきにくい問題。しかし男女平等は強く思うし、協力や見聞きを広めたい。そのためにも何か街でも段階別、問題別等に順々に取りつきやすいように施策対応してほしい。

不明	刑を終えて出所してきた人たちの住居や生活を支える NPO(事業所、団体 etc) と協力しあってサポートしていく施策・姿勢を強くしてほしい(当事者を支えたいと思っている人の相談にのってほしい)。
----	---

#### ⑤労働・職場に関する意見

40～49 歳男性	男性、女性問わず、実力がある人が会社でも管理職になるのが当たり前と思うので、女性だからと特別扱いは必要ないと考えています。私の会社では、社員の7割が女性で、管理職もたくさんいます。女性の方でも、管理職が嫌な人はたくさんいますし、結婚して早く専業主婦になりたいと言っている女性がたくさんいます。ここ最近、世間が女性に対して意識しすぎになっていると思う。私が勤める会社(堺市)が男女平等なのかもしれないですが。特に今まで女性の方が生きづらかったことがないです。
60～69 歳女性	男女共同参画とはいえ、女性は思い切り働けないのが現実です。

#### ⑥調査に関する意見

30～39 歳男性	QRコードなどで記載してもらえたら、答えるのも楽だし、集計コストも下がると思われます。代理記入を可としている以上、スマホ等情報機器の操作も手助けもらいながら答えればいいので、情報機器が使えない人に配慮して、全体の作業を涉らせる必要はないでしょう。あるいは年令によって紙を配布してもいいのですが・・・。何にしろ、ICT機器を利用して標本数を増すべきです。
60～69 歳女性	※お子さんはいますか?の問いかけに1. 2. 3. 4のいるに○をした方に向けてそのお子さんの状況を聞く様があっても良いのでは?、あなたは?あなたは?の間ではなくもう少し子供に特化してもよいのではと思います。
60～69 歳男性	同和問題がいまだに存在するとは思えない、あるなら逆差別だと思う■利を守りたいのではないか。
60～69 歳男性	若い時に答えられる問題が多すぎると思う。年寄りにとっては、わからない問題が多すぎる。年代別に答えられるアンケートだったらもっと良かったと思う。今後も協力していこうと思う。
60～69 歳男性	男女という性がある限り完全に平等にするのは不可能だと思う。無理に平等にしようとする逆差別になりかねないので注意が必要。
70 歳以上女性	男性、女性と区別することは必要ないと思う。
70 歳以上男性	設問についてわかりにくい点が多々あり、解答に迷うところがあった。

#### ⑦調査を終えた感想

40～49 歳女性	立場によって考え方が変わるため、とても難しい問題であり、よりよい社会を構築するため、あくなき探究心を持ち続け、またそれを広く社会に啓発していく事が大事ではないかと思えます。
-----------	--

50～59 歳女性	とても難しいアンケートでした。男女平等であるのはよいことですが男性女性にしかできない役割や仕事、またその逆もあり、バランスを保つことによって世の中は成り立っていると思います。仕事、家事、子育てや介護も男女同じようにするべきだという昨今の考えですが、その人の状況や家庭環境や仕事内容によっても変わってくるのではないのでしょうか。一概には言えない答えに悩みました。私自身、よく知らないことも多く、もっと世の中を知るべきだなと改めて考えさせられました。
70 歳以上女性	人権について改めて考えたことがないのでこのアンケートに答えることによって、いろいろ考えさせられる事があることを意識させられたことがよかった。人権啓発紙や男女行動参画社会情報誌等配ってほしい。
70 歳以上女性	自分自身が深く関心を持ち、勉強していく必要があると感じました。60 才以上の老人会でも、ひどいいじめがあることを知り、深く傷つきました。これにより自分自身の態度も考え、まわりの状況、空気を見極めていく私の考えの中で一番は、弱い立場の人を支えて、寄り添って多くをモットーにしていきます。歳を重ね、できることは少なくなってきましたが、まずは自分の家庭を大切に。まわりの方と仲よく過ごしてゆきたいと考えております。
70 歳以上女性	人権問題に関心が少しあるのですが、積極的に自分が関わってきていないことに気がつきました。広報誌などに注意していきたいと思いました。ありがとうございました。

## Ⅲ 調査結果から読み取れる現状と課題の整理

### 1. 回答者の属性について【設問：(4-1・2)，(5-1)】

#### 【アンケート結果より】

- ・回答者の職業について、女性では「非正規の社員・職員（アルバイト・パート・派遣など）」や「家事専業」で男性より高くなっている。
- ・結婚している男性の配偶者の職業では、「非正規の社員・職員」が26.1%と、妻で非正規雇用の割合が高くなっている。
- ・一番下の子どもの年代別では、「就学前・小学生」の子どもを持つ親で、男性は「正社員・正職員」が多くを占める一方で、女性では35.0%にとどまっている。また、同じく「就学前・小学生」の子どもをもつ女性では「非正規の社員・職員」・「家事専業」の割合が3割程度を占めている。

#### 【課題の整理】

- 
- ・女性の就業率は年々上昇傾向にありますが、その就業形態は非正規雇用が多くなっています。
  - ☞就業を希望する女性が働けるよう、女性の就業の継続、再就職支援など、関係機関と連携した支援が必要です。
-

## 2. 男女共同参画に関する意識について【設問：問1, 2】

### 【アンケート結果より】

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方について、否定的な割合は前回調査（H23）より女性で20ポイント、男性で30ポイント上昇している。
- ・年代別では70歳以上で肯定的な割合が37.4%を占める一方で、18～29歳では否定的な割合が91.6%と9割を占めており、年代によって意識差がみられる結果となっている。
- ・男女の地位については、全ての分野において『男性優遇』の意識が強くなっており、特に「政治の場」・「社会通念・習慣やしきたり」・「社会全体」で目立つ結果となっている。一方で「学校教育の場」では平等意識が比較的高い結果となっている。

### 【課題の整理】

- 
- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方について、全体では否定的な割合が上昇している一方で、特に高齢の年代で肯定的な割合が高くなっています。
  - ☞「男は仕事、女は家庭」という考え方をはじめとする固定的な性別役割分担意識の払しょくが必要です。
  - ☞性別、年代、結婚・妊娠などのライフステージに応じた効果的な啓発活動の検討が必要です。
  - ・様々な分野で『男性優遇』の意識が強い結果となっています。
  - ☞あらゆる分野への女性の参画の必要性、社会通念・習慣やしきたりの見直しなどの意識改革が必要です。
-

### 3. ワーク・ライフ・バランスについて【設問：問3, 4, 5, 6, 7】

#### 【アンケート結果より】

- ・男女の役割分担の理想については、「生活費を得る役割」で『男性の役割』が高い一方で、「日々の炊事」や「乳幼児の世話」については『女性の役割』が高い結果となっており、『男性の役割』の割合は0%となっている。
- ・年代別にみると、「生活費を得る役割」・「日々の家事」・「乳幼児の世話」では若い年代で「男女同じ程度の役割」を理想とする割合が比較的高い結果となっている。
- ・仕事に関する性差では、概ね『男性優遇』の意識が強く、特に「昇進・昇格」・「管理職への登用」では7割を超える結果となっている一方で、「育児、介護・看護休暇などの休暇の取得のしやすさ」では、『女性優遇』が6割を超える結果となっている。
- ・男女がともに働きやすい環境をつくるために必要なことでは、男性で「家庭において、男女が共に責任を担い協力すること」、女性で「男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること」が最も高くなっている。
- ・ワーク・ライフ・バランスの希望については、男性で「家庭生活」を優先したい」、女性で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高い一方で、現実では男性で「仕事」を優先している」、女性で「家庭生活」を優先している」が最も高くなっている。
- ・男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加していくために必要なことでは、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」、「男は仕事、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと」が5割を超え高くなっている。

#### 【課題の整理】

- 
- ・性別役割分担意識に否定的な意見は7割を超えていたものの、役割分担の理想では「生活費を得る役割」を男性、「日々の炊事」・「乳幼児の世話」を女性とする割合が高い状況です。
  - ・ワーク・ライフ・バランスについて、男性では仕事を、女性では家庭生活を優先している割合が高く、理想と現実の乖離がみられます。
  - ・「育児、介護・看護休暇などの休暇の取得のしやすさ」について、『女性優遇』の割合が高くなっています。
    - ☞男女が共に休暇を取得しやすい環境の整備が必要です。
    - ☞男性が家事や育児、介護などをする事への理解促進が必要です。
    - ☞性別に関わらず、個人が希望する生き方を選択できるよう、柔軟で多様な働き方を促進していくことが重要です。
  - ・仕事に関する性差では、概ね『男性優遇』の意識が強く、特に「昇進・昇格」・「管理職への登用」で、『男性優遇』の割合が7割を超える結果となっています。
    - ☞企業等における積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の浸透をはかる取組が求められます。
    - ☞庁内における審議会等の女性の積極的な登用に加え、職員の管理職の登用について、性別にとられない評価が必要です。
-



#### 4. DVについて【設問：問9, 9-1・2・3】

##### 【アンケート結果より】

- ・精神的暴力のみ『経験あり』の割合が1割を超える結果となっている。
- ・どの暴力の形態においても、男性より女性で『経験あり』の割合が高くなっている。
- ・暴力についての相談では、「相談しなかった」割合が6割を超える結果となっている。
- ・相談先については、「家族・親戚」・「親しい友人や知人」などの身近な人への相談が多く、「役場の相談窓口」・「警察」・「民間の専門家や相談機関」等の機関へ相談した割合は1割未満となっている。
- ・相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」・「相談しても無駄だと思ったから」・「自分さえ我慢すればよいと思ったから」等の回答が多くなっている。

##### 【課題の整理】

- 
- ・DVについては精神的暴力の被害がやや多くなっており、全体的に女性での被害が多い状況となっています。
  - ・DV被害にあっても相談しなかった割合が多く、その理由から被害認識の薄さや被害者が自分を責める傾向にあることが示唆されます。
  - ☞あらゆる暴力の防止と被害者支援に向けて、関係機関との連携・協働による保護から自立支援までの切れ目のない支援を目指すことが求められます。
  - ☞様々な暴力の形態に関する正しい知識と、お互いの人権を尊重できる関係について啓発を進めて行くことが重要です。
  - ☞暴力に関する相談支援窓口について継続した周知活動が必要です。
-

## 5. 人権について【設問：問 13, 14, 15, 16, 17, 18】

### 【アンケート結果より】

- ・人権を身近に感じているかについては、「感じていない」が 39.0%となっている。
- ・今の日本は人権が尊重されていると思うかについては、「そう思わない」が 36.2%となっている。
- ・人権侵害の経験については 1 割程度の人が「ある」と回答しており、その内容は「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われた」「名誉を傷つけられたり、侮辱された」等が多くなっている。
- ・人権問題への関心については、「障がいのある人」・「子ども」の人権問題で関心度が高い一方で、「アイヌの人々の人権問題」で最も低くなっている。
- ・人権啓発への参加、見聞きした経験については、「特にない」を除くと、「広報誌」・「展示物」が高くなっている。比較的若い年代で「特にない」が高くなっている。
- ・人権が尊重される社会の実現に向けて行政が取り組むことについては、「学校教育や生涯学習の場で人権教育を充実させる」・「社会的に弱い立場にある人を救済、支援する」等が高くなっている。

### 【課題の整理】

- 
- ・ 4 割程度の人の人権を身近に感じていないと答えています。
  - ☞啓発の内容についても様々なケース・題材を想定することで、人権をより身近に感じられるように工夫することが必要です。
  - ・ 人権侵害の経験については 1 割程度の人を経験ありと答えており、その内容はあらぬ噂・他人からの悪口が最も多くなっています。
  - ・ 人権問題についてはテーマで関心度に関きが見られています。
  - ☞様々な分野の人権問題に関して意識を高められるよう、教育や啓発に取り組むことが重要です。
  - ☞人権に関する公的な相談機関の周知とともに、各関係機関との連携の強化が求められます。
-

## IV 資料編（調査票）

### 男女共同参画並びに人権に関する住民アンケート調査

～ご協力のお願～

住民のみなさまには、日ごろから町政運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
ます。

この調査は、令和5（2023）年度から令和14（2032）年度を計画期間とする「熊取町第3次男女共同参画プラン」の策定並びに人権施策を進めて行く上で、住民の皆様のお考えやご意見をお伺いするため、町内にお住まいの18歳以上のみなさまから無作為に1,000人の方にお送りさせていただいております。

回答は無記名であり、調査結果は統計的に処理を行いますので、返信用封筒から個人を特定されることはありません。（返信用封筒に印刷されているバーコードは返送先（熊取町役場）の住所を記号化しているものであり、個人を特定するものではありません。）

また、この調査結果は、上記目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見等をご記入ください。

みなさまには、お忙しいところ、まことに恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和3（2021）年11月

熊取町

#### 【調査票記入にあたってのお願い】

- ◇ 原則として封筒のあて名のご本人がお答えください。何らかの理由でご本人による回答が難しい場合は、ご本人の回答を確認のうえ、代理の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- ◇ ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ◇ お答えは、各質問のあてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は質問中の指定に添ってお答えください。
- ◇ 回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- ◇ 答えにくい質問がございましたら空欄のまま、次の質問にお進みください。
- ◇ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒【切手不要】に入れ、11月30日（火）までに、ポストに投函してください。その際、封筒への記名の必要はございません。

#### 【この調査についてのお問い合わせ先】

熊取町 総務部 人権・女性活躍推進課

TEL：072-452-1004 FAX：072-452-7103

E-mail：jinken-suishin@town.kumatori.lg.jp

はじめに、あなたご自身のことやご家族のことについてお聞きします。

(1) あなたの性別は。(〇は1つ)

1. 男性      2. 女性      3. 1, 2のどちらでもない      4. 答えたくない

(2) あなたの年齢は。(記入日時点)(〇は1つ)

1. 18~29歳      2. 30~39歳      3. 40~49歳      4. 50~59歳  
5. 60~69歳      6. 70歳以上

(3) 現在のあなたは。(〇は1つ)      ※パートナー：事実婚、生活の本拠をともにする交際相手のこと

1. 配偶者・パートナー※がいる      2. 配偶者・パートナーはいない

(4) あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業をお答えください。(各項目で〇は1つ)

配偶者・パートナーがいない方はご自身の欄だけ記入してください。

【ご自身の職業 (〇は1つ)】	【配偶者・パートナーの職業 (〇は1つ)】
1. 正社員・正職員	1. 正社員・正職員
2. 非正規の社員・職員 (パート・アルバイト・派遣など)	2. 非正規の社員・職員 (パート・アルバイト・派遣など)
3. 自営業者・会社経営者 (家族従業者など)	3. 自営業者・会社経営者 (家族従業者など)
4. 家事専業	4. 家事専業
5. 学生	5. 学生
6. 無職 (年金受給者を含む)	6. 無職 (年金受給者を含む)
7. その他 (具体的に )	7. その他 (具体的に )

(5) あなたにはお子さんはいますか。(別居を含む)(〇は1つ)

1. いる      2. いない

→【(5)で「1. いる」と答えた方にお聞きします。】

(5-1) 一番下のお子さんの年代はどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 就学前      2. 小学生      3. 中学生      4. 高校生      5. それ以上

(6) あなたの世帯構成は。(※同居しているご家族についてお答えください。)(〇は1つ)

1. 一人世帯      2. 一世代世帯 (夫婦だけ)  
3. 二世帯世帯 (親と子)      4. 三世帯世帯 (祖父母と親と子)  
5. その他 (具体的に )

男女共同参画・DV（配偶者等からの暴力）・女性活躍推進についてお聞きします。

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（〇は1つ）

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. そのとおりだと思う       | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそうは思わない | 4. そうは思わない      |
| 5. わからない ⇒ 問2へ     |                 |

【問1で「1. そのとおりだと思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。】

問1-1 その理由を教えてください。（〇はいくつでも）

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 日本の伝統・美德だと思うから         |   |
| 2. 性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから |   |
| 3. 子どもの成長にとって良いと思うから      |   |
| 4. 個人的にそうありたいと思うから        |   |
| 5. その他（具体的に               | ） |
| 6. 理由を考えたことはない            |   |

【問1で「3. どちらかといえばそうは思わない」「4. そうは思わない」と答えた方にお聞きします。】

問1-2 その理由を教えてください。（〇はいくつでも）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 男女平等に反すると思うから                       |   |
| 2. 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから  |   |
| 3. 男女ともに仕事と家庭にかかわる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから |   |
| 4. 少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事をする必要があると思うから  |   |
| 5. 一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから            |   |
| 6. その他（具体的に                            | ） |
| 7. 理由を考えたことはない                         |   |

問2 あなたは、次の各分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。

あなたの考えに1番近いものを選んでください。(各項目で○は1つ)

項目 \ 選択肢	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
1. 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
2. 職場で	1	2	3	4	5	6
3. 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
4. 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
5. 政治の場で	1	2	3	4	5	6
6. 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
7. 社会通念・慣習やしきたり	1	2	3	4	5	6
8. 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは、次のことについて、男女間でどのように分担するのが望ましい(理想)と思いますか。(各項目で○は1つ)

項目 \ 選択肢	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	男女同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割	わからない
1. 生活費を得る	1	2	3	4	5	6
2. 日々の家計管理	1	2	3	4	5	6
3. 日常の家事(炊事)	1	2	3	4	5	6
4. 日常の家事(洗濯)	1	2	3	4	5	6
5. 日常の家事(掃除)	1	2	3	4	5	6
6. 日常の家事(3~5以外の家事)	1	2	3	4	5	6
7. 子どもの教育としつけ、学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
8. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
9. 親や病身者の介護、看護	1	2	3	4	5	6
10. 自治会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、仕事に関する次のことについて、性別により差があると思いますか。

あなたの考えに1番近いものを選んでください。(各項目で○は1つ)

項目 \ 選択肢	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
1. 募集・採用	1	2	3	4	5	6
2. 賃金	1	2	3	4	5	6
3. 仕事の内容	1	2	3	4	5	6
4. 昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
5. 管理職への登用	1	2	3	4	5	6
6. 能力評価(業績評価・人事考課など)	1	2	3	4	5	6
7. 研修の機会や内容	1	2	3	4	5	6
8. 育児、介護・看護休暇など休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4	5	6

問5 あなたは、男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 職場における男女の賃金や昇進等の男女格差をなくすこと
2. 職場における男女差のない管理職への登用を行うこと
3. 男女ともに、能力を発揮できる配置や職務能力を充実させるための研修を行うこと
4. 保育サービスの充実
5. 介護サービスの充実
6. 男女ともに、育児や介護のための休暇等を取りやすいようにすること
7. セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント防止対策の整備の働きかけをすること
8. 短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム制の導入
9. 家庭において、男女が共に責任を担い協力すること
10. 地域の協力や支援
11. 働くことに関する相談窓口の充実
12. 「男は仕事、女は家庭」という社会通念をなくすこと
13. その他(具体的に )
14. わからない

問6 あなたは日常生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」で何を優先していますか。あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。

(1) 希望として（〇は1つ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. その他（具体的に )
9. わからない

(2) 現実（現状）として（〇は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. その他（具体的に )
9. わからない



問7 あなたは今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
2. 男は仕事、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること
4. まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 家庭で子どもに対し、男女の区別なく家事、育児、介護などに携わることができるようなしつけ、育て方を行うこと
6. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること
7. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 男女ともに気軽に利用できるベビールームの設置など、子育てに配慮した環境の整備が進むこと
11. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
12. 特に必要なことはない
13. わからない

問8 あなたは、災害対応において、性別に配慮した対応を行うために、どのような施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 町の防災会議や災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること
2. 自主防災組織等地域で行われる防災活動に男女両方の視点が入ること
3. 避難所の設計や運営に男女がともに参画し、避難所の運営や被災者の対応に男女両方の視点が入ること
4. 備蓄品についてのニーズの把握と支給時の配慮について男女両方の視点が入ること
5. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成すること
6. 日ごろから男女平等、男女共同参画意識を高める啓発を行うこと
7. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
8. 特に必要なことはない
9. わからない

問9 あなたは、配偶者・パートナー、恋人から次にあげるような暴力を受けたことがありますか。  
(〇は1つ)

項目	選択肢	何度もあった	1、2度あった	全くない
1. 身体的暴力（殴る、けるなど）		1	2	3
2. 精神的暴力（大声でどなる、言葉でおどす、電話・メール・行動等を監視する、長期間無視をするなど）		1	2	3
3. 経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを妨害する、給与や貯金を勝手に使うなど）		1	2	3
4. 性的暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないポルノ雑誌などを見せる、避妊に協力しないなど）		1	2	3
5. 面前DV（子どもの目の前での暴力、暴言）		1	2	3

【問9で「何度もあった」「1、2度あった」に1つでも〇を付けた方にお聞きします。】

問9-1 配偶者などから暴力を受けたとき、誰かにうちあげたり、相談したりしましたか。(〇は1つ)

1. 相談した                                  2. 相談しなかった（できなかった） ⇒ 問9-3へ

【問9-1で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。】

問9-2 だれ（どこ）に相談しましたか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親戚  
2. 親しい友人や知人  
3. 役場の相談窓口  
4. 医療関係者  
5. 警察  
6. 大阪府女性相談センターや岸和田子ども家庭センター（配偶者暴力相談支援センター）  
7. 民間の専門家や専門機関（弁護士・カウンセラー）  
8. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

【問9-1で「2. 相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお聞きします。】

問9-3 その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. だれ（どこ）に相談したら良いかわからなかったから
2. 相談しても無駄だと思ったから
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
4. 加害者から仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 加害者から誰にも言うなと言われたから
6. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
7. 家族や他人を巻き込みたくなかったから
8. 被害を受けたことを思い出したくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 自分が受けている行為がDVだと認識していなかったから
11. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
12. 相談するほどのことではないと思ったから
13. 他人に知られるとこれまでどおりの付き合いができなくなると思ったから
14. その他（具体的に

問10 あなたは、過去3年間の間で職場・学校・その他活動の場で次のような行為を受けたことがありますか。（〇はいくつでも）

1. 年齢や身体のこと、不愉快なことばや冗談を言われる
2. 異性に体をさわられた・ひわいな言葉をかけられたり、猥談を聞かされる
3. 地位や権限を利用して交際や性的な行為を強要される
4. 「女（男）のくせに」「女（男）だから」と差別的な言い方をされる
5. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける
6. しつこくつきまとわれる
7. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる
8. 上記のような経験はない

問 11 あなたは、次の1～13について、どの程度ご存知ですか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(各項目で○は1つ)

項目	選択肢	知っている 内容まで	ことがある 言葉を聞いた	全く知らない
1. 男女共同参画社会基本法		1	2	3
2. 男女雇用機会均等法		1	2	3
3. 配偶者暴力防止法		1	2	3
4. 女性活躍推進法		1	2	3
5. 育児・介護休業法		1	2	3
6. 候補者男女均等法		1	2	3
7. 熊取町男女共同参画プラン		1	2	3
8. ジェンダー		1	2	3
9. ワーク・ライフ・バランス		1	2	3
10. DV（ドメスティック・バイオレンス）		1	2	3
11. デートDV		1	2	3
12. LGBT		1	2	3
13. リプロダクティブ・ヘルス（ライツ）		1	2	3

問 12 あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、行政は今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・啓発を充実する</li> <li>2. 学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する</li> <li>3. 女性・子ども・高齢者に対する暴力（DV・虐待）の根絶に向けた取り組み</li> <li>4. 町の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する</li> <li>5. 育児・介護・看護のための施設やサービスの充実</li> <li>6. 生涯を通じた男女の健康づくりの支援</li> <li>7. ひとり親家庭などへの援助、社会保障の充実</li> <li>8. 仕事と家庭の両立ができるような環境の整備</li> <li>9. 就業の支援、人材育成や能力開発の支援</li> <li>10. その他（具体的に</li> <li>11. 特に必要なことはない</li> <li>12. わからない</li> </ol> | ) |
|---|---|

人権（人間が生まれながらにして持っている自由・平等に関する権利）  
に関することについてお聞きします。

問 13 あなたは人権を身近な問題として感じていますか。（〇は1つ）

1. 身近に感じている      2. 身近に感じていない      3. わからない

問 14 あなたは、今の日本が、人権が尊重されている国だと思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う      2. そうは思わない      3. わからない

問 15 あなたは、過去5年間の間でご自身の人権が侵害されたと感じたことはありますか。  
（〇は1つ）

1. ある      2. ない ⇒ 問 16 へ

【問 15 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。】

問 15-1 差し支えなければ、それはどのような内容でしたか。（〇はいくつでも）

1. あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われた  
2. 仲間はずれや嫌がらせをされた  
3. 痴漢行為やストーカー（つきまとい）行為をされた  
4. 暴力や虐待を受けた  
5. 名誉を傷つけられたり、侮辱された  
6. プライバシーを侵害された  
7. その他（具体的に      )  
8. 答えたくない

問 16 あなたは次の人権問題について、どの程度関心をお持ちですか。(各項目で○は1つ)

項目 \ 選択肢	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない
1. 女性の人権問題	1	2	3	4	5
2. 子どもの人権問題	1	2	3	4	5
3. 高齢者の人権問題	1	2	3	4	5
4. 障がいのある人の人権問題	1	2	3	4	5
5. 同和問題	1	2	3	4	5
6. アイヌの人々の人権問題	1	2	3	4	5
7. 外国人の人権問題	1	2	3	4	5
8. HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	1	2	3	4	5
9. 刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3	4	5
10. 犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3	4	5
11. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権問題	1	2	3	4	5
12. ホームレスの人権問題	1	2	3	4	5
13. 性的指向（どの性別の人を好きになるか）や性自認（自分の性別をどのように認識しているか）に関する人権問題	1	2	3	4	5
14. 人身取引（性的サービスや労働の強要等）の人権問題	1	2	3	4	5
15. 東日本大震災に起因する人権問題	1	2	3	4	5
16. インターネット上における人権侵害問題	1	2	3	4	5
17. セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント	1	2	3	4	5
18. ヘイトスピーチ（特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動）	1	2	3	4	5
19. 新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	1	2	3	4	5

問 17 あなたは、町が行っている人権啓発に参加したり、見たり、聞いたりしたことがありますか。  
 (〇はいくつでも)

1. 講演会、研修会
2. パネル展などの企画展示
3. 映画会
4. 広報誌
5. 熊取町のホームページ
6. 情報誌(人権啓発紙「しあわせへの道」、男女共同参画社会情報誌「男女が“ともに”協力しあいながら」)
7. 展示物(ポスター、ちらし、横断幕、のぼり旗、関連図書の展示など)
8. 街頭啓発
9. その他(具体的に )
10. 特にない

【参考】

【講演会】



【映画会】



【人権啓発紙】



【男女共同参画社会情報誌】



問 18 あなたは人権が尊重される社会を実現するには、行政は今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 人権尊重を高めるための啓発を充実させる             |   |
| 2. 学校教育や生涯学習の場で人権教育を充実させる          |   |
| 3. 家庭での人権教育を支援する                   |   |
| 4. 企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する     |   |
| 5. 社会に見られる不合理な格差を解消させるための施策を充実させる  |   |
| 6. 社会的に弱い立場にある人を救済、支援する            |   |
| 7. 人権侵害に対する法的規制を強化する               |   |
| 8. 人権課題に対する相談機関を充実させる              |   |
| 9. 公務員など人権と関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める |   |
| 10. その他（具体的に                       | ） |
| 11. 特に必要なことはない                     |   |
| 12. わからない                          |   |

問 19 最後に、本調査に関することや、本町の男女共同参画施策並びに人権施策に関するご意見・ご要望・ご提案等がございましたらご自由にお書きください。


質問は以上で終わりです。

アンケート調査にご協力をいただき、まことにありがとうございました。